クボタロータリ

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

は じ め に

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

 危 険　注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

 警 告　注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

 注 意　注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。

重 要　注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足　その他，使用上役立つ補足説明を示します。

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明はRL150Rを基本とし，RL150Rと取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。

●ロータリタイプ
・スタンド仕様
（RL140R・RL150R・RL160R・RL170R）
・後2輪仕様（B仕様）
・4 輪キャスタ仕様（C仕様）

●爪軸タイプ
・標準仕様
・細土爪軸仕様（F 仕様）
（RL150FR・RL160FR）
・正逆転細土爪軸仕様（XF仕様）
（RL150XFR・RL160XFR）
・果樹園仕様（H仕様）
（RL150HR・RL160HR）
・淡路仕様（A仕様）
（RL140AR）
（細土爪軸付，４号培土用カバー付，電動培土反転装置付）

●カバータイプ
《標準》
・マッドレスカバー，畝立機用長穴付
・マッドレスカバー，Vカット付
《正逆転》
・Vカット付

●補助ユニット（オートヒッチフレーム）タイプ
・特殊3P式（U仕様）
・W3P式（WU仕様）

目　次

目　次

作業前の点検について（日常点検）

ロータリの簡単な手入れと処置

付　表

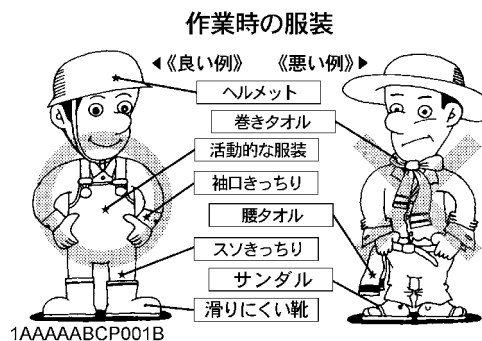
⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

ロータリを使用する前に

1. ロータリを使用する前に，必ずこの取扱説明書とトラクタ本機の取扱説明書，及び機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で作業してください。
2. ロータリを他人に貸すとき，また他人に作業を依頼するときは，事前に操作のしかたを教え，本書を読ませてください。
3. 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には，絶対に作業させないでください。

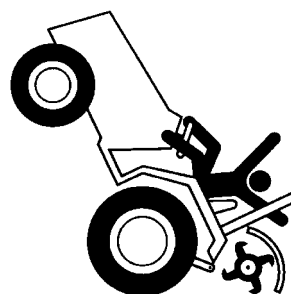
1AHACACAP001D

4. ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
   回転部分や操縦装置に引掛かり事故の原因になります。
   安全のため，ヘルメット，滑りにくい靴を着用し，必要に応じて安全靴，保護めがねや手袋などを使ってください。

1AAAAABCP001B

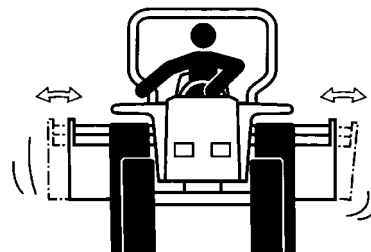
ロータリの着脱時

1. PTOを中立にして平たんな場所で行なってください。
2. トラクタとロータリの間に立たない，また立たせないでください。
   挟まれるおそれがあります。

1AHACACAP002B

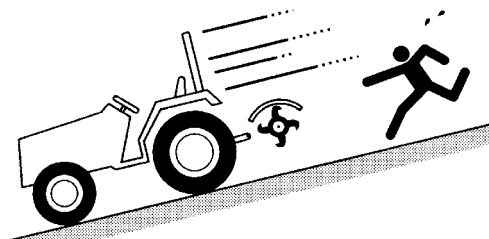
3. 二人作業の場合はお互いに合図しあい，注意して作業してください。
4. ３点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが，確実にセットされていることを確認してください。

1AHACACAP003B

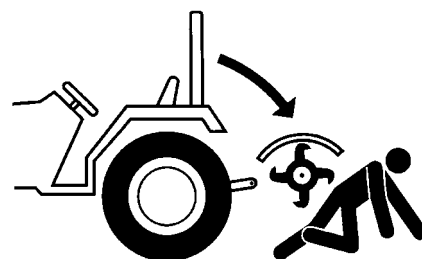
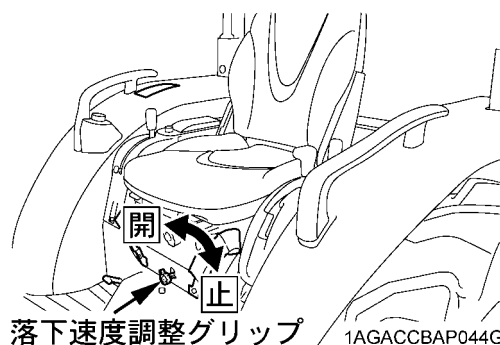
5. 装着するトラクタによってそれぞれ前後バランスが異なる場合がありますので，前部ウエイトの指示がある場合は必ず装着してください。
前輪が浮上がり事故の原因になります。

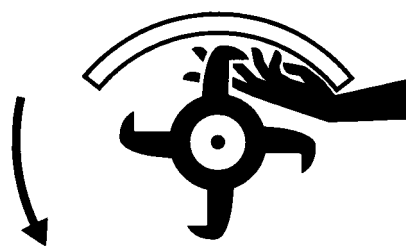
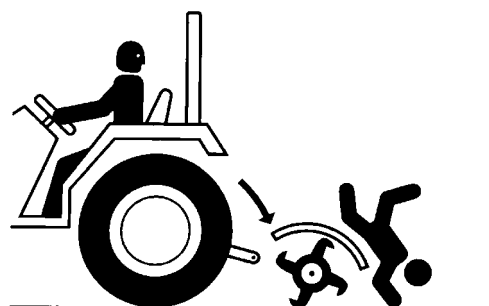
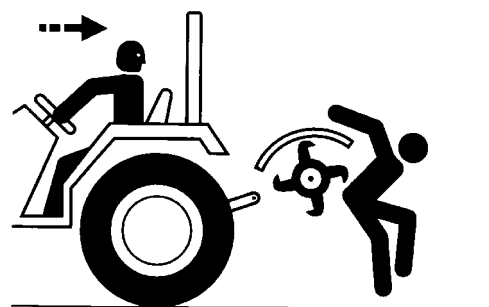
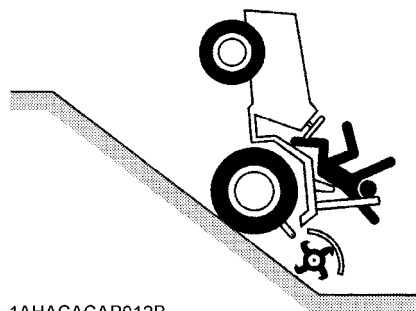
6. ロアーリンクのチェックチェーンは，ロータリが左右に１～２ cm 動く程度に調節してください。
走行時，ロータリが揺れてバランスをくずし事故の原因になります。

1AHACACAP004B

7. 着脱時，スタンド仕様はフロントスタンドとリヤスタンド，後２輪仕様は後２輪，４輪キャスタ仕様は４輪キャスタを必ずセットしてください。
ロータリが倒れ，事故の原因になります。

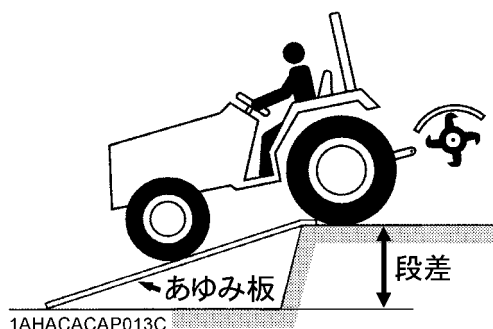
耕うん爪の点検や交換及び調整時

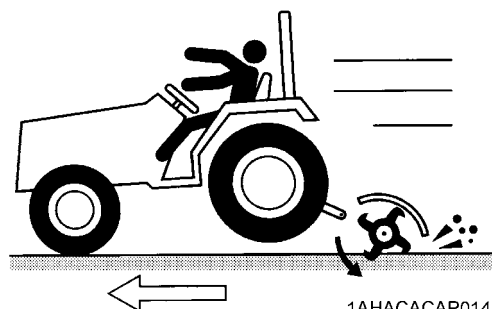
1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
トラクタが動き出すおそれがあります。
3. ロータリカバー２は，イージーリフタとセットピンを使用し，確実に固定してください。

1AHACACAP005B

4. ロータリを上げた状態で点検整備を行なう場合は：
＊ 必ず落下速度調整グリップで，作業機が落下しないようにロック（停止）してください。
＊ 落下速度調整グリップでロックした後，油圧レバーを[前方に倒して]，作業機が落下しないことを必ず確認してください。
＊ 確認後，再度油圧レバーを上げておいてください。
＊ ロックするとともに適切なジャッキ又はブロックを爪軸の下に置き，落下防止を行なってください。

1AHACACAP006B

運転時

1. 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また紛失したり損傷した場合，交換してください。
   巻込まれや切傷事故の原因になります。
2. ユニバーサルジョイント，爪軸など回転部分には近づかないでください。
   裂傷・巻込まれなど，事故のおそれがあります。

3. ロータリの上に人を乗せないでください。

4. 必ず座席に座ってロータリ作業を行なってください。
   作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
5. ロータリを持上げ，バック及び急旋回するときは，周囲の安全確認を行なってください。

6. 傾斜地やあぜを登るときは，転倒防止のためロータリを下げて前輪の浮上がりを防いでください。

1AHACACAP012B

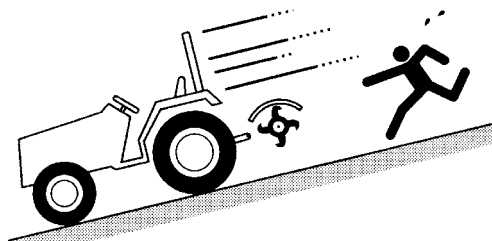
7. ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。

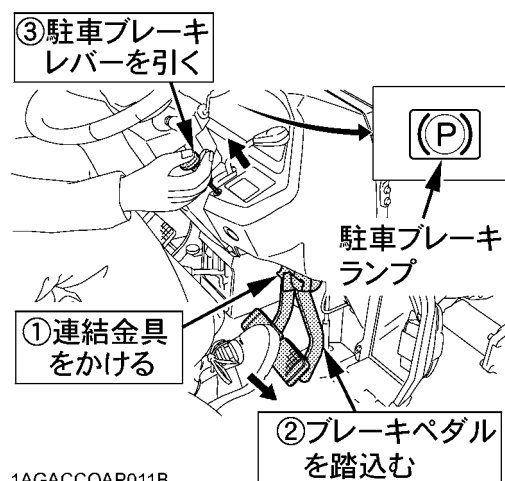
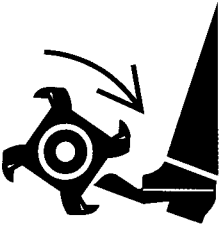
＊ あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。

1AHACACAP013C

8. 耕うん中，硬いほ場でトラクタが前に飛出した場合，すぐクラッチを切りブレーキを踏んでください。次により遅い車速に変速し，爪軸回転を上げて飛出しが起こらないように作業してください。
２輪駆動，４輪駆動の切換え可能なトラクタは，４輪駆動にしてください。

1AHACACAP014B

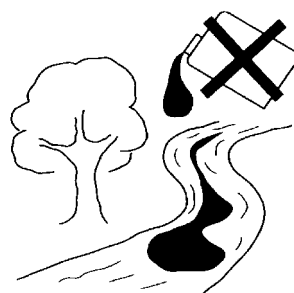
9. ロータリをトラクタに装着して公道を走行できません。（道路運送車両法の保安基準）

格納時

1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. ロータリを下げ，地面に接地させてください。ロータリが落下するおそれがあります。
3. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。トラクタが動き出すおそれがあります。
4. ロータリに寄りかかったり，乗ったりしないでください。
ロータリが転倒するおそれがあります。

1AHACACAP015B

1AGACCOAP011B

廃棄物の処理について

1. 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

1BJABAAAP018D

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　7C705-5646-5

⚠ 注　意

傷害事故防止のため、取扱説明書を読んで正しく取扱うこと。

着脱時
- PTOを中立にして、平たんな場所で行なうこと。
- トラクタとロータリの間に立たないこと。
- 三点リンク又は二点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが外れていないか確認すること。

爪の交換および点検・調整時
- 平たんな場所で駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止すること。
- ロータリ落下防止のためトラクタの油圧ロックを行ない、さらに爪軸の下に木の台などを置いてより安全性を確保すること。

＊オートハンガのクリップを解除位置にした場合、直ちにカバーを降ろすこと。
＊補助カバー、Vカバーの着脱や延長カバーの開閉時、指の挟まれに注意すること。

作業時　【＊：　　を装備している場合】
- ロータリの上に人を乗せないこと。
- ロータリの持ち上げ、バック及び急旋回時は、周囲の安全を確認すること。
- 傾斜地や畦を登る時は、ロータリを下げて前上がりを防ぐこと。

⚠ 警　告

ロータリの回転部に接触すると、巻き込まれやケガをする恐れがあるので回転部に近づかないこと。

1AHAAACAP143A

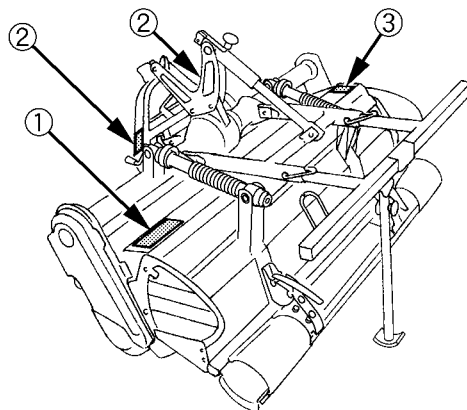
(2) 品番　7C705-5881-1

⚠ 警　告

ユニバーサルジョイントに接触すると、巻き込まれやケガをする恐れがあるので近づかないこと

1AHACACAP018A

(3) 品番　7F712-5613-1

1AHACACAP019A

1AHACAFAP002A

1AHACAFAP0080

表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には, 保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

◆ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は, お買上げいただいた購入先にそれぞれ **［ご相談窓口］** を設けておりますので, お気軽にご相談ください。
その際, ロータリ名称と機械番号を併せてご連絡ください。
なお, 部品をご注文の際は, 購入先に純正部品表を準備しておりますので, そちらでご相談ください。

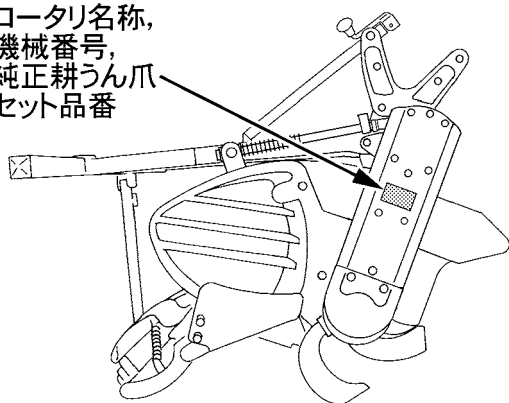
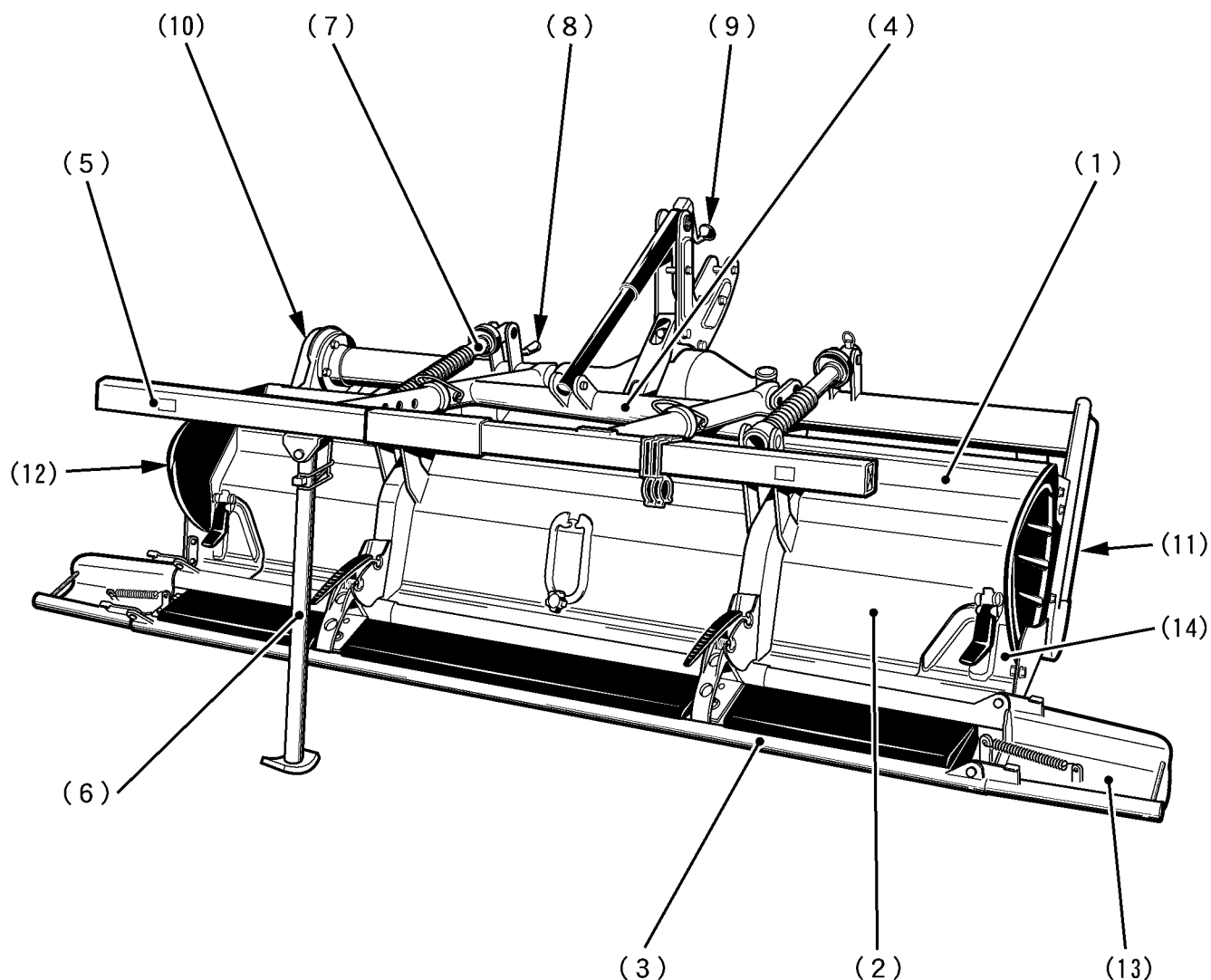
警 告

＊ 危険ですので，機械の改造はしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後 12 年といたします。
ただし, 供給年限内であっても特殊部品につきましては, 納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが, 供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には, 納期及び価格についてご相談させていただきます。

補 足

＊ 純正耕うん爪セット品番をロータリ名称・機械番号を記したラベルの下に記載しております。
部品交換の際にご活用ください。

各部の名称

1AHACAGAP001A

（1） ロータリカバー１
（2） ロータリカバー２
（3） フラップカバー
（4） 後２輪ホルダ１
（5） 後２輪ホルダ２
（6） リヤスタンド
（7） ロッド
（8） イージーリフタハンドル
（9） 後２輪ハンドル
（10） チェーンケース
（11） サイドフレーム
（12） サイドカバー
（13） 延長カバー
（14） 補助カバー

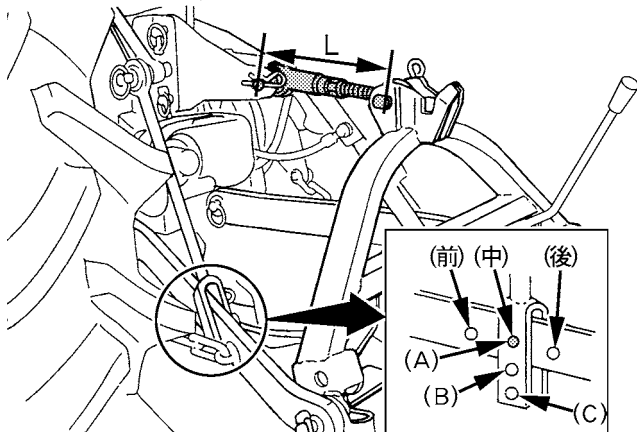
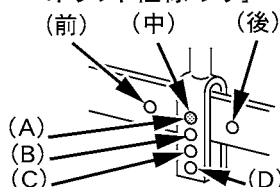
ロータリの着脱のしかた

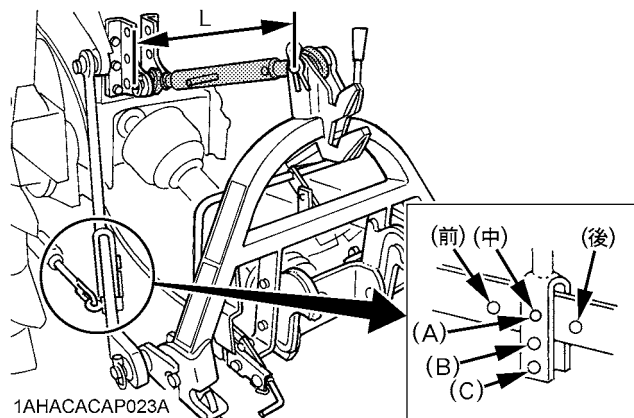
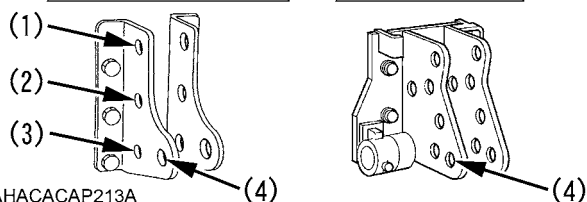
取付け前の準備

注 意

＊ 補助ユニットの種類，トップリンク長さ，ロアーリンク穴位置，リフトロッド穴位置を間違うと，ジョイント抜けやトップリンクの破損等による傷害事故のおそれがあります。
＊ 前部ウエイトの指示がある場合，トラクタに必ず取付けてください。
トラクタの前輪が浮上がり事故の原因になります。

[特殊 3P 式]

1. 補助ユニット（トップリンクサポート，トップリンク，オートヒッチフレームなど）が，装着されているかを確認してください。装着されていないときは，**“トップリンクサポートの取付け”**の項を参照の上，装着してください。
2. 装着するトラクタにより，３点リンク取付点と補助ユニットの種類及びトップリンク長さが異なりますので，下図と 4 ページの表又はトップリンクサポートに貼付けてあるラベルを確認の上，点検・調整してください。

[W3P 式]

1. 装着するトラクタにより３点リンク取付点とトップリンク長さが異なりますので，下図と 4 ページの表又はオートヒッチフレームに貼付けてあるラベルを確認のうえ，点検・調整してください。

トップリンクブラケットの拡大図

◆ トップリンク長さの調整

1. W3P 式は装着する作業機によって，トップリンク長さが異なります。(長さがわからない場合は，作業機の購入先にお問い合わせください。)
2. トップリンクの調整は，ロックナットをゆるめてから行なってください。トップリンク調整後は，トップリンクをロックナットで固定してください。

重 要

＊ トップリンク長さが狂っていると，ジョイント騒音やジョイントの外れ，破損のおそれがあります。

ロータリの着脱のしかた

■ロータリの取付け方法と適応型式

（下表は一般的な組合わせを示しています。表に記載されていないトラクタの派生機種については，トラクタ側の取扱説明書に記載している場合があります。）

［特殊 3P 式］

<table>
<tr><td colspan="2">トラクタ型式</td><td>KL24R(H)
KL33R-T(W)</td><td>KL27R(H)
L27R(H)
KL31R-W
KL34R-W</td><td>KL31R(H)
L31R(H)
KL34R(H)
KL31Z(H)
KL34Z(H)</td><td>KL26R-PC
KL28R-PC
L28R-PC
KL31R-PC
L31R-PC
KL31Z(H)(D)-PC</td><td>KL34R(H)-PC</td><td>KL34R(H)D-PC
（ドラフト仕様）</td><td>KL26R-K(W)
KL31R-K(W)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ロータリ型式</td><td colspan="2">RL150(F)(XF)R</td><td colspan="4">－</td><td rowspan="3">RL150HR
RL160HR</td></tr>
<tr><td colspan="6">RL140AR ， RL160(F)(XF)R</td></tr>
<tr><td>RL140R</td><td colspan="5">RL170R</td></tr>
<tr><td rowspan="2">補助ユニット</td><td>ドラフト無し仕様</td><td>U240Q-12RF</td><td>U270Q-12RF</td><td>U310Q-12RF</td><td>U260PCQ-12RF</td><td>U340PCQ-12RF</td><td>－</td><td>U240Q-12RF</td></tr>
<tr><td>ドラフト仕様</td><td colspan="3">－</td><td>U341PCQ-12RF</td><td>－</td><td>U341PCQ-12RF</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">トップリンク長さ“L”寸法(mm)</td><td>250</td><td colspan="2">255</td><td>260</td><td colspan="2">265</td><td>245</td></tr>
<tr><td colspan="2">リフトロッド左・右の取付穴</td><td colspan="2">（A）</td><td colspan="2">（B）</td><td>（A）</td><td>（B）</td><td>（A）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロアーリンク取付穴</td><td colspan="3">（中）</td><td colspan="3">（後）</td><td>（中）</td></tr>
<tr><td colspan="2">付加ウェイト
(前部ウェイトアッシ 28kg)
(99221-1200-1)</td><td colspan="7">必要（後２輪仕様ロータリ）※</td></tr>
</table>

1. 表中の（　）数字，記号は 3 ページの図を参照してください。
2. トップリンク長さ **“L”** 寸法は装着時の目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は± 5 mm の範囲で調節してください。

※ 前後バランスが悪くなった場合は，ウェイトの装着が必要です。

［補助ユニット］

製品名	コード No.
U240Q-12RF	7C100-02000
U270Q-12RF	7C100-04000
U310Q-12RF	7C100-06000
U260PCQ-12RF	7C100-03000
U340PCQ-12RF	7C100-01000
U341PCQ-12RF	7C100-05000

[W3P 式]

トラクタ型式	KL24R(H) KL33R-T(W)	KL27R(H) L27R(H)	KL31R(H) L31R(H) KL34R(H) KL31Z(H) KL34Z(H)	KL26R-PC	KL28R-PC L28R-PC KL31R-PC L31R-PC KL31Z(H) -PC	KL31Z(H)D -PC (ドラフト 仕様)	KL34R(H) -PC	KL34R(H)D -PC (ドラフト 仕様)
ロータリ型式	RL150(F)(XF)R		—					
	RL160(F)(XF)R							
	RL140R	RL170R						
補助ユニット	WU240Q-12RF	WU270Q-12RF		WU260PCQ -12RF	WU280PCQ-12RF		WU340PCQ-12RF	
トップリンク長さ“L”寸法(mm)	525	550	605	580		570	600	590
リフトロッド左・右の取付穴	(A)							
ロアーリンク取付穴	(中)		(前)	(中)				(前)
付加ウェイト (前部ウェイトアッシ 28kg) (99221-1200-1)	必要(後2輪仕様ロータリ)※							

1. 表中の( )数字,記号は3 ページの図を参照してください。
2. トップリンク長さ **“L”** 寸法は装着時の目安とし,異音(ガラガラ音)が出る場合は± 5 mm の範囲で調節してください。

※ 前後バランスが悪くなった場合は,ウェイトの装着が必要です。

[補助ユニット]

製品名	コード No.
WU240Q-12RF	7C100-07000
WU270Q-12RF	7C100-08000
WU260PCQ-12RF	7C100-09000
WU280PCQ-12RF	7C100-08500
WU340PCQ-12RF	7C100-09500

◆ 参考［グランド KL，ニュー KL，KL トラクタに装着する場合］
［特殊 3P 式］

<table>
<tr><td rowspan="4">トラクタ型式</td><td>KL50</td><td>KL2450(H),KL3350T(W)</td><td>KL2750(H),KL2850-PC</td><td>KL3150(H),KL3450(H),
KL3450(H)-PC</td><td>KL3450(H)-PC
（ドラフト仕様）</td></tr>
<tr><td>グランド
KL</td><td>KL225,KL245(H)
KL335T(W)</td><td>KL265(H),KL285-PC
KL315W,KL345W
L315D,L345D,L345D-PC</td><td>KL285(H),KL315(H)
KL345(H),KL345(H)-PC</td><td>KL345(H)-PC
（ドラフト仕様）</td></tr>
<tr><td>ニュー KL</td><td>KL210(H),KL230(H)
KL330T(W)</td><td>KL250(H)
KL270(D)PC
KL300W,340W
L270D,L300D</td><td>KL270(H),280H
KL300(D)
KL310H,330(D)
KL330(D)PC(S)
340H,L330D
L34H</td><td>-</td></tr>
<tr><td>KL</td><td>KL21(J),23(J)
KL25,33-T</td><td>KL25J,25PC,25NC
KL25HT,27,28H
KL30W,34W</td><td>KL27J,28HQ,30
KL31H,33,33PC
KL34H</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ロータリ型式</td><td colspan="2">RL150(F)(XF)R</td><td>−</td><td rowspan="3">RL160(F)(XF)R
RL170R</td></tr>
<tr><td colspan="3">RL160(F)(XF)R</td></tr>
<tr><td>RL140R</td><td colspan="2">RL170R</td></tr>
<tr><td rowspan="4">補助ユニット</td><td>KL50</td><td>U2450Q-11RF</td><td>U2750Q-11RF</td><td>U3150Q-11RF</td><td>U3451PCQ-11RF</td></tr>
<tr><td>グランド
KL</td><td>U225Q-10RF</td><td>U265Q-10RF</td><td>U285Q-10RF</td><td>U346PCQ-10RF</td></tr>
<tr><td>ニュー KL</td><td>U210Q-9RF</td><td>U250Q-9RF</td><td>U270Q-9RF</td><td>-</td></tr>
<tr><td>KL</td><td>U210Q-8RF</td><td>U270Q-8RF</td><td>U300Q-8RF</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="2">トップリンク長さ“L”寸法(mm)</td><td>250</td><td colspan="2">255</td><td>235</td></tr>
<tr><td colspan="2">リフトロッド左・右の取付穴</td><td colspan="2">（A）</td><td colspan="2">（B）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロアーリンク取付穴</td><td colspan="4">（中）</td></tr>
<tr><td colspan="2">付加ウェイト
(前部ウェイトアッシ 28kg)
(99221-1200-1)</td><td colspan="4">必要（後２輪仕様ロータリ）※</td></tr>
</table>

【注意】トラクタの形式により最上げ，モンロー上げでトラクタリヤフェンダーとイージーリフタのハンドルが干渉する場合があります。上限規制にて干渉を回避してください。

[W3P 式]

<table>
<tr><td rowspan="4">トラクタ型式</td><td>KL50</td><td>KL2450(H)</td><td>KL2750(H)</td><td>KL2850-PC</td><td>KL3450(H)-PC,
KL3150(H),
KL3450(H)</td><td>KL3450(H)-PC
(ドラフト仕様)</td></tr>
<tr><td>グランド
KL</td><td>KL225, KL245(H),
KL335T(W)</td><td>KL265(H)</td><td>KL285-PC,
L315D,L345D,
L345D-PC</td><td>KL285(H),
KL315(H),KL345(H),
KL345(H)-PC</td><td>KL345(H)-PC
(ドラフト仕様)</td></tr>
<tr><td>ニュー KL</td><td>KL210(H),KL230(H)
KL330T</td><td>KL250(H),L270D,
L300D</td><td>KL270(D)PC</td><td>KL270(H),280H,
KL300,
KL310H,330(D),
KL330(D)PC(S)
340H,L330D,L34H</td><td>—</td></tr>
<tr><td>KL</td><td>KL21(J),23(J)
KL25,33-T</td><td>KL25J,25PC,
25NC,27,KL28H,
30W,34W</td><td>—</td><td>KL27J,28HQ,30,
KL31H,33,33PC,34H</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ロータリ型式</td><td colspan="2">RL150(F)(XF)R</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td colspan="4">RL160(F)(XF)R</td><td>RL160(F)(XF)R</td></tr>
<tr><td>RL140R</td><td colspan="3">RL170R</td><td>RL170R</td></tr>
<tr><td rowspan="4">補助ユニット</td><td>KL50</td><td>WU2450Q-11RF</td><td>WU2750Q-11RF</td><td colspan="3">WU3150Q-11RF</td></tr>
<tr><td>グランド
KL</td><td>WU225Q-10RF</td><td>WU265Q-10RF</td><td colspan="3">WU285Q-10RF</td></tr>
<tr><td>ニュー KL</td><td>WU210Q-9RF</td><td>WU250Q-9RF</td><td colspan="3">WU270Q-9RF</td></tr>
<tr><td>KL</td><td>WU210Q-8RF</td><td colspan="4">WU270Q-8RF</td></tr>
<tr><td colspan="2">トップリンク取付穴</td><td colspan="5">(4)</td></tr>
<tr><td colspan="2">トップリンク長さ“L”寸法(mm)</td><td>525</td><td colspan="2">550</td><td>605</td><td>590</td></tr>
<tr><td colspan="2">リフトロッド左・右の取付穴</td><td colspan="5">(A)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロアーリンク取付穴</td><td colspan="3">(中)</td><td colspan="2">(前)</td></tr>
<tr><td colspan="2">付加ウェイト
(前部ウェイトアッシ 28kg)
(99221-1200-1)</td><td colspan="5">必要(後２輪仕様ロータリ)※</td></tr>
</table>

1. トップリンク長さ**“L”**寸法は装着時の目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は±５ mm の範囲で調節してください。

※ 前後バランスが悪くなった場合は，ウェイトの装着が必要です。

2. 別途オートヒッチフレーム，アッシが必要です。(**[特殊 3P 式]** 7C405-99610，**[W3P 式]** 7C300-99620)

[補助ユニット]

製品名	コード No.	製品名	コード No.	製品名	コード No.
U210Q-8RF	7C500-02000	U225Q-10RF	7C300-02000	U2450Q-11RF	7C200-02000
U270Q-8RF	7C500-04000	U265Q-10RF	7C300-04000	U2750Q-11RF	7C200-04000
U300Q-8RF	7C500-06000	U285Q-10RF	7C300-06000	U3150Q-11RF	7C200-06000
WU210Q-8RF	7C500-07000	U346Q-10RF	7C300-05000	U3451PCQ-11RF	7C200-05000
WU270Q-8RF	7C500-08000	WU225Q-10RF	7C300-07000	WU2450Q-11RF	7C200-07000
U210Q-9RF	7C400-02000	WU265Q-10RF	7C300-08000	WU2750Q-11RF	7C200-08000
U250Q-9RF	7C400-04000	WU285Q-10RF	7C300-09000	WU3150Q-11RF	7C200-09000
U270Q-9RF	7C400-06000				
WU210Q-9RF	7C400-07000				
WU250Q-9RF	7C400-08000				
WU270Q-9RF	7C400-09000				

◆ 参考［GL プラス１トラクタに装備する場合］

［特殊 3P 式］

<table>
<tr><td colspan="2">トラクタ型式</td><td>GL201
GL221
GL241</td><td>GL241J
GL261
GL277
GL281
GL301E
GL321E
GL337W,L27</td><td>GL241K
GL261K</td><td>GL281J
GL281Q
GL301
GL321
GL337
L33</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ロータリ型式</td><td colspan="3">RL150(F)(XF)R</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="4">RL160(F)(XF)R</td></tr>
<tr><td>RL140R</td><td colspan="3">RL170R</td></tr>
<tr><td rowspan="2">補助
ユニット</td><td>スーパー
ジョイント付</td><td>U205Q-7RF</td><td>U265Q-7RF</td><td>U261KQ-7RF</td><td>U305Q-7RF</td></tr>
<tr><td>スーパー
ジョイント無</td><td>U195-7RF</td><td>U255-7RF</td><td>U261K-7RF</td><td>U295-7RF</td></tr>
<tr><td colspan="2">トップリンク長さ“L”寸法（mm）</td><td>230</td><td>240</td><td>235</td><td>240</td></tr>
<tr><td colspan="2">リフトロッド左・右の取付穴</td><td colspan="2">（A）</td><td>（B）</td><td>（A）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロアーリンク取付穴</td><td colspan="2">（中）</td><td>（後）</td><td>（中）</td></tr>
<tr><td colspan="2">付加ウェイト
（前部ウェイトアッシ 28kg）
（99221-1200-1）</td><td colspan="4">必要（後２輪仕様ロータリ）※</td></tr>
</table>

1. トップリンク長さ **“L”** 寸法は装着時の目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は± 5 mm の範囲で調節してください。
2. W3P 式は KL トラクタ以外に装着できません。

※ 前後バランスが悪くなった場合は，ウェイトの装着が必要です。

3. 別途オートヒッチフレーム，アッシが必要です。（7C405-99610）
4. 別途 KL 用オート金具が必要です。（T1062-99080）

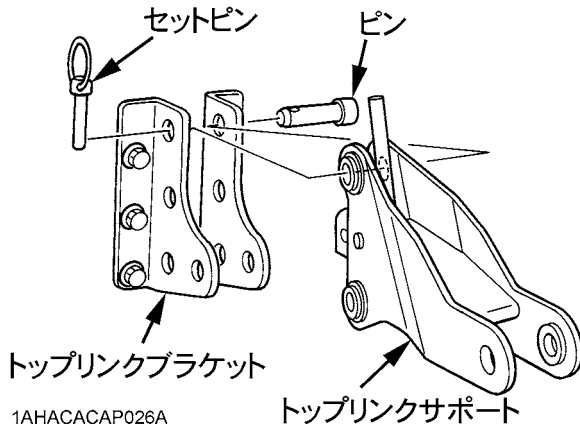
［補助ユニット］

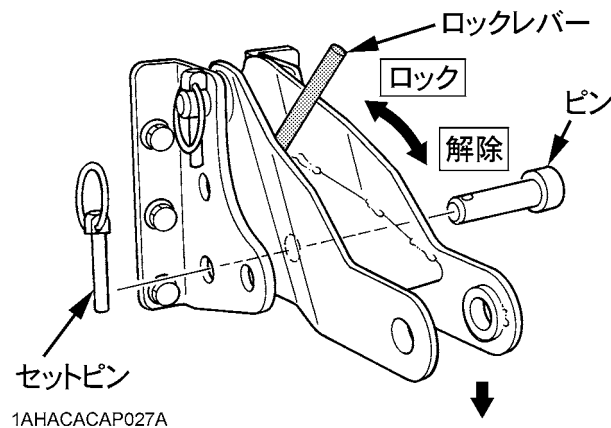
製品名	コード No.
U205Q-7RF	7C600-02000
U265Q-7RF	7C600-04000
U305Q-7RF	7C600-06000
U261KQ-7RF	7C600-08000
U195-7RF	7C600-01000
U255-7RF	7C600-03000
U295-7RF	7C600-05000
U261K-7RF	7C600-07000

トップリンクサポートの取付け（補助ユニット関連部品）（特殊 3P 式）

■取付け方

1. トップリンクブラケットの上穴と，トップリンクサポートの上穴を右側からピンで取付け，セットピンで抜け止めをしてください。（トップリンクサポートの上下を間違わないよう，ラベルの方向又は補助ユニット一覧表を参照して取付けてください）

1AHACACAP026A

2. ロックレバーを手前に引き，トップリンクブラケットの下穴と，トップリンクサポートの下穴をピンで取付け，セットピンで抜け止めをしてください。

1AHACACAP027A

3. ロックレバーを前方に戻し，確実にロックしてください。

■取外し方

取付け順序の逆に行なってください。

トラクタへの装着

注　意

＊ ロータリの取付け・取外しは，PTO を中立にし平たんな場所で行なってください。
＊ トラクタとロータリの間には立たないでください。はさまれるおそれがあります。

重　要

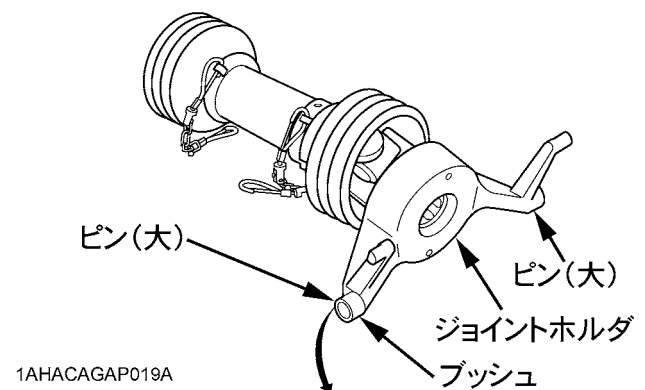
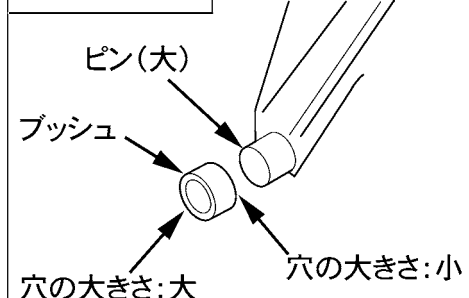
＊ 安全カバー回転止め鎖で，ユニバーサルジョイントを吊らないでください。
＊ トラクタにけん引ヒッチが付いている場合は事前に取外してください。

■装着前の準備［特殊 3P 式］

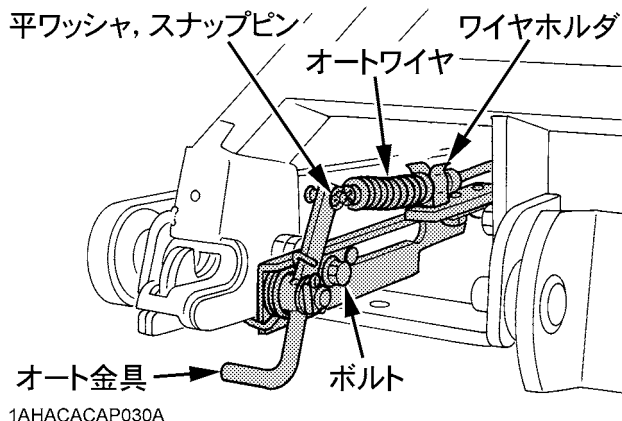
◆ スーパージョイントの組付け

オートヒッチフレームをトラクタに装着した後に，ジョイントを着脱できます。
（ジョイントの取付け方は **“取付け方”** の項を参照）

1. ジョイントホルダのピン（大）にブッシュが組付けられていることを確認してください。

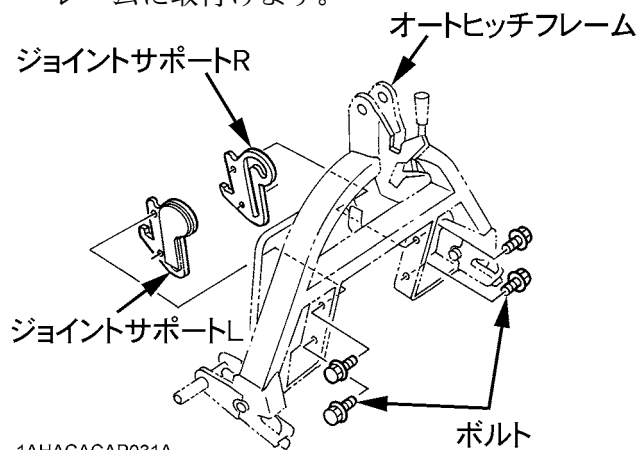
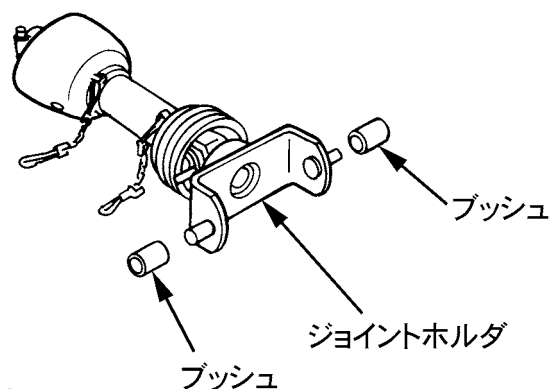
1AHACAGAP019A

穴の小さい方を内側にし，奥まで入れてください。

◆ **オート金具の取付け**

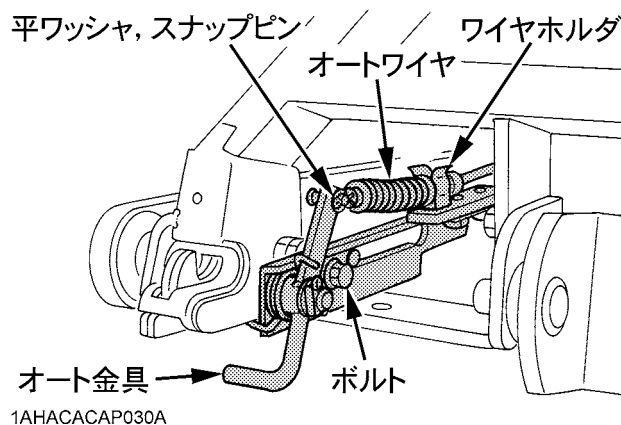
1. オート金具をボルトでオートヒッチフレームに取付けます。
2. オート金具にオートワイヤを平ワッシャとスナップピンで取付けます。
3. オートワイヤをワイヤホルダに取付けます。

■**装着前の準備［W3P 式］**

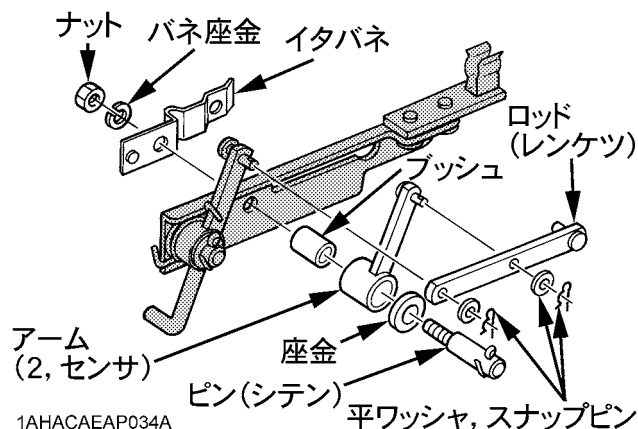
◆ **スーパージョイントの組付け**

オートヒッチフレームをトラクタに装着した後に，ジョイントを着脱できます。
（ジョイントの取付け方は **“取付け方”** の項を参照）

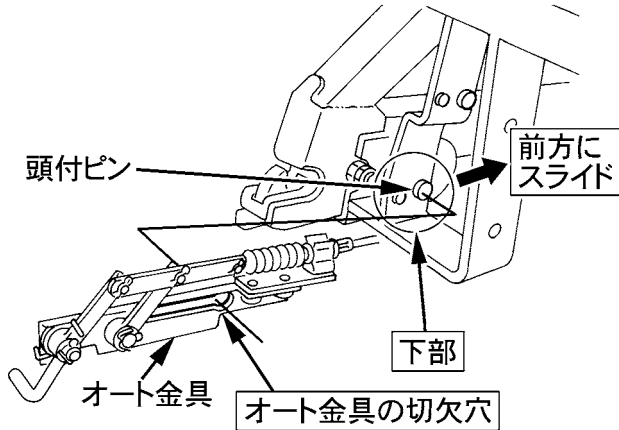
1. ジョイントサポートＲとジョイントサポートＬ をそれぞれボルト２本でオートヒッチフレームに取付けます。

2. ジョイントホルダにブッシュを打込みます。

◆ **オート金具の組付け**
［トラクタがオート仕様の場合］

付属の部品を使用し，図を参考に次の順序でオート金具を組換えてください。

1. スナップピンと平ワッシャを外し，オート金具からオートワイヤアッシを取外します。
2. ボルト２本を外し，ワイヤホルダを逆向きに組換えます。

3. 付属のピン（シテン）に，アーム（２，センサ），ブッシュ，イタバネを図のように挿入し，バネ座金・ナットで締付けます。

4. ロッド（レンケツ）を平ワッシャとスナップピンで取付けます。

5. オートワイヤアッシを取付けます。
6. オート金具をオートヒッチフレームの下部にセットしてください。
セット要領は，オート金具の切欠穴部をオートヒッチフレームに溶接された頭付ピンに挿入し，前方にスライドさせます。その際，イタバネの抜け止め穴を頭付ピンの裏側の凸部に確実に収めてください。

1AHACACAP035E

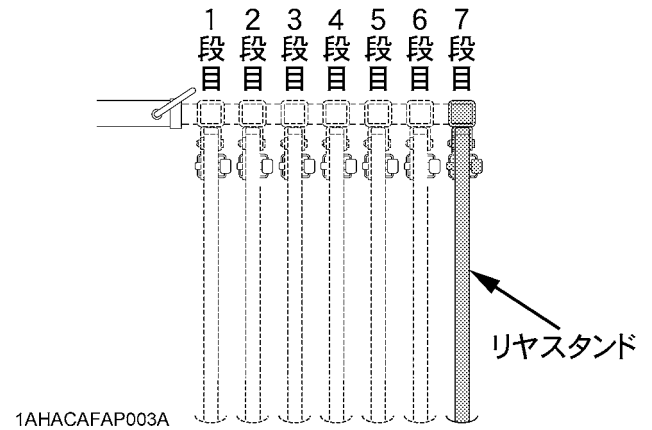
補　足

＊ オート金具をセットする際は，必ずトラクタのロアーリンクが水平よりも上方の位置で行なってください。

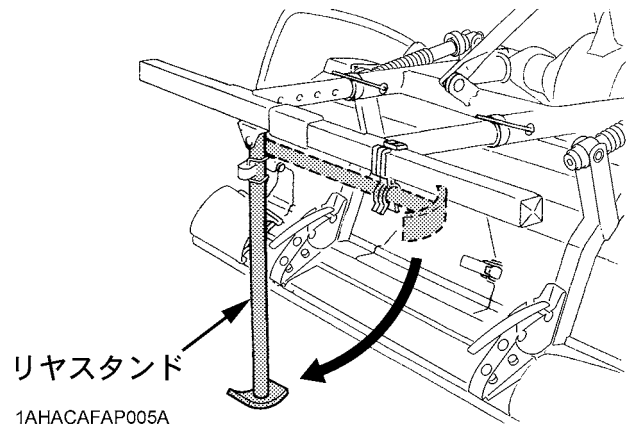
■ロータリ着脱姿勢の調整

◆ スタンド仕様の場合

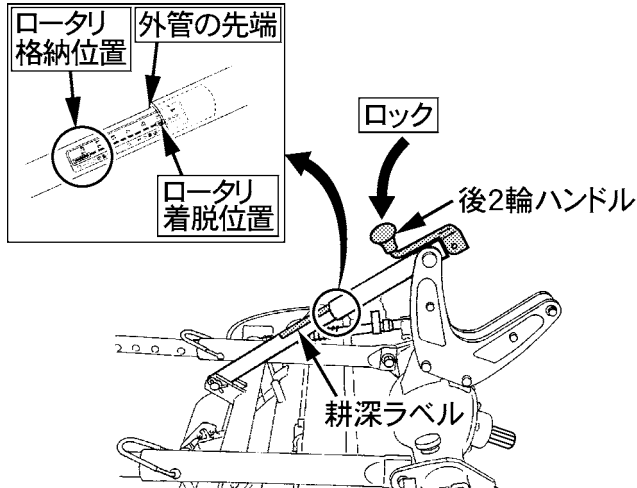
1. リヤスタンドの前後方向の位置は７段目にセットしてください。

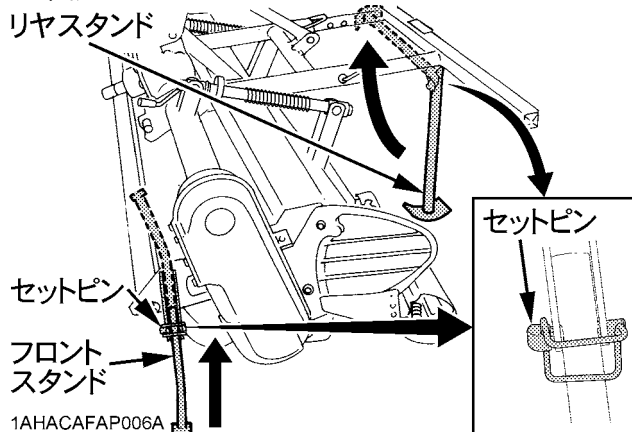
［前後位置］

1AHACAFAP003A

2. リヤスタンドを下げ位置にセットし，セットピンで固定してください。

1AHACAFAP005A

3. ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を内管に貼ってあるラベルの **［ロータリ着脱位置］** の範囲にあわせてください。

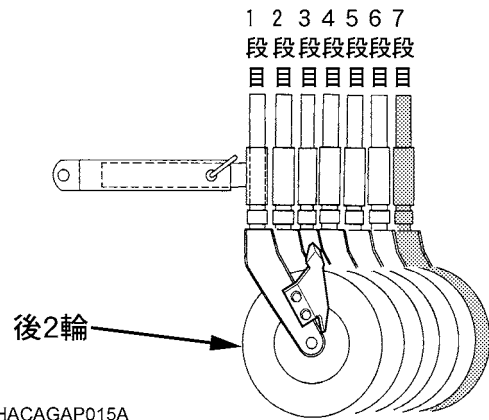
重　要

＊ 後２輪ハンドルは操作後，図のロック位置にセットしてください。

1AHACAEAP006A

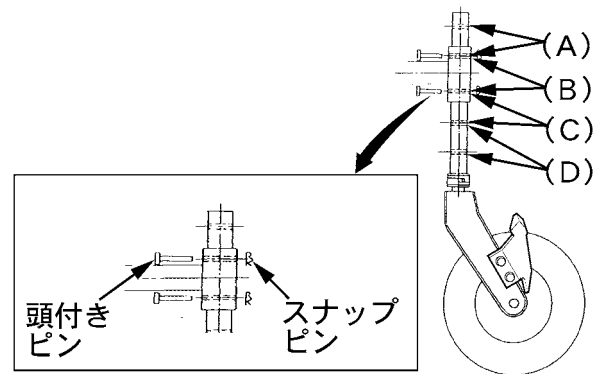
＊ ロータリの着脱は，フラップカバーを装着して行なってください。
＊ ロータリ単体で保管する場合は，フロントスタンドを下げ位置にセットしてください。（X仕様除く）
＊ 耕うん時は，リヤスタンドは折たたみ，フロントスタンドは上方へ反転し，セットピンで固定してください。

1AHACAFAP006A

◆ **後２輪仕様の場合**

1. 後２輪の前後方向の位置は７段目にセットしてください。

［前後位置］

1AHACAGAP015A

［上下位置］

上下位置は（B）の位置にセットしてください。

1AHACAGAP016A

2. ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を内管に貼ってあるラベルの **［ロータリ着脱位置］** の範囲にあわせてください。

◆ **４輪キャスタ仕様の場合**

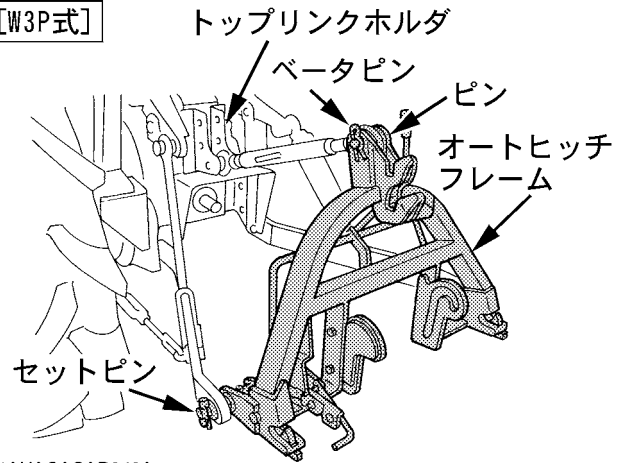
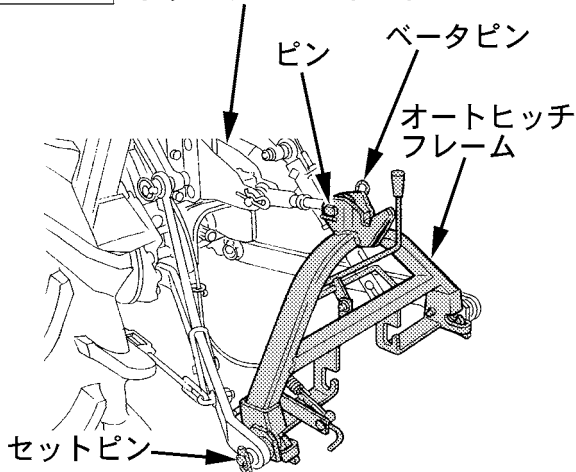
キャスタスタンドを装着します。
（詳細は **“キャスタスタンドの取扱い”** の項を参照。）

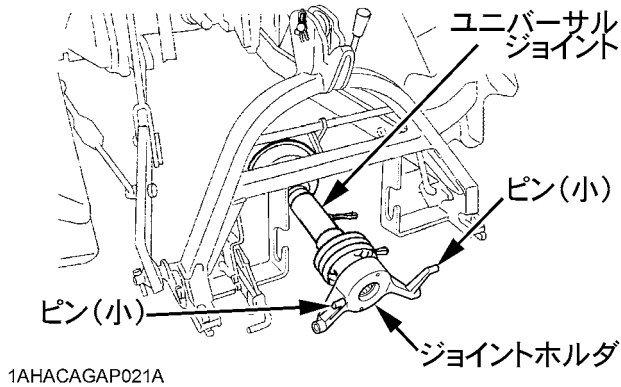
■取付け方

◆ 特殊 3P 作業機を装着する場合

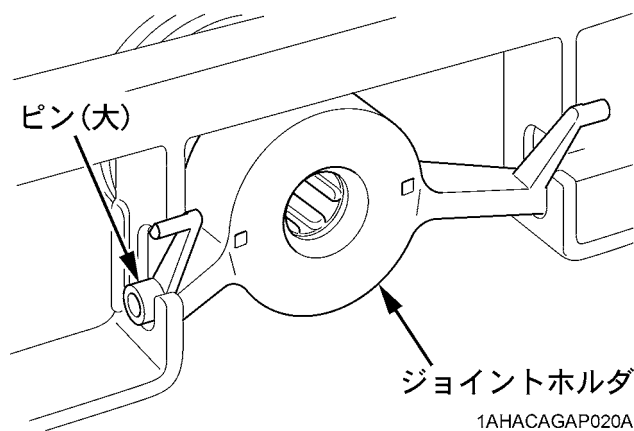
1. ロアーリンクとリフトロッド取付け位置を確認してください。もし，異なっている場合は **“取付け前の準備”** の項に従って取付けてください。

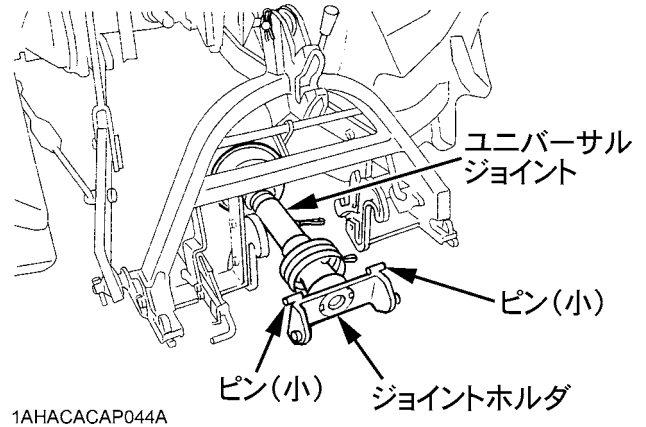
＊ ロアーリンクとリフトロッドの取付け穴位置を間違うと，ユニバーサルジョイントが破損し傷害事故を引起すおそれがありますので，取付け穴位置を再確認してください。

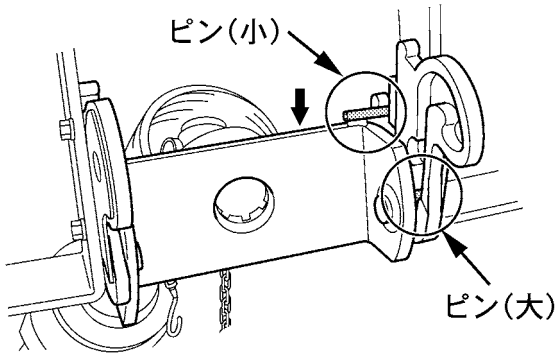
2. ロアーリンクにオートヒッチフレームを取付け，セットピンで抜け止めをしてください。
3. トップリンクの長さ **“L”** を調節し（**“取付け前の準備”** の **“ロータリの取付け方法と適応型式”** の項参照），トップリンクサポート（特殊 3P 式）［トップリンクホルダ（W3P 式）］と，オートヒッチフレームの上部にそれぞれピンで取付け，ベータピンで抜け止めをしてください。

4. ユニバーサルジョイントをオートヒッチフレームに装着します。

［特殊 3P 式］

(1) ユニバーサルジョイントをオートヒッチフレームの下に置きます。
（ジョイントホルダがロータリ側，ピン（小）が上側）

(2) ジョイントホルダを下図のように持ち，左右のピン（大）をオートヒッチフレームの開口部から入れます。

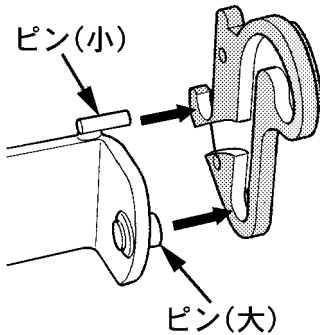
重　要

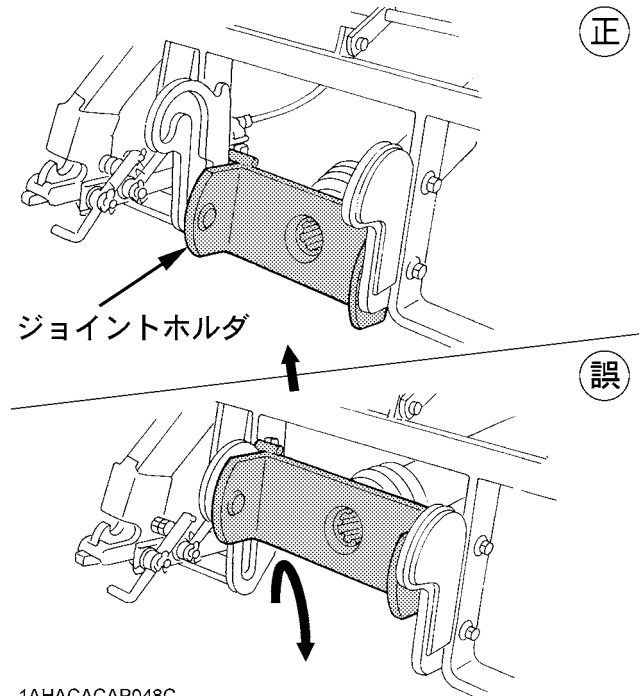
＊ ジョイントホルダのピン（大）がオートヒッチフレームの溝下部の正しい位置におさまっているか確認してください。

［W3P 式］

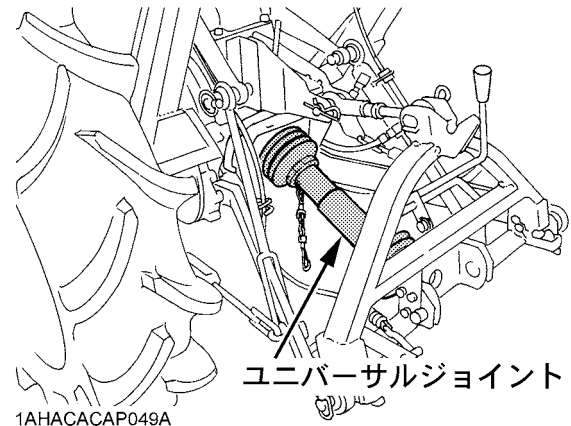
(1) ユニバーサルジョイントをオートヒッチフレームの下に置きます。
（ジョイントホルダがロータリ側，ピン（小）が上側）

(2) ジョイントホルダを下図のように持ち，左右のピン（大）をジョイントサポートの開口部から入れます。

(3) ピン（大）をジョイントサポートの下部に，ピン（小）をジョイントサポートの溝に入るように下げます。

1AHACACAP046A

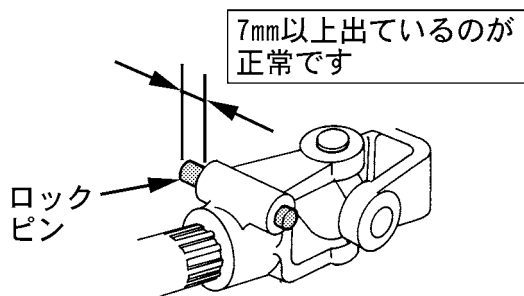
重 要

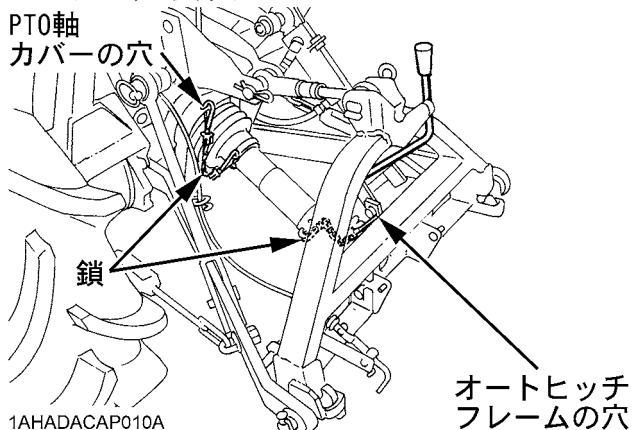
＊ 下部にセットする際，ジョイントホルダのピン部がジョイントサポートの正しい位置におさまっているか確認してください。

1AHACACAP047A

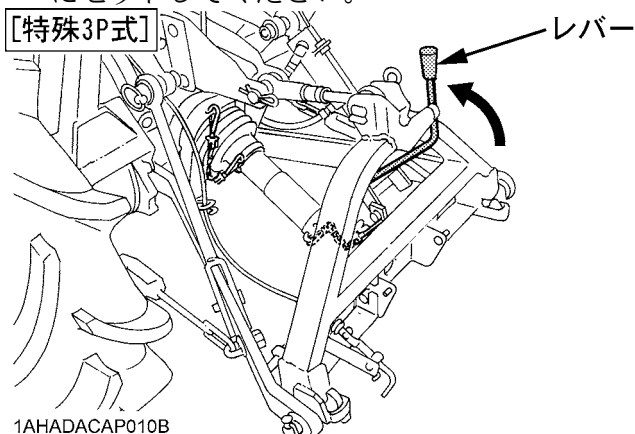
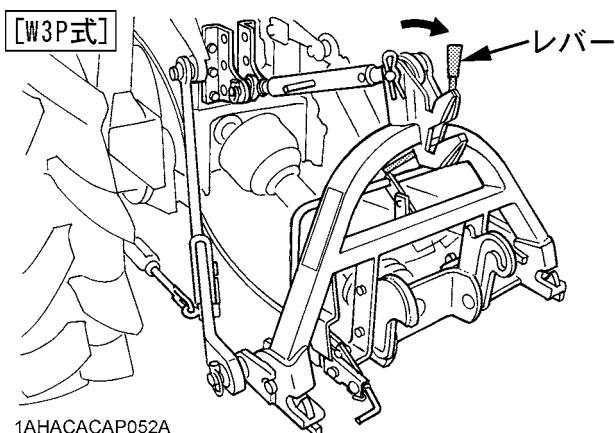
(4) ジョイントホルダが下部にセットされているか再確認してください。

1AHACACAP048C

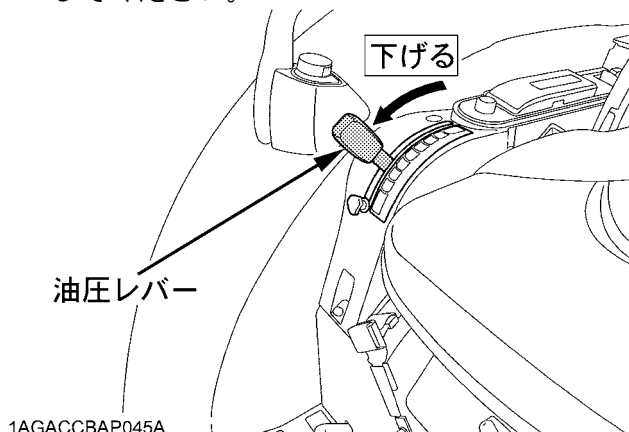
5. ユニバーサルジョイントをトラクタのPTO軸に取付けてください。

1AHACACAP049A

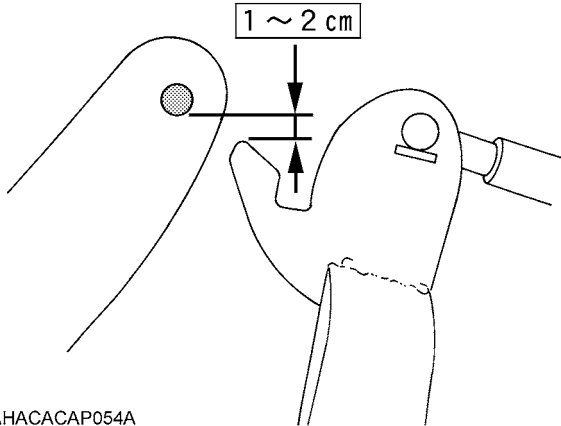
注 意

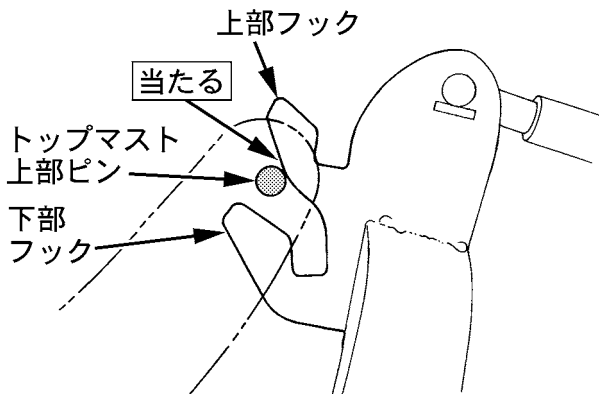
＊ ユニバーサルジョイントを確実にセットしないと，抜けるおそれがあります。ロックピンの頭が７ mm 以上出ているか確認してください。

1AHACACAP053A

6. ユニバーサルジョイントの安全カバー回転止め鎖を，トラクタ側は PTO 軸カバーの穴に，ロータリ側はオートヒッチフレームの中央部の穴に，取付けてください。

1AHADACAP010A

7. ロータリの着脱姿勢を確認してください。（**“トラクタへの装着”**の**“ロータリ着脱姿勢の調整”**の項を参照）
8. ロータリカバー２を最下げの位置にセットしてください。（**“イージーリフタの調整”**の項を参照）
9. オートヒッチフレームのレバーを下図の位置にセットしてください。

1AHADACAP010B

1AHACACAP052A

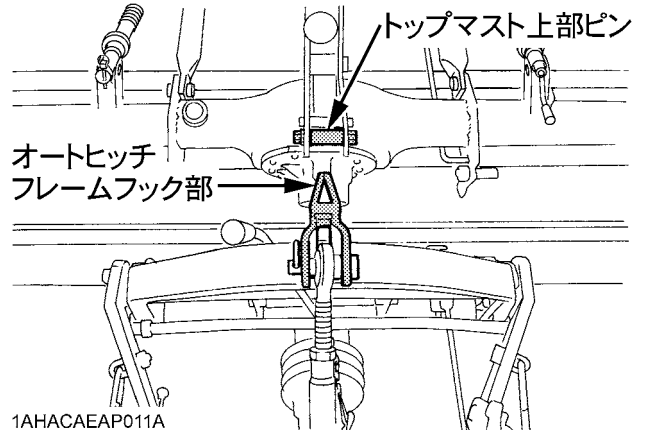
10. トラクタに乗車して，油圧レバーを**［下げ］**方向に操作し，オートヒッチフレームを降ろしてください。

1AGACCBAP045A

11.［特殊 3P 式］
オートヒッチフレームのフック部先端が，トップマスト上部ピンのやや下（1～2 cm）にくるように，油圧レバーを操作しながらゆっくりバックしてください。

1AHACACAP054A

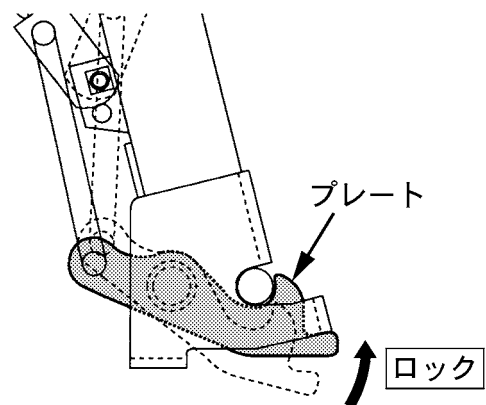
12.［W3P 式］
W3P オートヒッチフレームの場合，必ず下部フックで装着してください。
上部フック先端がトップマスト上部ピンに当たるようにゆっくりバックしてください。

1AHACACAP055A

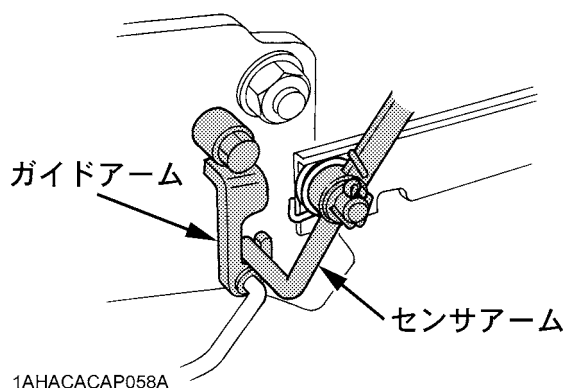
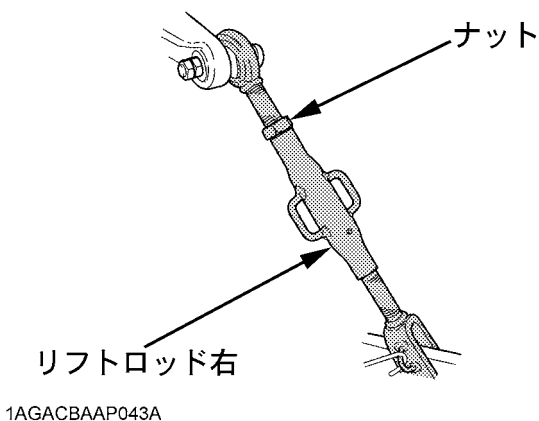
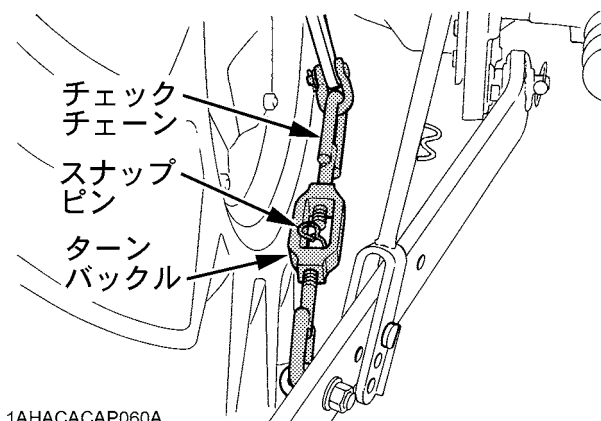
重　要

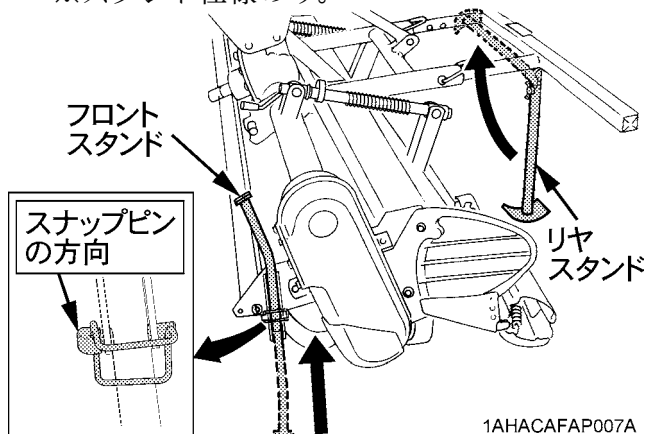
＊ W3P オートヒッチフレームで特殊 3P 式作業機（純正ロータリ含む）を装着する場合，必ず下側のフックで装着してください。上部で装着すると作業機（ロータリ）が破損するおそれがあります。

13.油圧レバーをゆっくり［上げ］方向に操作し，オートヒッチフレームのフック部がトップマスト上部ピンに確実に引掛ったことを確認してから，ゆっくりとロータリを吊上げてください。

1AHACAEAP011A

14.オートヒッチフレームでロータリを吊上げると，ロータリは自動的にオートヒッチフレームに［ロック］されます。

＊ オートヒッチフレームの左右のプレートが確実にロック状態にあるか，確認してください。
ロックしていないと，ロータリが脱落するおそれがあります。

1AHACACAP057A

15. オート金具のセンサアームがガイドアームに確実にセットされているか確認してください。

16. リフトロッド（右）を調整してください。
［モンローマチック付は調整不要］
トラクタの油圧レバーでロータリを持上げて，ロータリの爪軸がトラクタの車軸と平行になるように，リフトロッド **“右”** の調整ハンドルを回して調整してください。(調整時はエンジンを止め駐車ブレーキをかけてください)
調整後，リフトロッド **“右”** が自由に回転しないように，調整ハンドルをナット又はストッパで固定してください。

17. チェックチェーンを張ってください。
エンジンを止め駐車ブレーキをかけてから，ユニバーサルジョイントが上から見て一直線になるように，チェックチェーンを左右均等に保ち（ロータリが横方向に１～２ cm 動く程度），スナップピンでロックして，ロータリの横振れを制限してください。

18. ロータリを持上げてエンジンを止め，駐車ブレーキをかけてから PTO 変速レバーを **［中立］** にして，ユニバーサルジョイントが手で軽く回るかを，確認してください。

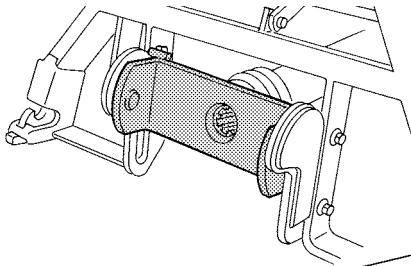
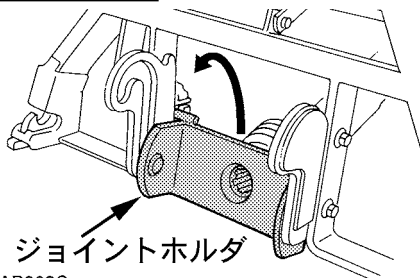
19. フロントスタンドとリヤスタンドを格納してください。(リヤスタンドは内側へ格納してください)
※スタンド仕様のみ。

◆ **標準 3P 式作業機を装着する場合(W3P 式のみ)**

W3P 用オートヒッチフレームでは,日農工規格０:１兼用型に適合した標準 3P 式作業機を装着することができます。装着する場合は次の手順でオートヒッチフレームの設定を変更してください。

1. 装着する標準 3P 式作業機の装着要領に従い,３点リンク取付点・トップリンク長さを変更してください。

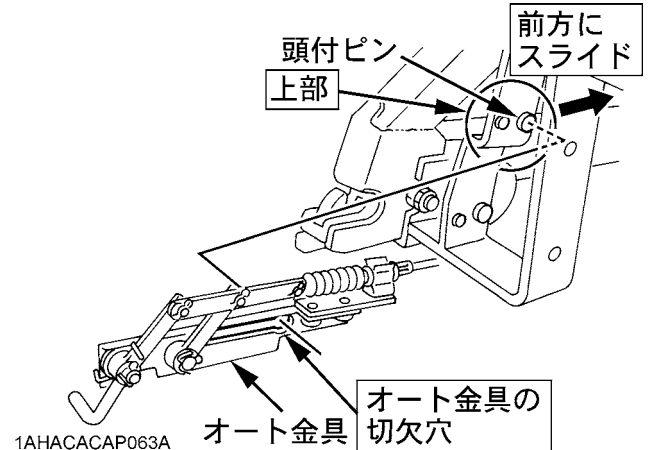
重　要

＊ 装着する作業機が **"特殊 3P 式"** か **"標準 3P 式"** かわからないときは,作業機の購入先に確認した上で装着を行なってください。

2. ジョイントホルダを上部にセットしてください。

1AHACACAP062C

3. オート仕様トラクタの場合,オート金具をオートヒッチフレームの上部に変更してください。
   (1) イタバネを頭付ピンから外し,後方にスライドさせて外します。
   (2) オート金具の切欠穴をオートヒッチフレームに溶接された頭付ピンに挿入し,前方にスライドさせます。その際,イタバネの抜け止め穴を頭付きピンの裏側の凸部に確実に収めてください。

1AHACACAP063A

補　足

＊ オート金具をセットする際は,必ずトラクタのロアーリンクが水平よりも上方の位置で行なってください。

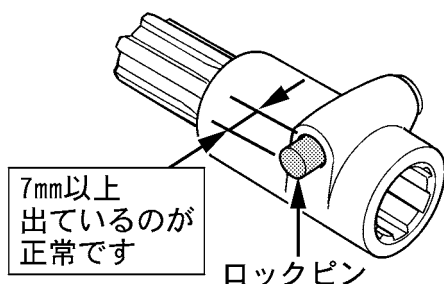
4. 標準 3P 式作業機に PIC アダプタを装着してください。

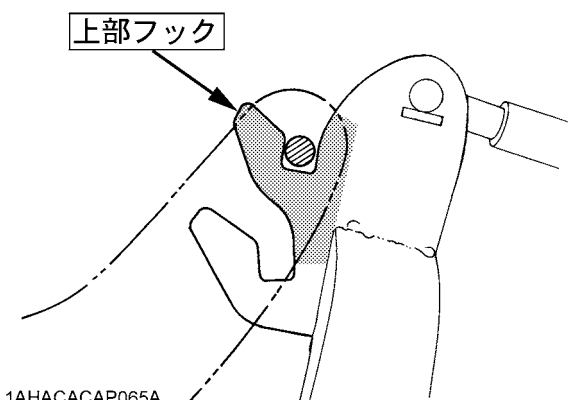
品名	品番
アダプタアッシ (PIC)	7C500-57600

＊ PIC　アダプタを確実にセットしないと抜けるおそれがあります。ロックピンの頭が 7 mm 以上出ているか確認してください。

重　要

＊ 特殊 3P 仕様の作業機には PIC　アダプタを装着しないでください。

＊ トラクタの PTO 軸に PIC アダプタを装着しないでください。

1AHACACAP064A

5. 標準 3P 式作業機を装着する場合, 必ず上部のフックで装着してください。

1AHACACAP065A

重 要

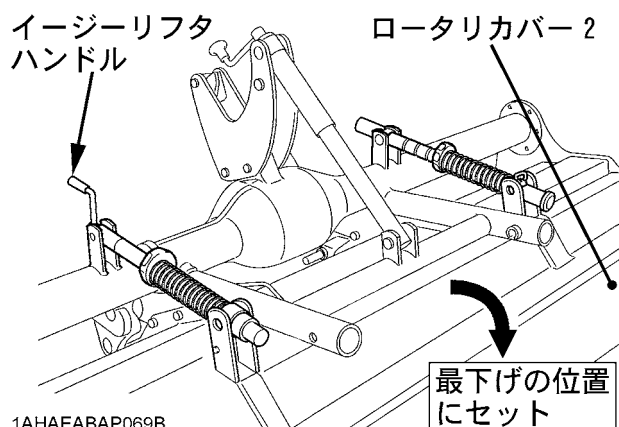
＊ 標準 3P 式作業機を装着する場合, 必ず上部のフックで装着してください。下部フックで装着すると作業機が破損するおそれがあります。

以下, W3P 式オートヒッチフレームで特殊 3P 式作業機を装着する手順と同様に行なってください。

ロータリの取外し方

注 意

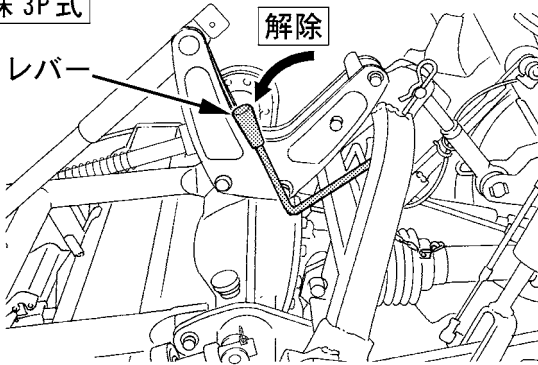
傷害事故の防止のため，ロータリ取外し時は次のことを守ってください。
＊ PTO を中立にし, 平たんな場所で行なってください。
＊ ロータリの着脱時は必ず後 2 輪又はキャスタスタンド，スタンドを取付けてください。
＊ ロータリに寄りかかったり，乗ったりしないでください。

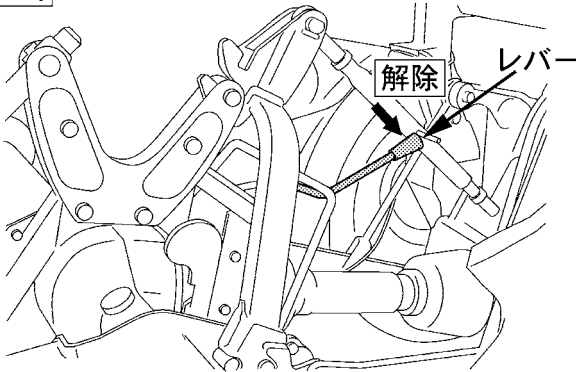
1. ロータリ着脱姿勢を確認してください。（**“トラクタへの装着”**の**“ロータリ着脱姿勢の調整”**の項を参照。）
2. ロータリカバー 2 を最下げの位置にセットしてください。（**“イージーリフタの調整”**の項を参照。）

1AHAEABAP069B

重 要

＊ ロータリカバー 2 を必ず最下げの位置にセットしてください。最下げ状態以外で装着すると，オート金具が破損します。

3. 必ずロータリを地面より上げた状態にして，レバーを解除の位置にしてください。

特殊 3P 式

1AHAEABAP059A

W3P 式

1AHAEABAP060A

4. ロータリをゆっくり下げ，ロータリとオートヒッチフレームを切離します。

補　足

＊ ロータリとオートヒッチフレームが切離しにくい場合は，トラクタのモンロを作動させ，姿勢を調整して行ってください。

ユニバーサルジョイントの取外し方

トラクタからオートヒッチフレームを取外すことなくユニバーサルジョイントが外せます。
手順は **“取付け方”** の項の

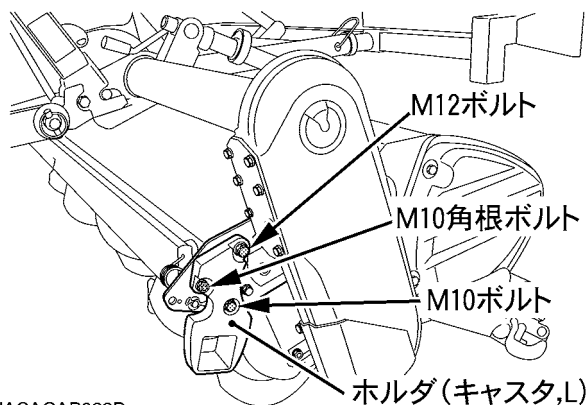
6. 安全カバー回転止め鎖を外す。
5. トラクタ PTO 軸側のユニバーサルジョイントを外す。
4. オートヒッチフレーム側のユニバーサルジョイントを外す。

の順で行なってください。

キャスタスタンドの取扱い

傷害事故防止のため，キャスタスタンドを取扱うときは，次のことを守ってください。
＊ スタンドの着脱はロータリをトラクタに装着して行なってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置いてください。
＊ エンジンを止め駐車ブレーキを掛けてください。
＊ 落下速度調整グリップを［止］方向いっぱいに回してロックしてください。
＊ ロータリを単体保存する場合は，平たんな場所に置き左右のストッパを［ロック］してください。
＊ キャスタスタンドは上下に反転させないでください。
＊ キャスタスタンドは，ほ場内では使用しないでください。泥の侵入により回動しにくくなることがあります。
＊ 泥が侵入してキャスタが回動しにくくなった場合は，よく洗浄してグリスを塗布してください。

■ホルダの取付け方

ホルダ（キャスタ，L）をロータリカバーの左側板にボルト及び角根ボルト，ナットで取付けてください。

［締付けトルク］

● M10 ボルト，ナット
48.0 ～ 55.9N・m(4.9 ～ 5.7kgf・m)
● M12 ボルト
77.4 ～ 90.2N・m(7.9 ～ 9.2kgf・m)

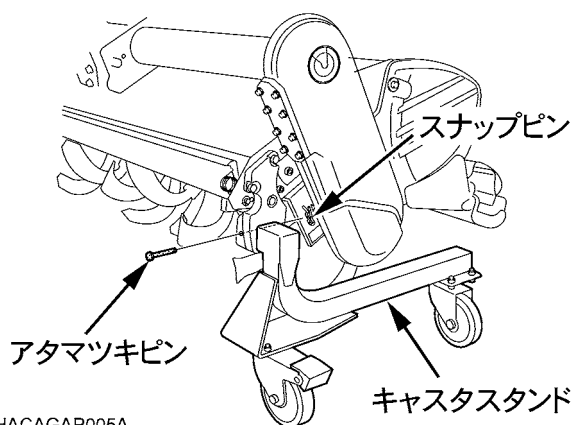
＊ ホルダ（キャスタ，R）はホルダ（キャスタ，L）と同じ要領で取付けてください。

■キャスタスタンドの取付け方

1. トラクタにロータリをセットして少し持ち上げてください。

補　足

＊ キャスタスタンドが装着できる最下位置にしてください。

2. キャスタスタンドを側方から挿入し，アタマツキピンをセットして，スナップピンで抜け止めを行なってください。

重　要

＊ 残耕処理爪（別売りアタッチメント）装着時は,爪を格納位置(上に反転)にしてください。

■キャスタスタンドの取外し方

トラクタにロータリをセットした状態でスナップピンとアタマツキピンを抜きキャスタスタンドを取外してください。

補　足

＊ キャスタスタンドが取外せる最下位置にしてください。

■キャスタスタンドの使用

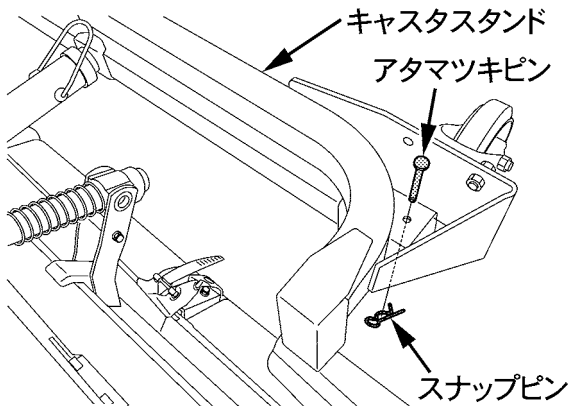
ロータリの着脱・単体での移動・保管にのみ使用してください。

補　足

＊ ロータリの着脱は，左右のキャスタストッパを解除し油圧レバーを使用してゆっくり行なってください。
＊ ロータリ単体での移動・保管は平たんで硬い地面上で行なってください。

◆ キャスタスタンドを使用しない場合

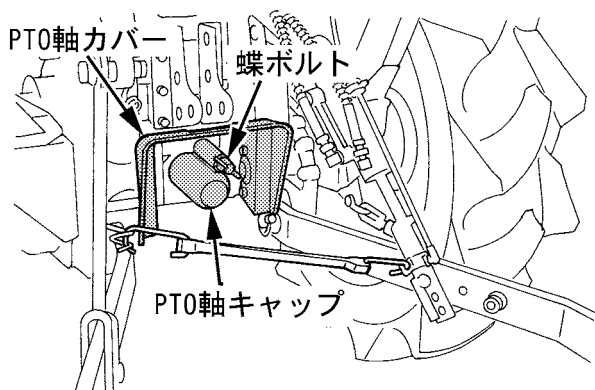
取外したキャスタスタンドは後２輪ホルダ２に取付けて格納することができます。
キャスタスタンドを後２輪ホルダ側方から挿入し，アタマツキピンをセットして，スナップピンで抜け止めを行なってください。

＊ キャスタスタンドを逆向きにセットして耕うん作業などはしないでください。

◆ ロータリを単体保管する場合

ロータリを単体保管する場合は，平たんな場所に置き，必ずキャスタストッパをロックしてください。

ロータリの保管と移動

注意

傷害事故防止のため，ロータリ単体で移動させる場合，次のことを守ってください。
＊ 後２輪ハンドルを操作し，［ロータリ格納位置］にする。
＊ スタンド仕様の場合，フロントスタンドとリヤスタンドを下げ，リヤスタンドは下げ位置でのロック状態を確認する。
＊ ４輪キャスタ仕様の場合，キャスタスタンドを取付ける。
＊ ロータリ単体での移動は，平たんで硬い地面上で行なう。
＊ オートヒッチフレームからロータリを外した状態で，PTO 軸を回転させない。
＊ PTO 軸を使わない場合は，PTO 軸キャップを取付ける。

補　足

＊ 長期間保管するときや洗車後は，錆付き防止のため必ず一度ロータリを取外し，ユニバーサルジョイント側ジョイントスプライン部とロータリ側入力軸に，グリースを塗布してください。
＊ ロータリ単体での移動は，イージーリフタを使ってロータリカバー２もしくはフラップカバーの後端を地面より少し浮かして行なうと移動しやすくなります。トラクタに装着するときはロータリカバー２を最下げにしてください。

ロータリの上手な使い方

警告

- ＊ ロータリのユニバーサルジョイントや耕うん爪に接触すると，巻込まれなどの死傷事故のおそれがあります。回転中は近づかないでください。
- ＊ 必ず座席に座って，ロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
- ＊ ロータリの上に人を乗せたり，運転者以外の人をトラクタに乗せたりしないでください。転落，巻込まれなど，重大事故の原因になります。

- ＊ ユニバーサルジョイントの安全カバーを外したままで使用しないでください。
  傷害事故を引起こすおそれがあります。

適応作業速度

作業目的と耕作地の条件に合せて，車速とPTO変速を決めてください。次表は，作業のめやすとして参照してください。

[全てのマニュアルシフト仕様トラクタ]
[KL24R(H) 安全フレーム付 U シフト仕様トラクタ]

<table>
<tr><td colspan="12">変速レバー位置と作業</td></tr>
<tr><td rowspan="3">クリープ変速</td><td rowspan="3">副変速（マニュアルシフトのみ）</td><td colspan="2" rowspan="2">主変速</td><td colspan="4">正転耕うん作業</td><td colspan="4">逆転耕うん作業（X 仕様）</td></tr>
<tr><td colspan="4">PTO 変速</td><td colspan="4">PTO 変速</td></tr>
<tr><td>マニュアルシフト</td><td>U シフト</td><td>1段</td><td>2段</td><td>3段</td><td>4段</td><td>1段</td><td>2段</td><td>3段</td><td>4段</td></tr>
<tr><td rowspan="5">低</td><td>低</td><td>4</td><td>4</td><td colspan="4">超細土耕うん</td><td colspan="4" rowspan="3">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td rowspan="4">高</td><td>1</td><td>5</td><td colspan="2" rowspan="2">強粘土（荒耕し耕うん，畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="2">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>2</td><td>6</td></tr>
<tr><td>3</td><td>7</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（荒耕し，畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（細土耕うん，畝立て）</td><td colspan="4" rowspan="3">水田・畑地・転作地
細土耕うん</td></tr>
<tr><td>4</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="4">高</td><td rowspan="4">低</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td colspan="4" rowspan="3">－－－</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td colspan="4" rowspan="2">代かき</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td></tr>
</table>

ロータリの上手な使い方

[全てのキャビン付 U シフト仕様トラクタ]
[KL27R(H) ～ 34R(H), 28R-PC, 26R-PC, 31R-PC, 34R(H)-PC 安全フレーム付 U シフト仕様トラクタ]

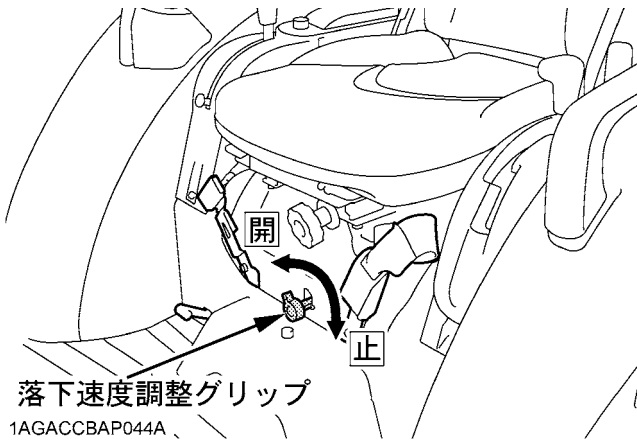
<table>
<tr><th colspan="10">変速レバー位置と作業</th></tr>
<tr><th rowspan="3">クリープ変速</th><th rowspan="3">主変速</th><th colspan="4">正転耕うん作業</th><th colspan="4">逆転耕うん作業
(XF 仕様)</th></tr>
<tr><th colspan="4">PTO 変速</th><th colspan="4">PTO 変速</th></tr>
<tr><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th></tr>
<tr><td rowspan="5">低</td><td>8</td><td colspan="4">超細土耕うん</td><td colspan="4" rowspan="3">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>9</td><td colspan="2" rowspan="2">強粘土
(荒耕し耕うん,
畝立て)</td><td colspan="2" rowspan="2">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>10</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="2" rowspan="6">水田・畑作
(荒耕し，畝立て)</td><td colspan="2" rowspan="6">水田・畑作
(細土耕うん,
畝立て)</td><td colspan="4" rowspan="4">水田・畑地・転作地
細土耕うん</td></tr>
<tr><td>12</td></tr>
<tr><td rowspan="8">高</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="4" rowspan="6">―――</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="4" rowspan="4">代かき</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
</table>

[トラクタがデュアルシフト仕様の場合]

<table>
<tr><th colspan="10">変速レバー位置と作業</th></tr>
<tr><th rowspan="3">副変速</th><th rowspan="3">車速</th><th colspan="4">正転耕うん作業</th><th colspan="4">逆転耕うん作業
(XF 仕様)</th></tr>
<tr><th colspan="4">PTO 変速</th><th colspan="4">PTO 変速</th></tr>
<tr><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th></tr>
<tr><td rowspan="5">低</td><td>0.5</td><td colspan="4">超細土耕うん</td><td colspan="4" rowspan="2">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>0.6 ～ 0.9</td><td colspan="2">強粘土
(荒耕し耕うん,
畝立て)</td><td colspan="2">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>1.0 ～ 1.9</td><td colspan="2" rowspan="2">水田・畑作
(荒耕し，畝立て)</td><td colspan="2" rowspan="2">水田・畑作
(細土耕うん,
畝立て)</td><td colspan="4">水田・畑地・転作地・
細土耕うん</td></tr>
<tr><td>2.0 ～ 2.9</td><td colspan="4" rowspan="2">―――</td></tr>
<tr><td>3.0 ～ 4.0</td><td colspan="4">代かき</td></tr>
</table>

■ロータリ落下速度の調整

トラクタ側の落下速度調整グリップを回すことによりロータリ落下速度が調整できます。

1AGACCBAP044A

[開] 方向に回す：
　油圧回路が開き，作業機の落下速度が速くなります。
[止] 方向に回す：
　油圧回路が閉じ，作業機の落下速度が遅くなります。
　（**[止]** 方向に一杯まで回すと，油圧がロック（停止）します）

ロータリの落下速度は，上昇位置から接地するまで１～２秒が適当です。
特にオート耕うん時，落下速度が速すぎると滑らかな耕うんができない場合があります。

重　要

＊ グリップは軽く回すだけで油圧がロックされますから無理に回さないでください。（回転角 90°）

なた爪の取付け方

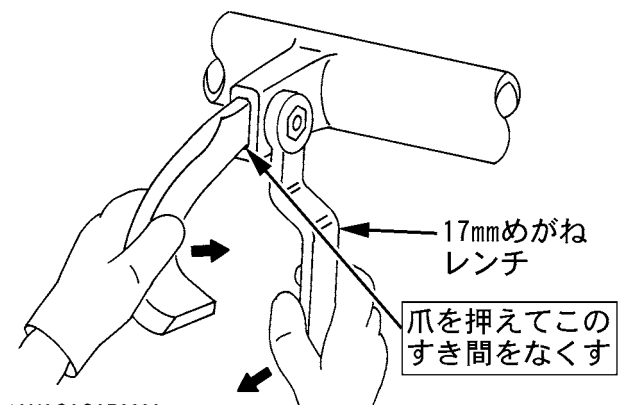
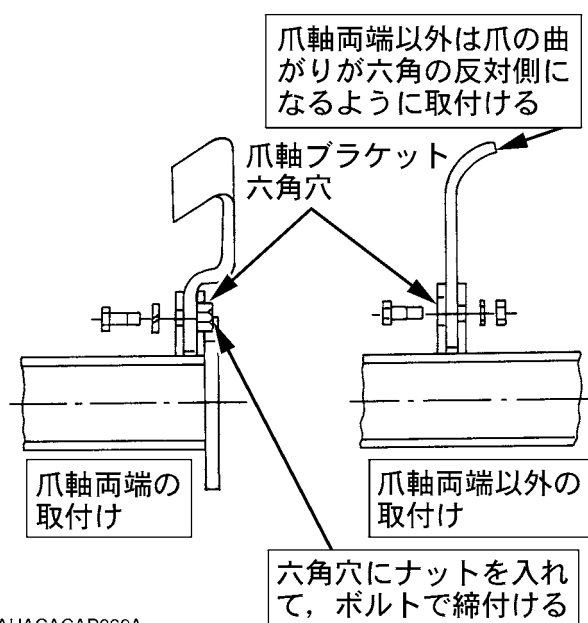
注　意

傷害事故の防止のため，爪の交換及び増締めをする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを［止］方向いっぱいに回してロックする。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。
＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認する。

なた爪の着脱はイージーリフタを利用して，ロータリカバー２を持上げロックすると便利です。
（**［イージーリフタの調整］** の項を参照）

重　要

＊ なた爪，およびボルト，ナットは，クボタ純正部品を使用してください。ロングカット爪，普通爪はマッドレスゴムを損傷するので絶対に装着しないでください。

■一般タイプ

1AHACACAP068A

補　足

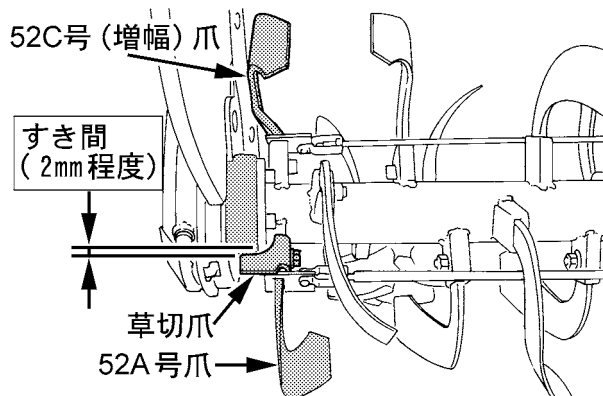
＊ 爪軸両端に取付ける増幅爪（左右各１本）は，大きい爪ブラケットに取付けてください。

＊ めがねレンチで力いっぱい締付けてください。
［締付けトルク
78.4 ～ 88.2 N・m（8.0 ～ 9.0 kgf・m）］

＊ 爪を抜いて作業すると爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので，ご注意ください。

＊ ナットを締付けるときは，トラクタ側の PTO 変速レバーを入れることにより，爪軸をロックすることができ，力を入れてナットを締付けることができます。（あんしん PTO 仕様は除く）

■草切爪

両端の 52A 号爪には，付属の草切爪（R，L）をそれぞれ**黒色の爪取付けボルト（首下 34㎜）**で共締めしてください。爪軸正転方向に対し，爪ブラケットの前に草切爪がくるようにチェーンケース側，サイドフレーム側に各１個取付けてください。

■つきま線（草巻き付き防止ワイヤ）（A 仕様以外）

重　要

＊ 石の多いほ場では，つきま線の使用を控えてください。

＊ ワイヤが損傷した場合は，すみやかにワイヤを新品に交換してください。但し，被覆している樹脂が摩耗もしくは切損しても使用は可能です。

＊ なた爪，およびボルト，ナットは，クボタ純正部品を使用してください。

＊ カマなどでワイヤを傷つけないでください。

◆ つきま線の取付け方

1. 爪軸両端の爪（合計４本）を外してください。
2. 以下の図を参照して，ワイヤ両端のステーの四角穴にそれぞれの爪を差込んでください。
　２本のワイヤは，それぞれ爪を差込むステーが異なります。四角穴が小さい方に 52A 号爪を，大きい方に 52C 号（増幅）爪を差込んでください。
　またワイヤには左右の方向があり，以下の図のようにネジ側をサイドフレーム側に取付けてください。（RL150FR，RL160FR はネジ側をチェーンケース側に取付けてください）

RL140R

・２本のワイヤ共図のように取付ける（増幅爪（52C号爪）も同様）

1AHACACAP071F

RL150R

・52A号爪側

1AHACACAP072J

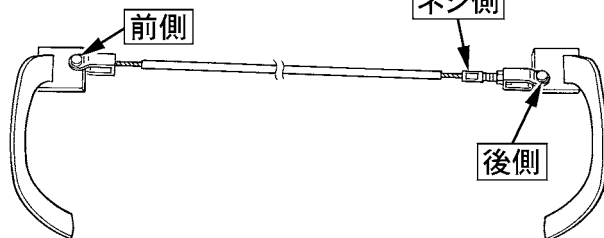
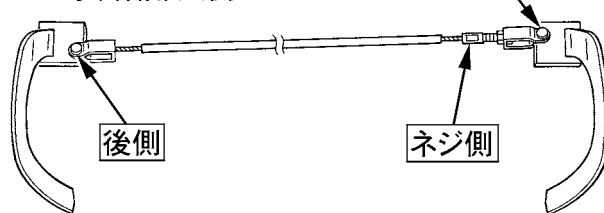
RL160R，RL170R

1AHACACAP137K

RL150FR，RL160FR

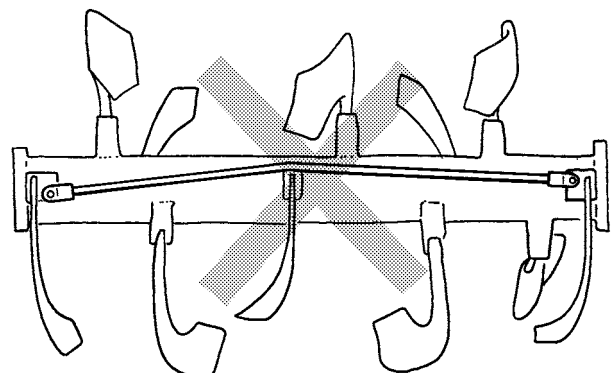
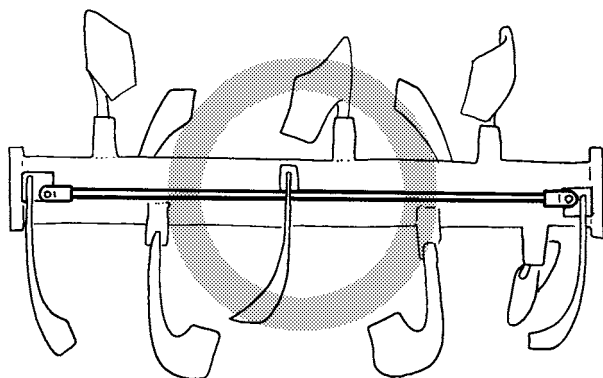
・２本のワイヤ共図のように取付ける（増幅爪（52C号爪）も同様）

1AHACACAP073D

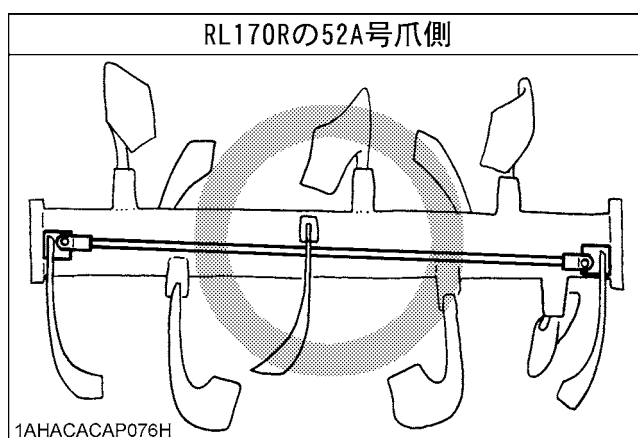
重　要

＊ ステーの取付け方向を間違うと，ワイヤが取付かなかったり，ワイヤを損傷することがあります。

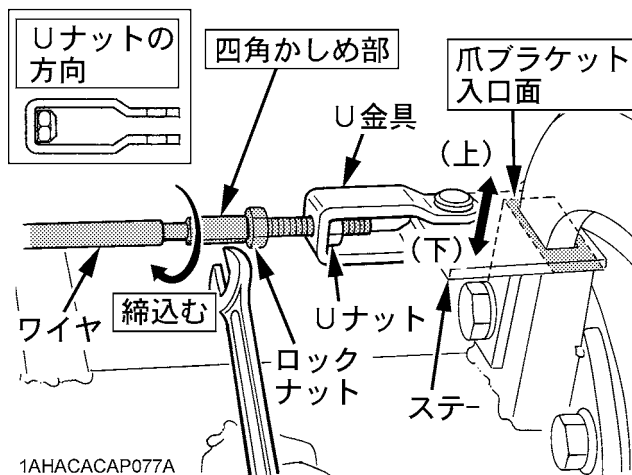
3. ステーを差し込んだ爪を，チェーンケース側の爪ブラケットに取付け，ワイヤが一直線になるようにして，もう一方の爪をサイドフレーム側の爪ブラケットに取付けます。
52A号爪には草切爪を取付けてください。（**“なた爪の取付け方”**の**“草切爪”**の項を参照）

重　要

＊ ワイヤが爪やブラケットに強く干渉していないか確認してください。正しい位置に取付けられている場合，ワイヤは爪軸両端部に取付けたステーの丸穴を結びほぼ直線になります。もし，下図のように爪やブラケットに強く干渉したまま取付けますと，早期にワイヤを損傷するおそれがあります。

1AHACACAP074A

1AHACACAP075A

＊ RL170R の 52A 号爪に取付けるワイヤを除き，ワイヤは爪軸にほぼ平行になります。

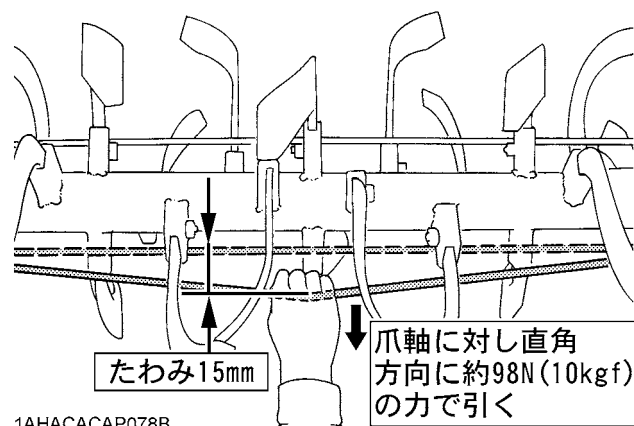
RL170Rの52A号爪側

1AHACACAP076H

4. ４つのステーをつぎの位置にし，ワイヤを張ります。
52A 号爪側→爪先端方向いっぱいにずらせた位置（矢印**上**方向）
52C 号爪側→爪ブラケット入口面に接触する位置（矢印**下**方向）
ロックナットを四角かしめ部付近までゆるめ，ワイヤのネジの四角かしめ部をスパナで締込み，ロックナットで固定します。
ロックナットはスパナで締込んでください。

1AHACACAP077A

＊ RL150FR，RL160FR はワイヤのネジ側がチェーンケース側になります。

重 要

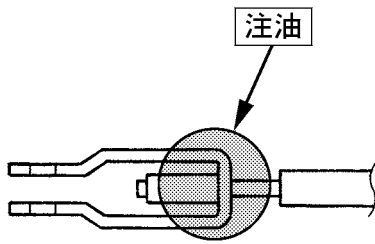
＊ ワイヤの調整はロックナットをゆるめてから，必ずスパナで行なってください。ロックした状態の増し締めや他の工具を使用しますと，破損するおそれがあります。
＊ ワイヤの調整は必ず5. の手順でたわみ量を確認しながら行なってください。
＊ ロックナットの締付トルクが 14.7 N・m（1.5 kgf・m（参考値））をこえないようにしてください。

5. 爪軸の中央付近で，ワイヤを爪軸に対して直角方向に約 98 N（10 kgf）の力で引いたとき，ワイヤが元の位置から 1.5 cm たわむ程度に調整してください。

1AHACACAP078B

注 意

傷害事故防止のため，ワイヤの調整時は次のことを守ってください。
＊ ワイヤを引くときはゆっくり引き，ワイヤに体重をかけて引かないでください。

重 要

＊ 耕うん前にワイヤがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は，4，5 の手順でワイヤを調整してください。ゆるんだまま使用すると，つきま線の効果が少なくなり，ワイヤを損傷するおそれがあります。ワイヤを調整するときは，ネジ部に付着した土などを洗い流し，ネジ部に注油してから行なってください。
＊ ロータリ使用後，特に長時間使用しないときは図示箇所を洗浄後，注油してください。

1AHACACAP079A

補　足

＊ ワイヤを調整するとき，ある程度ワイヤが張ってくると，スパナで締めてもワイヤのネジがゆるむ（戻る）ことがあります。そのときは，ロックナットでロックしながら調整してください。

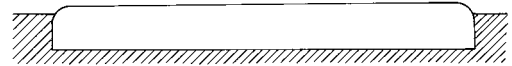
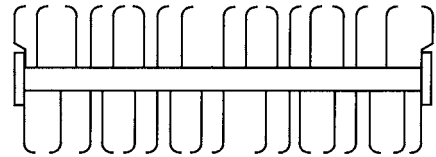
◆ **つきま線の取外し方**

取付け方の逆の手順で行なってください。
ゆるめる方向には特に注意をしてください。

1.　均平耕法（耕起・細土・代かき・整地作業）

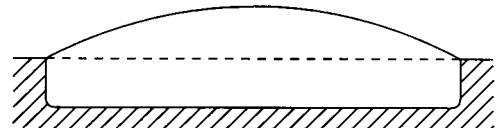
爪ブラケット六角穴の反対側に爪の曲がりがくるよう，参考例に従って取付けてください。

[参考]

◆ **RL150R**

1AHACACAP080A

2.　１つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土作業）

［RL140AR/ RL150FR/RL160FR RL150XFR/RL160FR 除く］

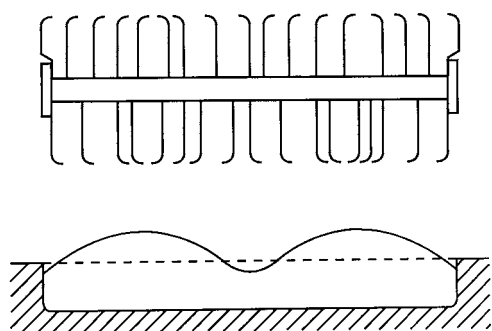
爪軸中央とその両端の爪の向きは均平耕法のままとし，他の爪はすべて内向きになるよう取付けてください。
このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌に当らないようにします。

1AHACACAP081A

3.　２つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土及び１連畝立て作業）

［RL140AR/
RL150FR/RL160FR
RL150XFR/RL160FR 除く］

爪軸中央と両端の間でそれぞれ爪が内向きになるよう，参考例に従って取付けてください。
但し，爪軸中央とその両端の爪の向きは，均平耕法のままとしてください。
このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌に当らないようにします。

［参考］

◆ **RL150R**

1AHACACAP082A

■オート耕うんのしかた

1. 畝くずし，凹凸のある枕地などを耕うんする場合は，スプリングロックを利用し，ロータリカバー２の押付力を強くしてください。(**“スプリングロックの調整”**の項を参照)
2. 耕うん後の凹凸が目立ち，再度耕うんするときは，車速を一段下げて，耕深を少し深めにしてください。
3. 後２輪ハンドルを回して，後２輪ホルダが，ロータリカバー２に接触しないようにしてください。

■荒起こし耕うんのしかた

秋起こし等で通常より荒く耕うんしたい場合は，次のようにしてください。

1. オートスイッチを切り，後２輪又は油圧レバーで耕深を調整してください。
2. ロータリカバー２を上げて(**“イージーリフタの調整”**の項を参照)，車速を一段上げ，エンジン回転数を 2000rpm 程度に落として作業してください。

正逆転ロータリの上手な使い方（XF 仕様）

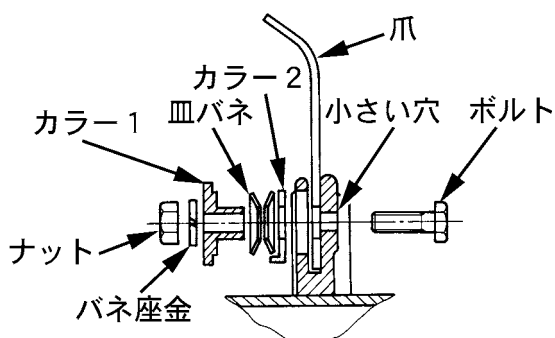
正逆爪の取付け方

傷害事故の防止のため，爪の交換及び増締めをする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下調整レバーを“停止”方向にいっぱい回してロックする。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。
＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認する。

1. 均平耕法

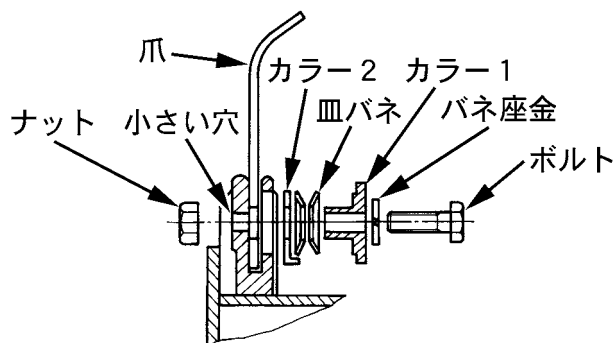
◆ 左右両端以外の爪

1. 爪の取付け方向は，ブラケットの大きな穴側に爪の曲がりがくるようにします。
   爪には R，L がありますので，ロータリ後方から見て，R は爪の曲がりが右側に，L は左側になるよう取付けます。
2. 下図のような順序で各部品を組入れ，ナットで締付けてください。
   (爪を少し動かすと容易です)
3. 皿バネは，必ず下図のように組合せてください。

XF仕様

1AHACACAP084B

◆ 左右両端の爪

1. 左右両端の爪は，ボルト側にバネ座金を入れてください。
2. 変形爪［594 号（F 仕様 595 号）正逆爪 R・L 各１本］は，ブラケットに“**H**”と打刻してある箇所（白ペンキ塗布）に，取付けてください。

XF仕様

1AHACACAP086B

2. １つ盛耕法

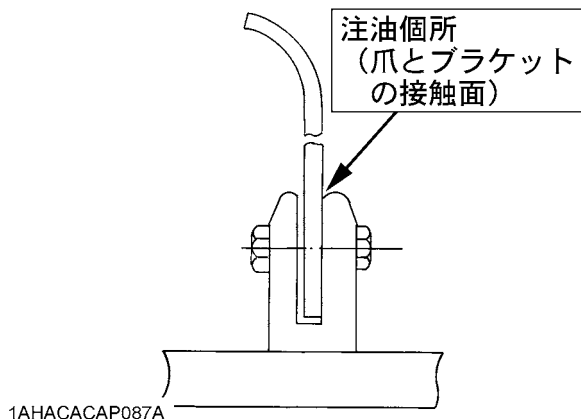
爪軸中央を基準として爪はすべて内向きになるよう，取付けてください。

3. ２つ盛耕法

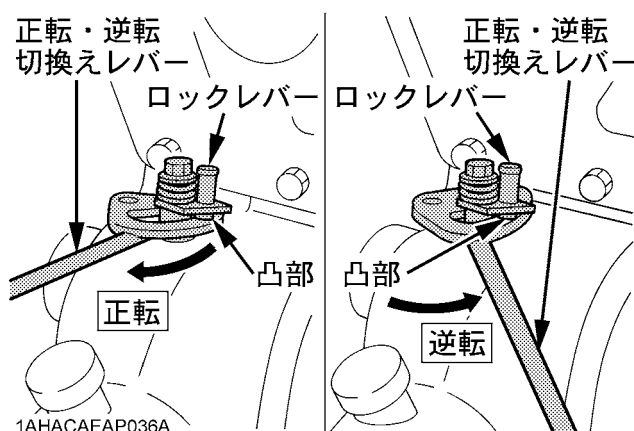
爪軸中央と両端の間でそれぞれ爪が内向きになるよう，取付けてください。

補　足

＊ 爪を抜いて作業すると爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので，ご注意ください。
＊ 耕うん爪は，クボタ純正部品を使用してください。
＊ めがねレンチで，力いっぱい締付けてください。
　［締付けトルク
　　137.2 ～ 156.8 N・m（14 ～ 16 kgf・m）］
＊ ナットを締付けるときは，トラクタ側の PTO 変速レバーを入れることにより，爪軸をロックすることができ，力を入れてナットを締付けることができます。
＊ 皿バネがすりへると，耕うん中に爪とブラケットの接触音（カタカタ音）が，発生する可能性があります。
　この場合は，ボルトの増締めを行なってもこの音は消えませんので，すみやかに皿バネを新品に交換してください。

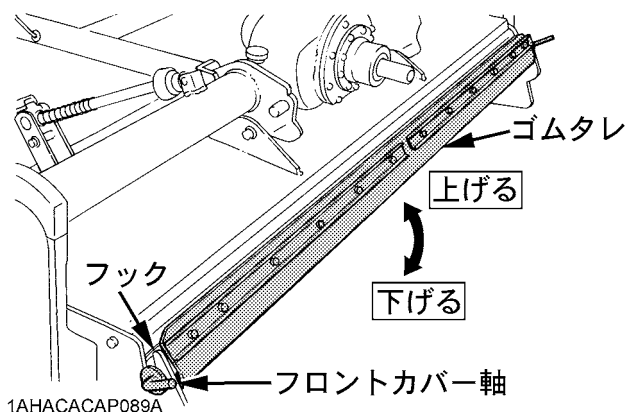
＊ 正逆転ロータリを長期にわたり使用しないときは，保管前に爪軸関係をよく洗浄し，土を完全に取除いた後，爪とブラケットの接触面に軽油を十分に注油してください。
なお，軽油以外に別売りのウスタノールを使用すれば，防錆，除錆，潤滑に効果があります。
（ウスタノール・品番 99022-51001）

正転・逆転耕うんのしかた

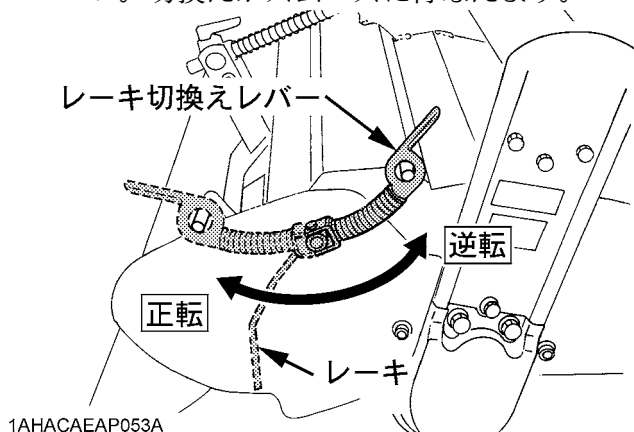
■運転席での正・逆転耕うんの切換え

1. ロックレバーを持上げ，ロックを外します。
2. ロータリをいっぱい持上げます。
3. PTO 変速を 1 段に入れます。
4. エンジン回転を，アイドリング状態にします。
5. 爪軸を低速で回転させた後，クラッチを踏込んで爪軸を惰性で回転させ，停止する前に正・逆転切換えレバーを操作して，確実に切換えてください。
6. ロックレバーの裏側の凸部を正・逆転切換えレバーの長穴にはめ込んでロックしてください。

■爪の方向転換

1. 固いほ場で耕うんして爪の向きを変えます。
PTO ４段でエンジン回転を上げ，トラクタを前進させながらロータリをゆっくり下げると，土の抵抗で爪の向きがかわります。
2. その後，目的に合せた PTO 段数にし，耕うんを始めてください。

■前ゴムタレの上げ下げ調整

1. 逆転耕うんの場合は，ロータリ前部装着のゴムタレを下げてください。
2. 正転耕うんの場合は，ゴムタレを上げ，フロントカバー左右の軸をフックにかけてください。
3. 逆転耕うんのとき，粘土質ほ場など消費馬力が増大する場合は，ゴムタレを上げた状態にして使用してください。
4. 逆転耕うんのときでも，プラウ跡や畝くずしなどで深く耕起する場合で，ゴムタレに土が乗るようなときには，上げて使用してください。

■レーキの調整

1. 正転耕うんの場合は，レーキ切換えレバー（右，左）を正転方向に切換えてください。
2. 逆転耕うんの場合は，レーキ切換えレバー（右，左）を逆転方向に切換えてください。
   - カバーとレーキの間に泥が付着している場合は，すみやかに泥を除去してください。切換えがスムーズに行なえます。

◆ 正転作業時

3. 前ゴムタレを，上げ位置に取付けてください。
4. 代かきは正転で行なってください。
5. 浅耕しは正転で行なってください。

◆ 逆転作業時

6. レーキに土詰まりが発生した場合は，すみやかに取除いてください。十分な細土性能を得ることができません。
7. 前ゴムタレを降ろしてください。
   但し，深耕し（約 15cm 以上）のときは，上げ位置に取付けてください。
   - 粘土質ほ場など（消費馬力が増大する場合）は，前ゴムタレを上げた位置で使用してください。

■オート耕うん時の調整のしかた

1. 畝くずし，凹凸のある枕地などを耕うんする場合は，スプリングロックを利用し，ロータリカバー２の押付力を強くしてください。（**“スプリングロックの調整”**の項を参照）
2. 耕うん後の凹凸が目立ち，再度耕うんするときは，車速を一段下げて，耕深を少し深めにしてください。
   なお，逆転耕うんの場合であれば，車速や爪回転数を変えると効果があります。
3. 後２輪ハンドルを回して，後２輪ホルダがロータリカバー２に接触しないようにしてください。

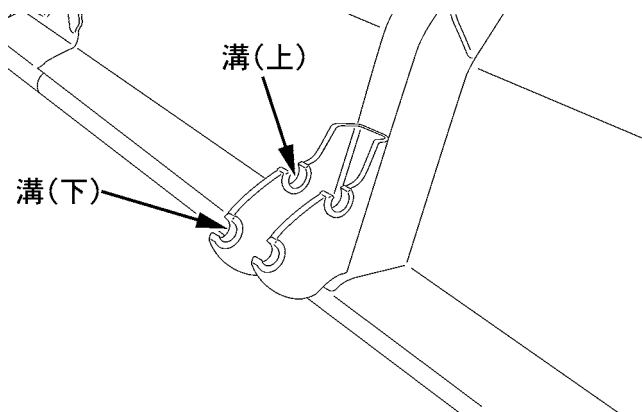
重　要

＊ 正逆切換えは，必ず固いほ場で行なってください。代かきほ場や軟弱な所では，爪の向きが変わりません。
　爪の向きが変っていないものがあれば，均平性が悪くなります。また，耕うん振動の原因にもなりますので，爪取付けボルトをゆるめ確実に向きを変えてください。
＊ 爪軸に草が巻付いたときは，逆方向に爪軸を回転させれば取れやすくなります。このとき，レーキ位置が逆転側のままで，爪軸を正転側に回転させないでください。レーキに草が巻付き，レーキの損傷につながります。爪軸を正転側に回転するときは，必ずレーキを正転側に切換えてください。
＊ 石の多いほ場での逆転耕うんは避けてください。石をかみ込み，カバーなどを損傷するおそれがあります。
＊ 正転から逆転に切換えて使用すると，耕深が２～３ cm 深くなります。
　耕深を調整して適正耕深にしてください。
＊ 耕うんピッチと砕土率はあまり関係ありません。PTO 変速１～３段の間で，十分に細土作業を行なうことができます。
　むやみにピッチを小さくすると，消費馬力が増大します。
＊ 逆転耕うんは，正転耕うんに比べると消費馬力が，約１～２割多くなります。
　逆転耕うんの場合は，車速を１～２段下げてください。

ロータリカバーの調整

■フラップカバーの使用法（ＸＦ・Ａ 仕様以外）

注 意

＊ ロータリの着脱時は，フラップカバーを装着して行なってください。

1AHACAGAP009B

補 足

＊ 一般耕うん作業，荒耕し，浅耕し，又は代かき作業時にフラップカバーを外してオート作業をすると，性能が充分発揮出来ないことがあります。

＊ あぜぎわなどほ場が平たんではないところでポンパを使用すると，ロータリなどの作業機に衝撃がかかり損傷するおそれがあります。このような場合は油圧レバーでゆっくりと作業機を下降させてください。

フラップカバーは，２段階の調整と着脱が可能です。作業に合わせて使い分けてください。
特にオート作業時，進行方向に凹凸ができる場合は，溝（上）で使用してください。

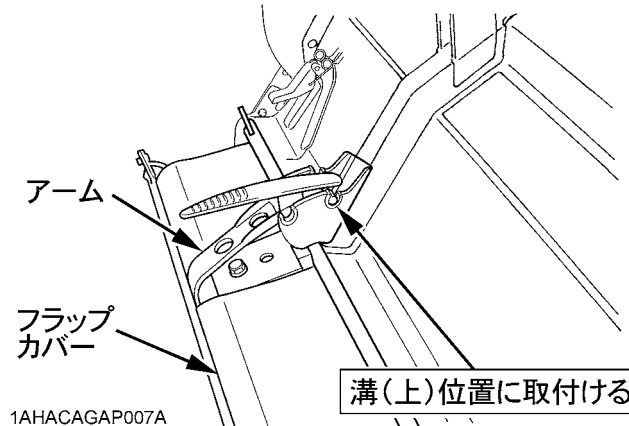
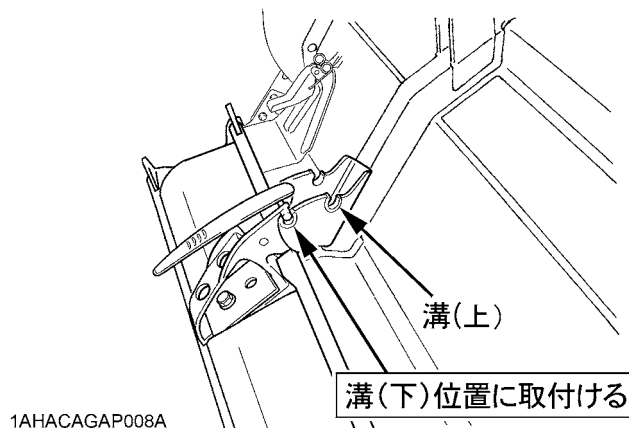
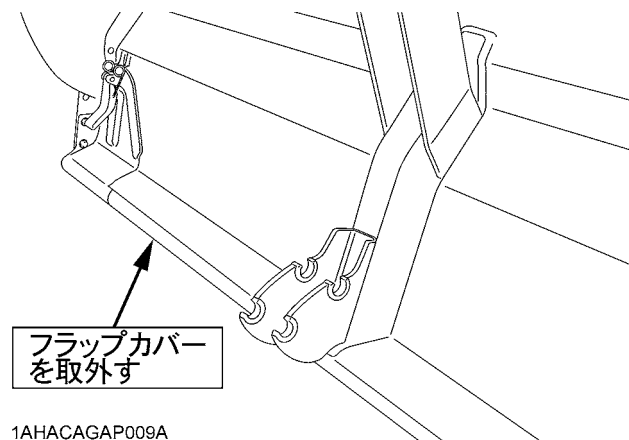
◆ 一般耕うん，荒耕し作業

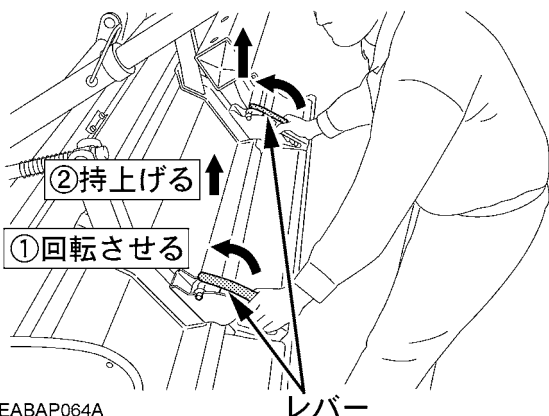
1AHACAGAP007A

◆ 浅耕し，代かき作業

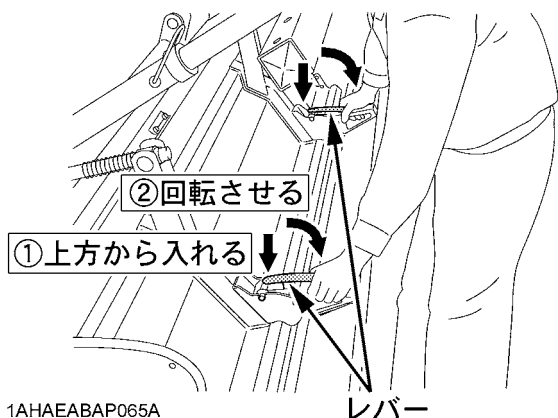
1AHACAGAP008A

◆ 深耕し作業

1AHACAGAP009A

■フラップカバーの取外し方（ＸＦ・Ａ 仕様以外）

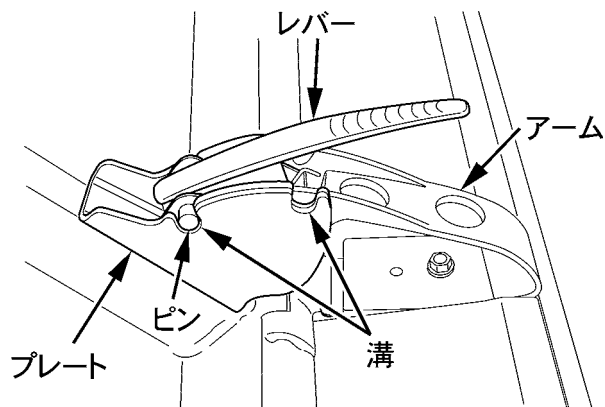
1. 手元開閉式延長カバー（別売アタッチメント）を装着している場合，フラップカバー着脱前の準備をしてください。（**［フラップカバー着脱前の準備］**の項を参照）
2. フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，ロータリカバー２から取外します。

1AHAEABAP064A

■フラップカバーの取付け方（ＸＦ・Ａ 仕様以外）

1. フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，アーム部のピンをロータリカバー２のプレートの溝へ上方から入れてください。
2. アーム部とレバーを握ったまま矢印の方向へあたるまで回転させてください。

1AHAEABAP065A

3. 手元開閉式延長カバー（別売アタッチメント）を装着している場合，ワイヤの取付けをしてください。（**［フラップカバーの着脱前の準備］**の項を参照）

重　要

＊ レバーを離し軽く持ち上げ，**［ 正しい装着状態 ］**でロックされていることを確認してください。

［正しい装着状態］

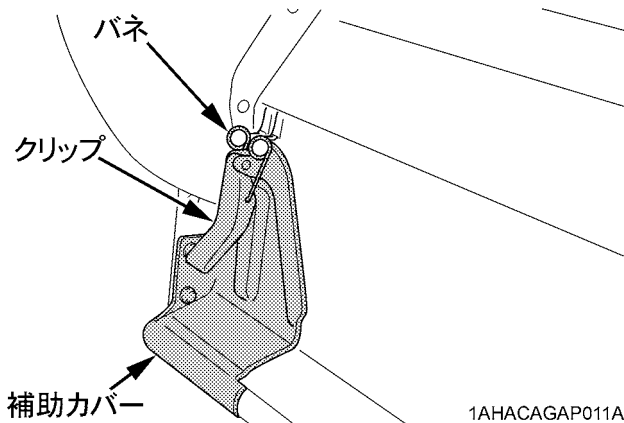
1AHACAGAP010A

［誤った装着状態］

ピンがプレートの２つの溝のいずれにもはまっていないと，フラップカバーが落下することがあります。ピンが確実に溝にはまっているように正しく装着してください。

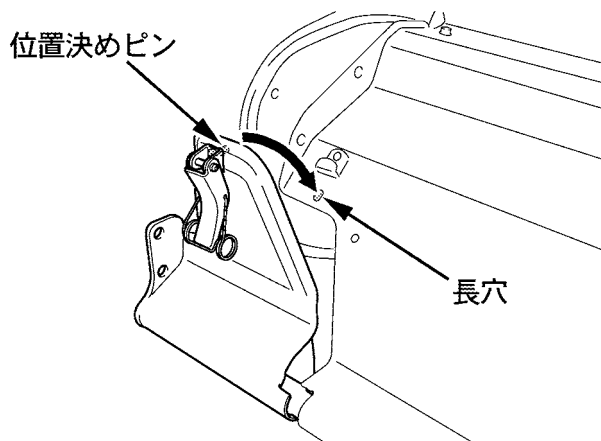
■補助カバーの取外し方（A 仕様以外）

後２輪併用で枕地を少なくする，又は片培土作業をするため補助カバーを取外す場合は，クリップを引上げ，補助カバーを取付けているバネをロータリカバー２のかけ金具から取外してください。

1AHACAGAP011A

補　足

＊ 補助カバーの着脱がしにくい場合は，イージーリフタを利用しロータリカバー２をロッドの下から２段目の穴位置にロックして行なってください。

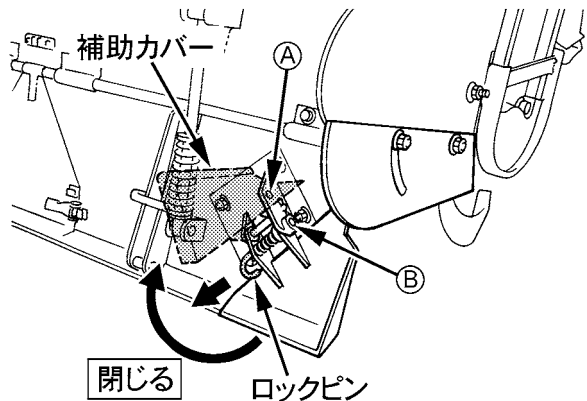
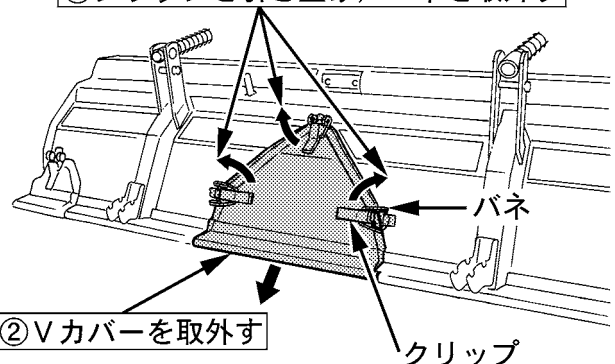
＊ 補助カバーを取付ける場合は，補助カバーの位置決めピンをロータリカバー２の長穴に差込んでからバネをロータリカバー２のかけ金具に取付け，クリップをロックしてください。

1AHACACAP099A

■補助カバーの開閉要領（A 仕様）

補助カバーの折りたたみは，まずロックピンを矢印の方向に引き補助カバーを内側に回転させます。次に（A）穴位置にロックピンを挿入して確実にロックします。開く場合は（B）穴位置にロックピンを挿入します。

1AHACACAP143A

■ V カバーの取外し方（A 仕様以外）

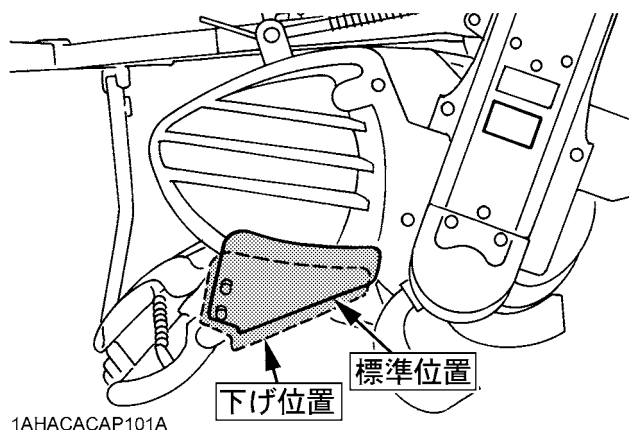
1AHACAEAP025B

補　足

＊ 手元開閉式延長カバー（別売アタッチメント）を装着している場合は，V カバーを取外す前にワイヤを外してください。

● 取付けは逆の順序で行なってください。
クリップは確実にロックしてください。

■防土カバーの上手な使い方（ＸＦ・Ａ 仕様以外）

防土カバーは，２段階の調整と着脱が可能です。作業に合わせて使い分けてください。
特に浅耕し作業や，代かき作業を行なう場合は，防土カバーを**下げ位置**にすると効果的です。
また，不要の場合は取外して使用してください。

1AHACACAP101A

重 要

＊ 防土カバーが変形してサイドカバーに接触していないか確認してください。接触しますとロータリカバー２の動作が悪くなりますので，防土カバーを新品に交換するか取外してください。

■サイドカバーの上手な使い方

＊ サイドカバーを外した状態でロータリを使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

［Ａ 仕様以外］

1. 土地条件によっては，サイドカバー内面に土が付着し外側に開くことがあります。その場合は，すみやかに土を除去してください。
2. サイドカバーに付着している土を取除く場合，鋭利な物（ナイフ，ドライバなど）の使用はさけてください。

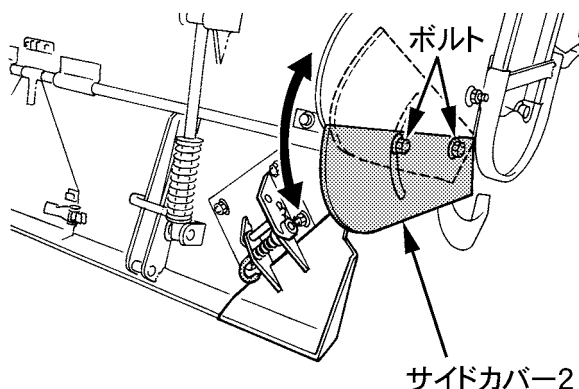
［Ａ 仕様］

サイドカバーは，２枚分割式となっており，作業に合わせて調節・着脱が可能です。

〔調節のしかた〕
ボルトをゆるめ適切な位置にサイドカバー２を合わせ，ボルトを締付けてください。

重 要

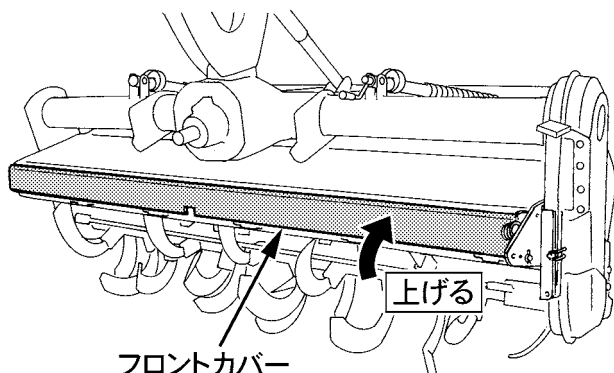
＊ 取付けは，ゆるめたボルトが作業中にゆるまないように，確実に締付けてください。
［締付けトルク
39.2 ～ 45.1 N・m（4.0 ～ 4.6 kgf・m)］

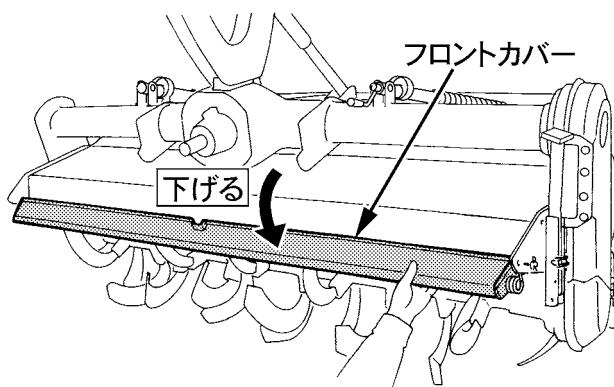
1AHACACAP144A

■フロントカバーの使用法（ＸＦ 仕様以外）

（ＸＦ 仕様は**“正逆転ロータリの上手な使い方”**の**“前ゴムタレの上げ下げ調整”**の項を参照）

＊ フロントカバーの［上げ下げ］操作時，指や手を挟まれないように注意してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

フロントカバーは**［上げ下げ］**の調整が可能です。作業に合わせて使い分けてください。調整時はフロントカバーのチェーンケース側前端をつかみ行なってください。

1. **通常の耕うん作業**は，**［上げ］**位置にして使用してください。

1AHACAEAP041A

2. **代かき作業**は，**［下げ］**位置にして使用してください。
但し**［下げ］**位置にしたフロントカバーに直接土や障害物が接触する場合は，**［上げ］**位置にしてください。

1AHACAEAP042A

重　要

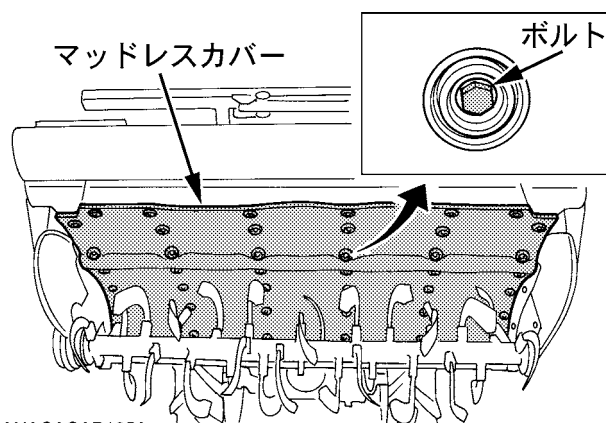
＊ **“下げ”**位置にしたフロントカバーに直接土や障害物が接触したまま使用しますと，フロントカバーを破損することがありますので，フロントカバーを**“上げ”**位置にしてください。
＊ **“上げ下げ”**操作を行なう際，フロントカバーに土などが付着したまま操作しますと，フロントカバーを破損することがありますので，土などを取除いてから行なってください。

■マッドレスカバーの上手な使い方（ＸＦ仕様以外）

注　意

傷害事故の防止のため，ゴムカバーの装着確認をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下調整レバーを［止］方向いっぱいに回してロックする。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

重　要

＊ 作業前には，マッドレスカバーがしっかりと装着されているか，ボルト類のゆるみがないか確認し，ゆるみがある場合は確実に締付けてください。締付ける場合はボルトのまわりの土をよく落としてから行なってください。
［締付けトルク
25.5 ～ 29.4 N・m（2.6 ～ 3kgf・m）］
＊ マッドレスカバーに付着している土を取り除く場合，ナイフ等の鋭利な物の使用はさけてください。
＊ マッドレスカバーに大きな破れやキズが発生した場合は，すみやかに補修してから使用してください。（**［ロータリの簡単な手入れと処置］**の**［マッドレスロータリ，ゴムカバー用補修剤の使用法］**の項参照）
＊ ロータリを地面に降ろしたままバックしないでください。耕うん爪でゴムカバーを損傷させるおそれがあります。

1AHACACAP105A

補　足

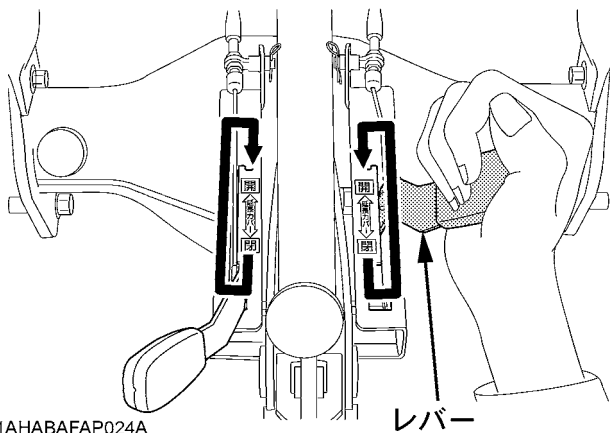
＊ 角張った石の多いほ場では，マッドレスロータリの使用を控えてください。
＊ 普通爪，ロングカット爪は使用しないでください。
＊ ゴムカバー内部に泥が滞留しゴムカバーと耕うん爪が接触する場合は，ゴムカバー内部の泥を取除いてください。

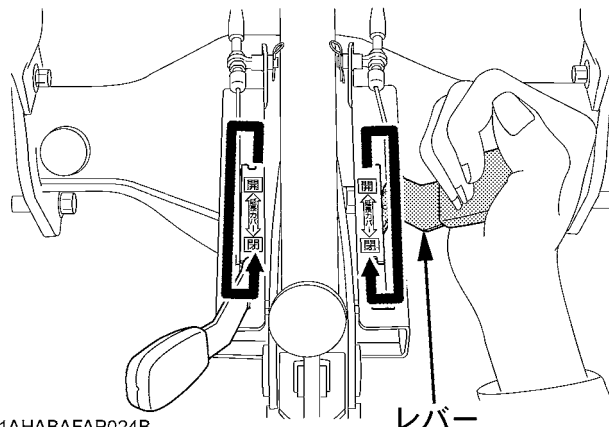
手元開閉式延長カバーの使用方法（別売アタッチメント）

■延長カバーの使用法

注　意

＊ 延長カバー開閉時，周囲の安全を確認してからゆっくりと操作し，指や手を挟まれないようにしてください。傷害事故を引起すおそれがあります。
＊ ロック部の溝にレバーが確実に入っていないと，道路走行時の振動で延長カバーが開くおそれがあるので，確実にレバーが溝に入っていることを確認してください。傷害事故を引起すおそれがあります。

トラクタの座席から延長カバーの開閉操作を，左右個別に行なうことができます。
1. ロータリを最上げ位置にしてください。
2. 延長カバーを開く時は，レバーを **［閉］** 側ロック部から外してからゆっくりと後方へ倒し，**［開］** 側ロック部へ確実に入れてください。

1AHABAFAP024A

3. 延長カバーを閉じる時は，レバーを **［開］** 側ロック部から外してからゆっくり手前へ引き，**［閉］** 側ロック部へ確実に入れてください。

1AHABAFAP024B

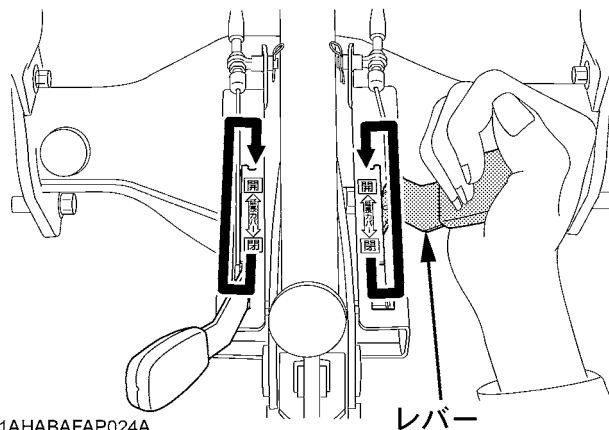
重　要

＊ 道路走行時は必ず延長カバーを閉じてください。（ただし公道は走行できません）

■フラップカバー着脱前の準備

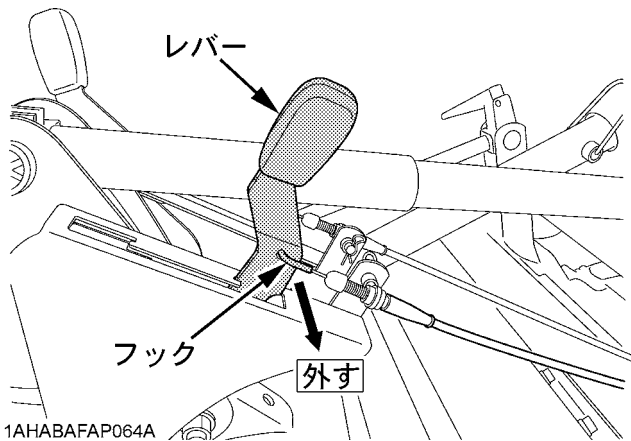
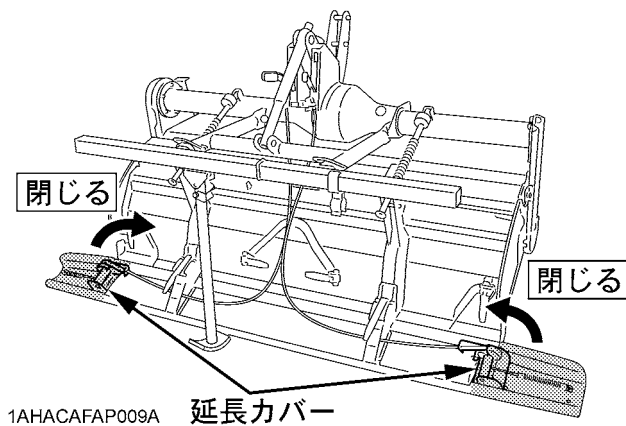
注　意

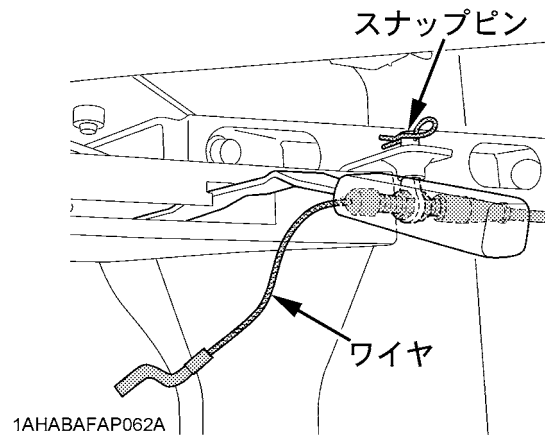
＊ フラップカバー着脱時は，延長カバーの操作レバーを必ず［開］側でロックしてください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

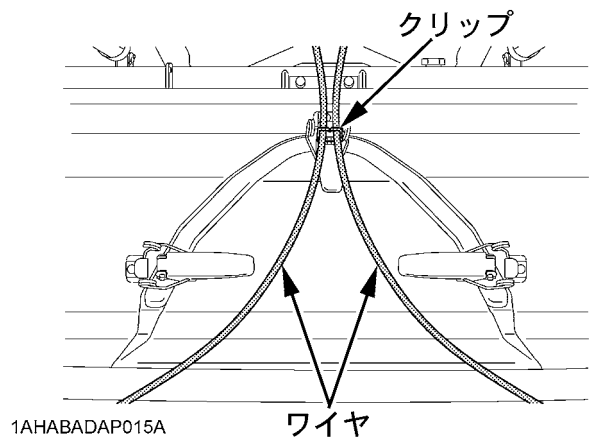
フラップカバーを取外す前に必ずワイヤを取外してください。
1. レバーを **［開］** 側で確実にロックし，延長カバーを開いてください。

1AHABAFAP024A

2. 延長カバーを手で閉じ，ワイヤをゆるめ保持した状態で，ワイヤ先端のフックをレバー穴から外してください。

1AHACAFAP009A

1AHABAFAP064A

3. スナップピンを外し，ワイヤを外してください。

1AHABAFAP062A

4. V カバー中央部のクリップからワイヤを外してください。(V 仕様のみ)

1AHABADAP015A

◆ 取付け方

フラップカバー取付け後，**［取外し方］**と逆の手順でワイヤを取付けてください。

重　要

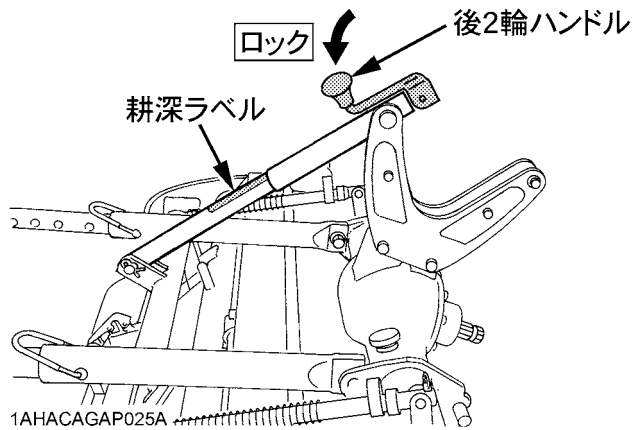
＊ 誤った取付けをされますと，ケーブルの損傷，作動不良を起こすことがあります。取付けは確実に行なってください。

耕深の調整［後２輪仕様］

標準（スタンド仕様）タイプまたはＣタイプ（４輪キャスタ仕様）を購入された方は，オプションにて追加購入することができます。

品名	品番
後２輪アッシ	7C115-5700-0

＊ トラクタを前進させながらの耕深調整はしないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪ハンドルを回すことにより，耕深を自由に選ぶことができます。また耕うん深さ調整の目安として，耕深ラベルの目盛りをご使用ください。

重　要

＊ 後２輪ハンドル操作後は，図の位置にセットしてください。

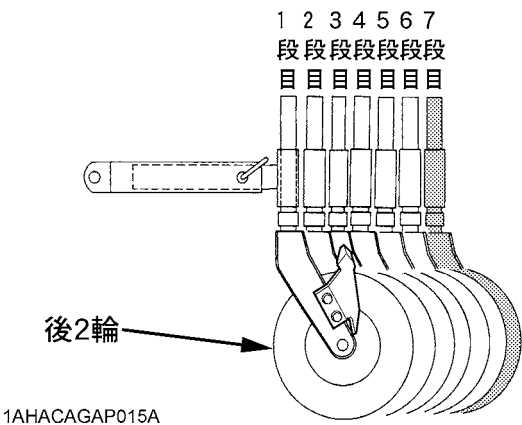
後２輪の調整［後２輪仕様］

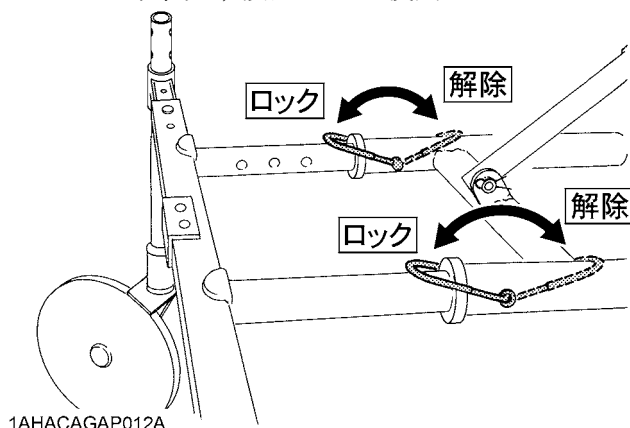
＊ 後２輪を使用しない場合は取外してください。
後２輪を上方に反転させての耕うん・移動は，傷害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪は前後方向に７段階，上下方向に４段階の調節ができますので，作業に合せて調整してください。

■後２輪ホルダの前後調整

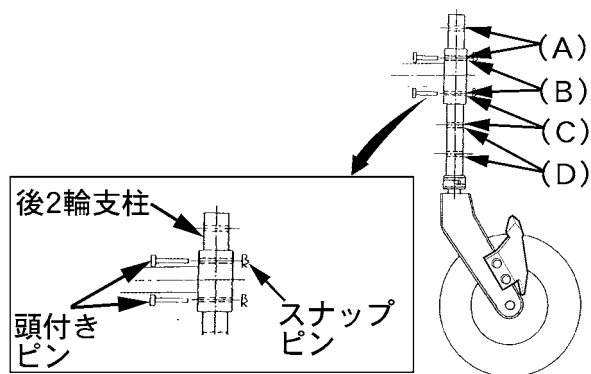
作業により次のように調整してください。

後２輪無し	培土作業	標準カバー機	１段目
		Ｖカバー機	１～３段目
		Ａ仕様	３・４段目
後２輪仕様	一般耕うん作業（12cm 以下）	フラップカバー無し 補助カバー付	４段目
		フラップカバー付 補助カバー付	６段目
	フラップカバー付，補助カバー付		７段目
	フラップカバー無し，補助カバー無し		１段目
	ロータリを着脱する場合		７段目

補　足

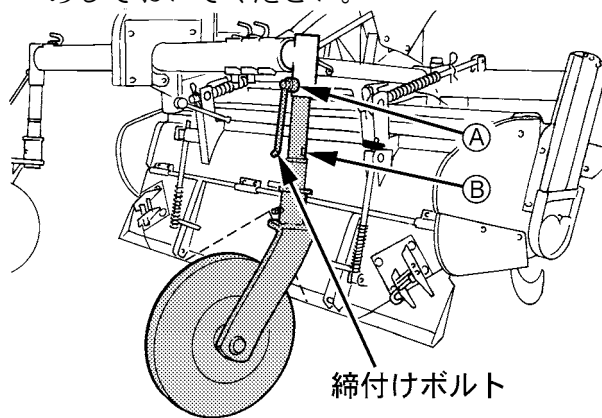
＊ 水田（湿田）で，トラクタの性能を十分発揮させるため，後２輪はロータリカバーに接触しない範囲で，接近させて使用してください。

1AHACAGAP012A

■上下調整

［A 仕様以外］

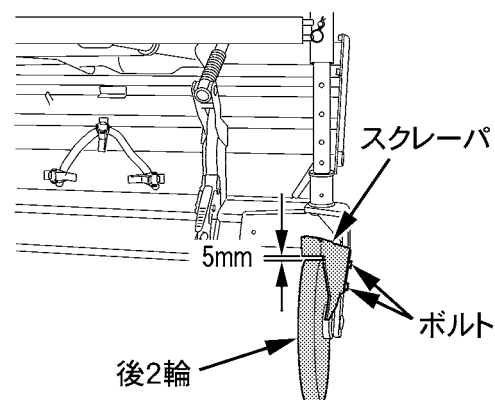
1. 一般耕うんの場合。
後２輪支柱を（D）の穴に，セットしてください。
2. 代かき・湿田耕うんの場合。
後２輪支柱を（A）の穴に，セットしてください。
3. 必要に応じて（B）（C）の穴に，取付けできます。
4. 頭付きピンは必ず前方から挿入してください。カバーと接触して，スナップピンが抜けるおそれがあります。
5. ロータリを着脱する場合は，（B）の穴に取付けてください。
［片培土機を使用するときは，（D）の位置にセットしてください］

1AHACAGAP016B

［A 仕様］

1. 一般耕うんの場合。
（B）の凹部に締付けボルトを締込み，回り止めしておいてください。
2. 代かき・湿田耕うんの場合。
（A）の凹部に締付けボルトを締込み，回り止めしておいてください。

1AHACACAP184A

■後２輪スクレーパの調整

後２輪とスクレーパのすき間が大きくなった時はスクレーパ取付ボルトをゆるめて，すき間が５㎜程度になるように調整してください。

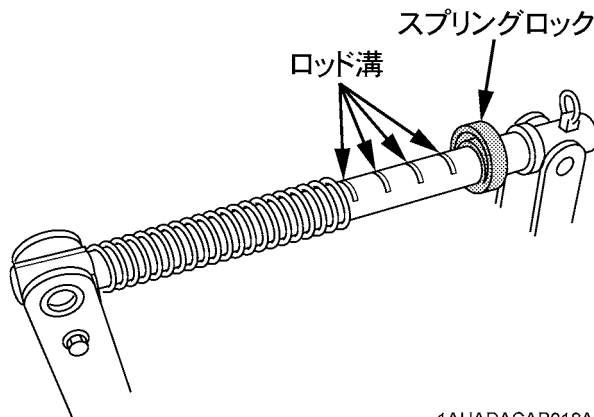
- ボルト締付トルク
48.0 ～ 55.9N・m（4.9 ～ 5.7kgf・m）

1AHACAGAP017A

スプリングロックの調整

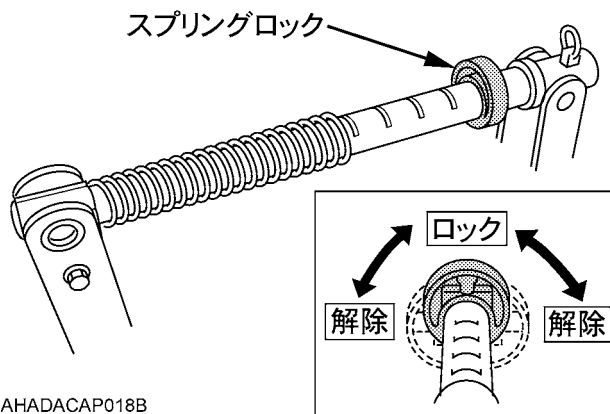
［A 仕様以外］

＊ スプリングロックの操作は必ずロータリを地上に降ろし，エンジンを停止してから行なってください。
＊ スプリングロックを操作するときは，必ずスプリングロックの外周を持って操作してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ スプリングが押付けられた状態でスプリングロックを操作するときは，必ず最後までスプリングロックを握った状態で操作してください。途中で手をはなすと，スプリングロックが上方へいきおいよく飛出し危険です。

◆ スプリングロックの位置

接地圧条件に合わせてロッド溝をお選びください。
（前から１番目，２番目……とセット位置を後方に下げるにつれ，押付力は強くなります）
通常は前から１番目の溝にセットしてください。

特殊な作業，爪の交換等ロータリカバー２を持上げて使用する場合も一番上の溝にセットしてください。

◆ スプリングロックの位置決め

1. スプリングロックを約 90 度回し，ロックを解除させます。

2. その状態でスプリングロックを希望位置まで移動させます。
3. スプリングロックをロックの位置まで回し，確実にロックします。（カチッと音が鳴り，前に動かない位置がロック位置です）

重 要

＊ スプリングロックは常にいずれかのロック溝にセットして使用してください。
＊ スプリングが密着する状態で作業すると，スプリングロックが破損するおそれがあります。

補　足

＊ ロータリを長期に使用しないとき，あるいは操作が重くなったときはよく洗浄し，土を完全に取除いた後，しゅう動部に注油してください。

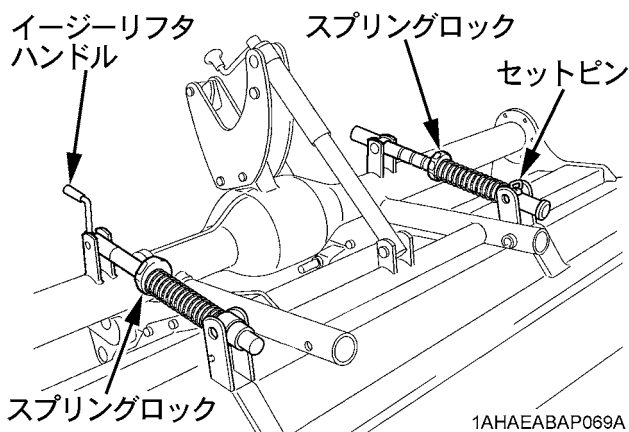
イージーリフタの調整［ＸＦ・Ａ仕様以外］

重　要

＊ ロータリカバー２を上げて保持する場合は，必ずセットピンを併用してください。セットピンを併用せず，イージーリフタだけで保持した場合，ロータリカバー２が破損することがあります。

ロータリカバー２は３段階（右側のロッドのセットピン穴位置）の高さで保持できます。

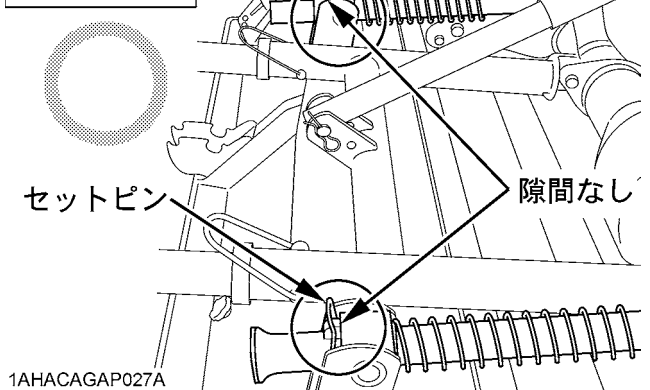
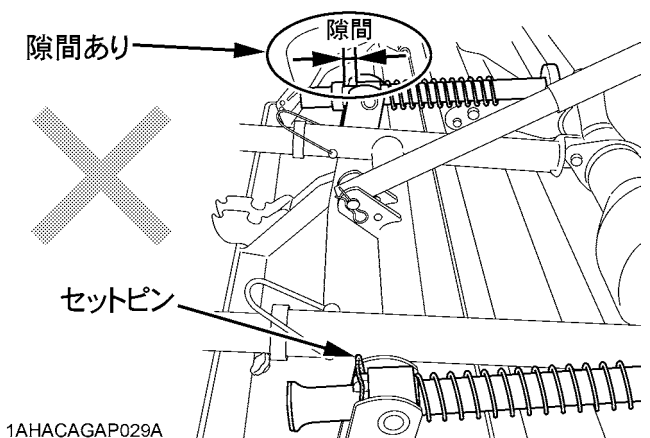
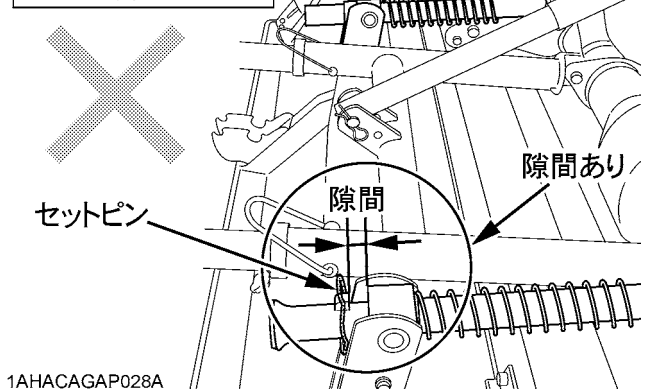
◆ ロータリカバー２を上げて保持する場合

1. ロータリカバー２を希望の少し上の高さまでイージーリフタハンドルで巻き上げ，右側のロッド穴にセットピンを挿入しください。

補　足

＊ スプリングロックによりスプリングが完全に縮んだ状態になった場合は，それ以上イージーリフタハンドルでカバー２を巻き上げないでください。スプリングロックが破損することがあります。

2. イージーリフタハンドルで，次の図の部分に隙間がないようカバー２を巻き下げてください。

重　要

＊ 必ず，左右のロッドの下図の部分に隙間がないようハンドルでカバー２を巻き下げてください。隙間があると，ロータリカバー２が破損することがあります。

◆ ロータリカバー２の保持を解除し，下げる場合

ロータリカバー２をハンドルで少し巻き上げセットピンを抜き，ロータリカバー２を巻き下げます。

重　要

＊ オート作業する場合，必ずロータリカバー２を最下げの状態まで巻き下げてください。
最下げ状態以外で使用すると，オートが正常に作動せず（Ｅ　オートは除く），ロータリが下降しません。
＊ ロータリを着脱する場合，必ずロータリカバー２を最下げの状態にしてください。最下げ状態以外で着脱するとオート金具が破損します。
＊ 道路走行時は，ロータリカバー２を最下げの状態にしてください。
＊ 長期間保管するとき，あるいはハンドルの操作が重くなったときは，土を完全に取除いたあとよく洗浄し，ネジ部に注油してください。
＊ イージーリフタ，セットピンとも保持を解除する場合は特にロータリの下や周辺の安全確認を行なってください。

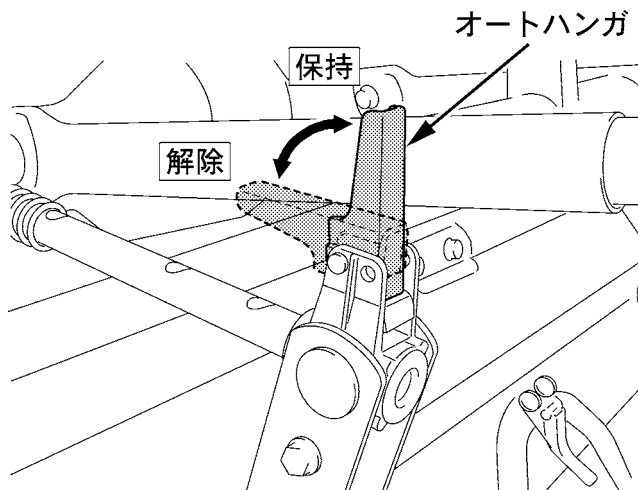
補　足

＊ ロータリカバー２を最下げの状態で使用する場合，セットピンは右側のロッド前端に格納してください。

オートハンガの調整［ＸＦ・Ａ仕様］

＊ オートハンガの操作は，傷害事故を引起こすおそれがありますので，平坦な広い場所で周囲の安全確認を行ない，エンジンを止めて，駐車ブレーキを掛けてから行なってください。
＊ オートハンガを［解除］にした時は，直ちにロータリカバー２の保持を解除してください。

◆ ロータリカバー２を保持する場合

オートハンガを左右２カ所とも**［保持］**（自動ロック）の位置にし，ロータリカバー２を持上げると，希望の位置（３カ所）で自動的にロータリカバー２が保持されます。

1AHACACAP112A

◆ ロータリカバー２の保持を解除する場合

オートハンガを左右２カ所とも**［解除］**の位置にしてください。
ロータリカバー２を少し持上げると自動的にロータリカバー２の保持が解除されます。

重　要

＊ **［保持］**するときは，必ず左右のオートハンガが**［保持］**位置になっているか，またオートハンガのピンがロッドの穴に確実に入っているかを確認してください。
＊ 耕うん爪の点検・交換などを行なう場合は，ロータリカバー２は一番上げた位置で保持して行なってください。（ロッドの下から３番目の穴で保持した位置）
＊ 保持を解除する場合は，特にロータリの下や周囲の安全確認を行なってください。
＊ ロータリカバー２を保持した状態では絶対に走行しないでください。走行する場合は必ず保持を解除してください。

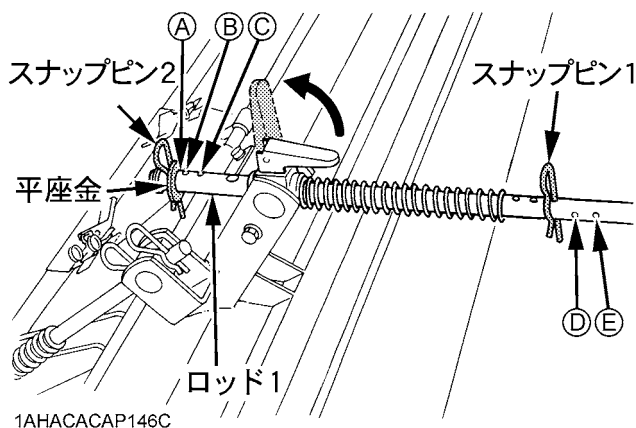
補　足

＊ オート作業する場合，ロータリカバー２を保持した状態で使用しますとロータリが下降しないことがありますので，必ずオートハンガを**［解除］**の位置にして使用してください。
＊ 長期間保管する時，あるいは操作が重くなったときは良く洗浄し，土を完全に取除いた後，レバー部とピン部に十分注油してください。

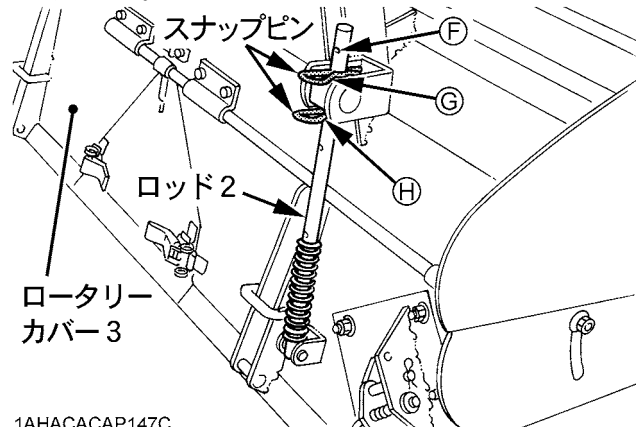
［A 仕様］

◆ ロッド１の調節

Ａ タイプは，作業に合わせロータリカバーの最下げ位置を４段階に調節できます。畝立て作業時に，ロータリ前方への土の持回りが多い場合に調節しますと，作業が安定します。
次の要領に従って正しく使用してください。

1. 作業に合わせ，スナップピン２を（A）穴，（B）穴，又は（C）穴に差込み調節してください。
   このとき，スナップピン２が平座金よりもロッドの後端側になるように取付けてください。
2. オート作業やスナップピン２で調節しない場合は，ロッド前端の（D）穴，又は（E）穴にスナップピン２を差込んで保管してください。

1AHACACAP146C

◆ ロッド２の調節

1. オートでの作業は上から２番目の（G）穴と４番目の（H）穴にスナップピンを差し，ロッドを固定してください。
2. 畝立てなど，オート以外での作業は適当なロッド穴を選ぶか，１番目の（F）穴と２番目の（G）穴にスナップピンを差し，ロータリーカバー３をフリーの状態にしてご使用ください。

1AHACACAP147C

補　足

＊ 耕うん開始時にロータリを下げた時，ロータリカバー３が，土中に入り込みやすい場合は，ロッド２のベータピンを上から３番目と５番目の穴，もしくは４番目と６番目の穴に差し込んでください。

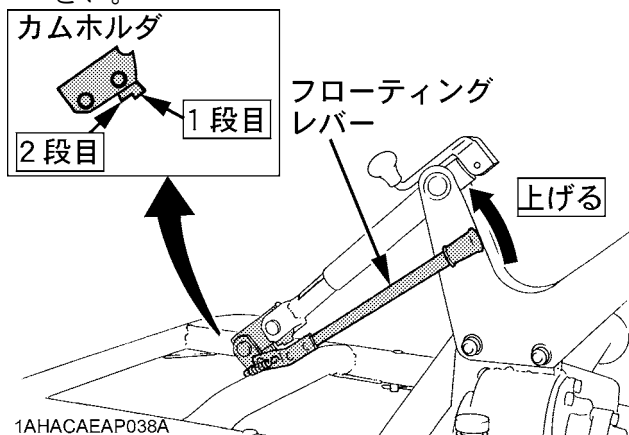
フローティング装置（Ａ 仕様以外は別売オプション）

品名	品番
フローティング部品アッシ	7C405-9912-0

※部品詳細は付表（P.74）参照

＊ ロータリをトラクタから取外し，ロータリ単体保管する場合，絶対にフローティングレバーを操作しないでください。フローティングレバーを上方にあげると，急にロータリの姿勢が変化し，不安定な状態になります。
＊ 手元開閉式延長カバーとは併用出来ません。

後２輪フローティング機構は，簡単な取扱いであぜぎわまで耕うんできる機構です。
次の取扱い要領に従って，正しく使用してください。

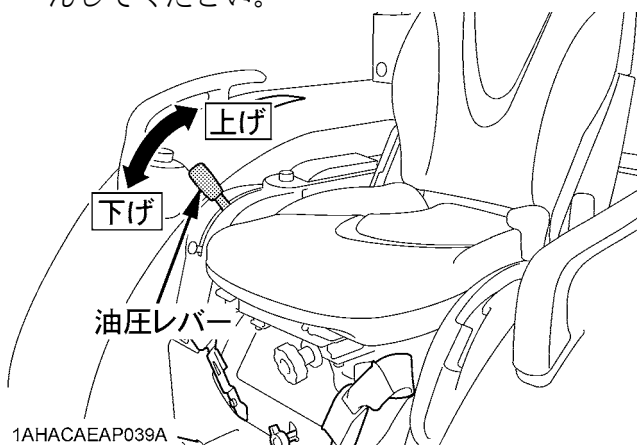
1. 油圧レバーを操作して，ロータリを持上げてください。
2. フローティングレバーを上方に押し上げ，レバーがカムホルダに引掛かるようにしてください。

1AHACAEAP038A

補　足

＊ フローティングレバーを上げてカムホルダに引掛けるとき，引掛かり位置によって，フローティング機構が作用しない場合がありますので，次表を参考にして使い分けてください。

浅い耕うんの場合 （耕深目盛り４以下）	１段目で作用します
普通耕うんの場合 （耕深目盛り４以上）	２段目で作用します

一般に普通耕うん状態では，フローティングレバーを２段目に引掛かるまで上げないと，フローティング機構は作用しません。

3. 後２輪があぜの上に乗るように，トラクタをバックさせてください。
4. 油圧レバーを操作して，ロータリを下げてください。
5. このとき，後２輪はフローティング状態です。レバーストッパで，あらかじめ耕深を定めておき，その位置まで油圧レバーを下げて，耕うんを始めてください。
6. 後２輪があぜからほ場に降りるまで耕うんし，ほ場に降りたとき一時停止してください。
7. 油圧レバーを **“上げ”** にするとロータリが上昇し，フローティング状態から固定状態に，自動的に切換わります。
8. 次に油圧レバーを **“下げ”** にすると，標準耕うん状態になり，今まで後２輪で定められていた所定の耕深になりますので，続けて耕うんしてください。

畝立機の取付け（別売アタッチメント）

注　意

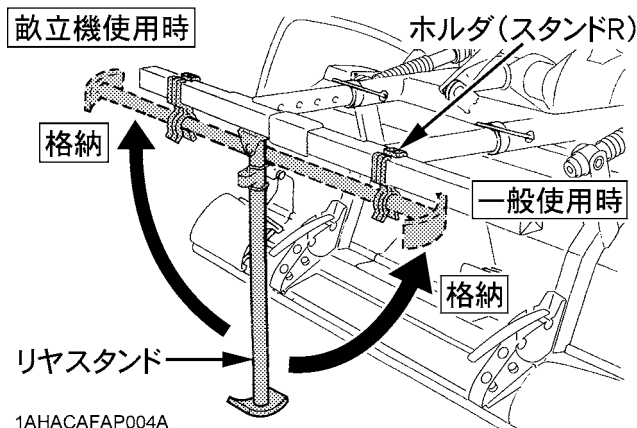
＊ 畝立機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，キースイッチを“切”にしてエンジンを停止してから行なってください。
＊ キャビン仕様トラクタには反転金具を使用しないでください。
＊ 畝立機を使用しない場合は取外してください。
畝立機を上方に反転させての耕うん・移動は傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ 畝立機を使用しない場合，V カバー又はカバーフタを外したままでロータリを使用しないでください。
傷害事故を引起こすおそれがあります。

補　足

＊ 畝立機の形状･取付け方は一般的なものを表示していますので，詳細は畝立機に添付された取扱要領書をご参照ください。

［A 仕様以外］

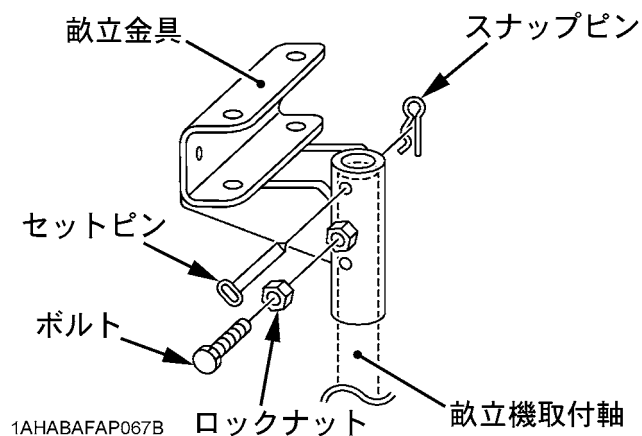
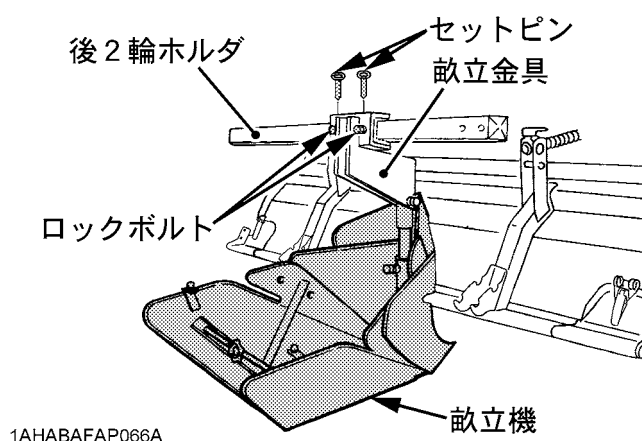
畝立機は，畝立て金具の穴に下から差込み，作業に応じて取付け高さを変え，ボルトで取付けてください。
（畝立機と畝立て金具は **“アタッチメント一覧表”** を参照してください）

1. 爪の配列を２つ盛り耕法の配列にしてください。（**［２つ盛り耕法］** の項を参照）
2. リヤスタンドを外側方向へ格納してください。（スタンド仕様）

3. 後２輪を取外してください。（後２輪仕様）

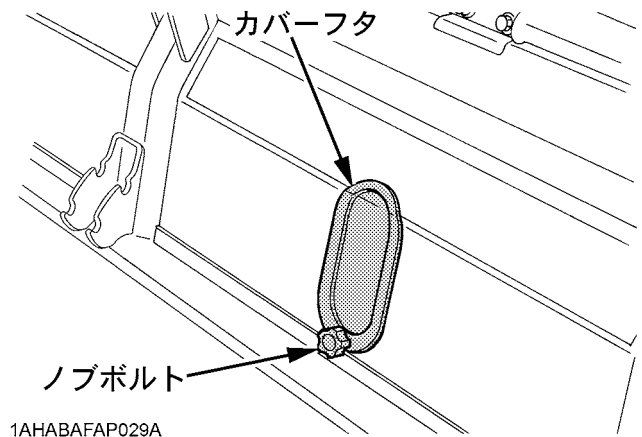
4. 後２輪ホルダを，前後調整の１段目（最も縮めた状態）にしてください。（**［後２輪ホルダの前後調整］**の項を参照）
5. フラップカバーを取外してください。（**［ロータリカバーの調整］**の**［フラップカバーの取外し方］**の項を参照）
6. 中央部のレーキ（くし）を３本取外してください。（X 仕様）

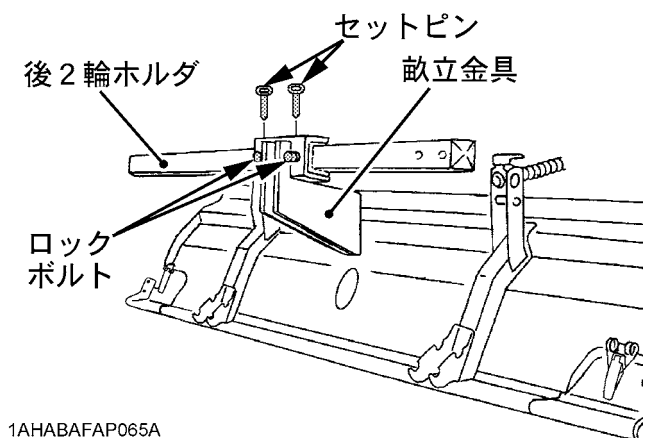
［V カバーの場合］

(1) V カバーを取外してください。（**［ロータリカバーの調整］**の**［V カバーの取外し方］**の項を参照）
(2) 希望する耕深（畝立）に合わせ，畝立機の取付軸の高さを調整し，セットピン，ボルト，ロックナットで固定します。

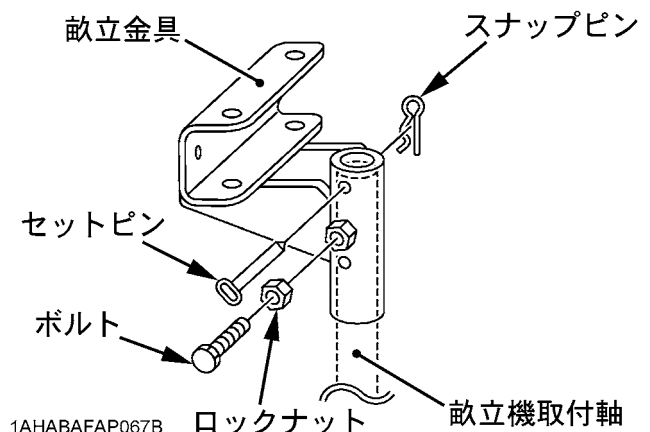
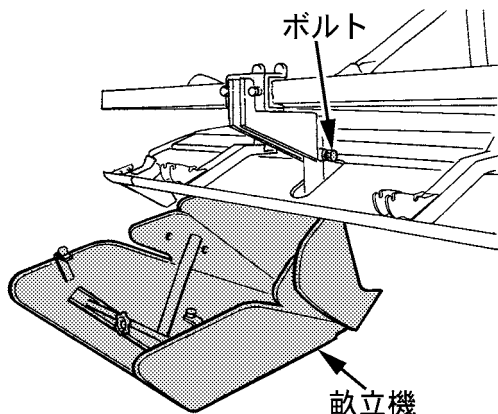
1AHABAFAP067B

(3) 畝立金具を後２輪ホルダにセットピン，ロックボルトで固定してください。

1AHABAFAP066A

［標準カバーの場合］

(1) ノブボルトをゆるめてロータリカバー２のカバーフタを取外してください。

1AHABAFAP029A

(2) 後２輪ホルダに畝立金具をセットピン，ロックボルトで固定してください。

1AHABAFAP065A

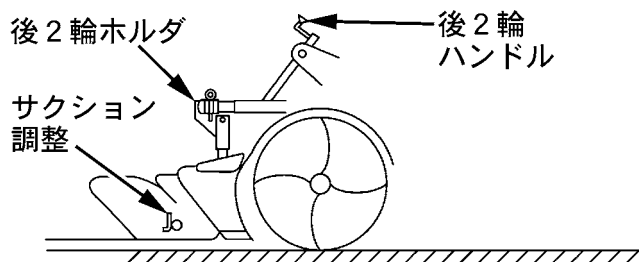
(3) ロータリカバー２をイージーリフタのハンドルで巻き上げ，セットピンで固定してください。

(4) ロータリカバー２の下側から畝立機を入れ，希望する耕深（畝立）に合わせ，畝立機の取付軸の高さを調整し，セットピン，ボルト，ロックナットで固定します。

1AHABAFAP067B

1AHABAFAP030A

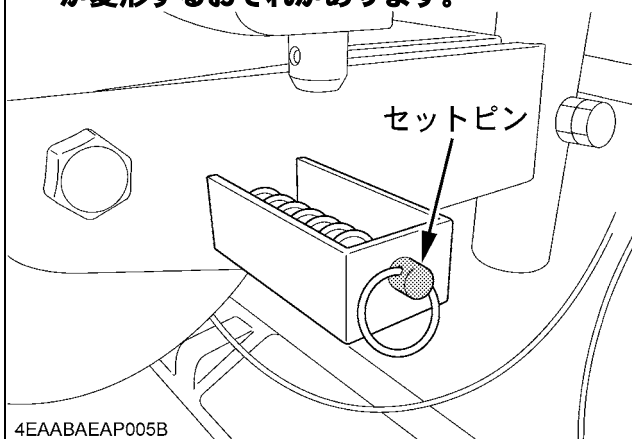
(5) 必要に応じてイージーリフタのハンドルを回し，ロータリカバー２を下げてください。

■畝立機の調整方法

1. 作業時，希望する耕深（畝立）に合わせて後２輪ハンドルで調整し，畝立機のすき先が水平又は多少上を向くようサクション調節をしてください。

1AHABAFAP068A

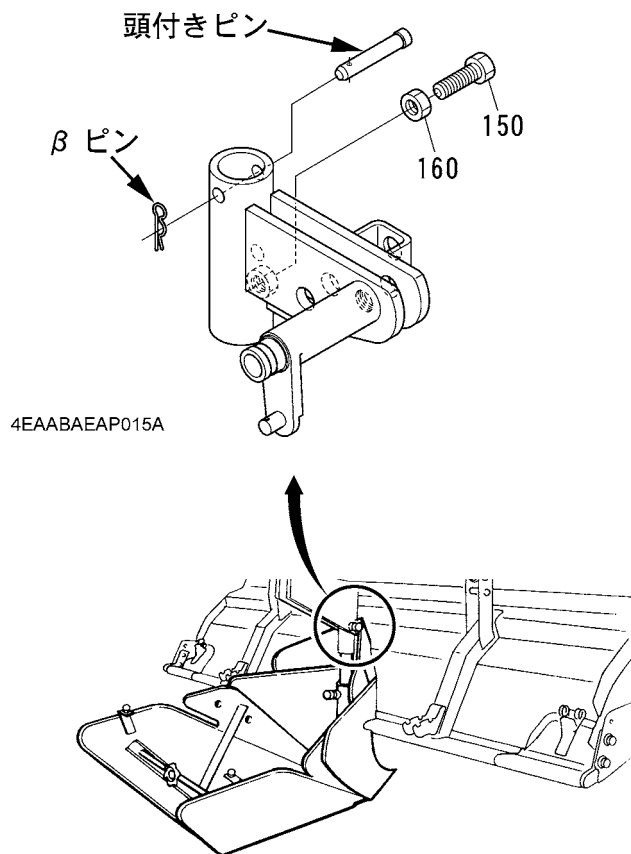
［A 仕様］

注 意

＊ 電動培土反転装置，畝立機の取付け，調整作業は必ずロータリを地上に近い位置に下ろし，キースイッチを［切］にしてエンジンを停止してから行なってください。
＊ 安全キャブ仕様トラクタでは，畝立機がリヤウインドと干渉する機種があるので上限規制を使用し，干渉しないようにしてください。
＊ ３分以上の連続運転をしますと，モータが加熱し故障の原因となりますので注意してください。
＊ 反転装置が作業位置又は，反転位置になった後，操作スイッチを押し続けないで下さい。故障の原因となります。
＊ 反転操作時以外は必ずセットピンがセットされていることを確認してください。装置が変形するおそれがあります。

4EAABAEAP005B

＊ ロータリをトラクタから取外す時は，必ずワイヤハーネスのカプラを切り離してください。ワイヤハーネスが破損します。

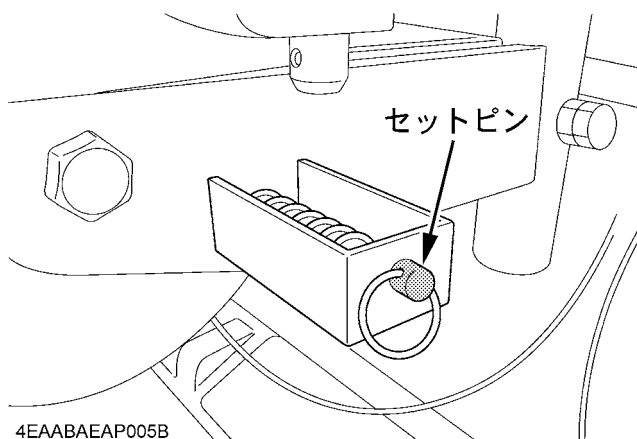
◆ 畝立機の取付け

1. 畝立機取付金具の下部から畝立機を挿入して，畝立機取付けマークを畝立機取付金具の下端部に合わせ，止めネジで畝立機を固定してください。

◆ 培土作業

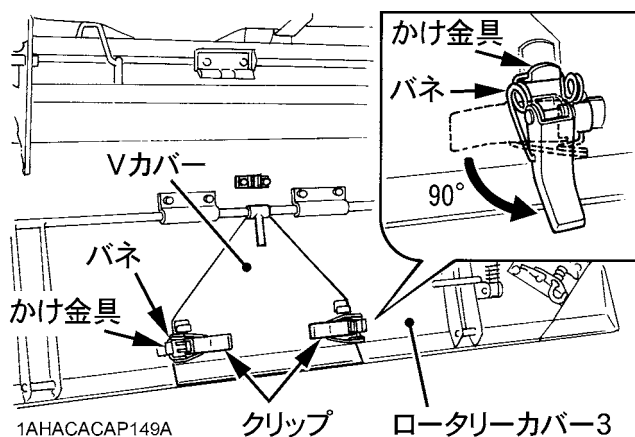
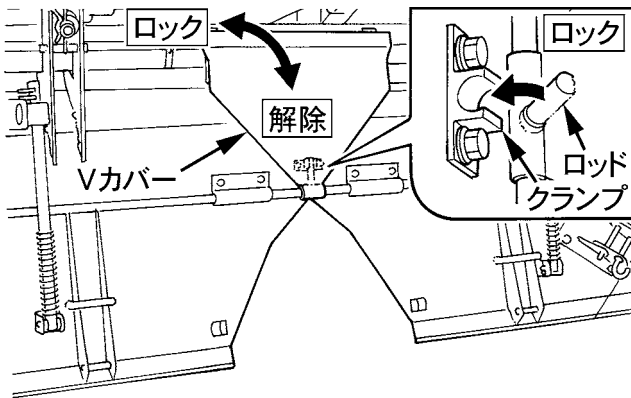
1. 爪の配列を均平又は２つ盛り耕法の配列にしてください。
   （**“均平耕法”**又は**“２つ盛り耕法”**の項を参照）
2. V カバーを開いてください。
   （**“V カバーの取外し方”** の項を参照）
3. 後２輪ホルダを前後調整の３段目又は４段目の位置にしてください。
   （**“後２輪ホルダの前後調整”** の項を参照）
4. 後部カバー押えバネをフリーにするか少し縮めて，後部カバーを軽く地面に接触させてください。

◆ 畝立機の回動操作

1. セットピンを引抜き，操作スイッチを押すと，畝立機が反転します。
   ※セットピンがかたくて抜けない場合，操作スイッチを上下どちらかに押した後，少し戻すとセットピンはスムーズに抜けます。

◆ 畝立機の取外し

1. 畝立機の位置を作業状態に戻してください。
2. セットピンが所定の位置に確実に収まっているか確認してください。
3. 止めネジをゆるめて畝立機を取外してください。

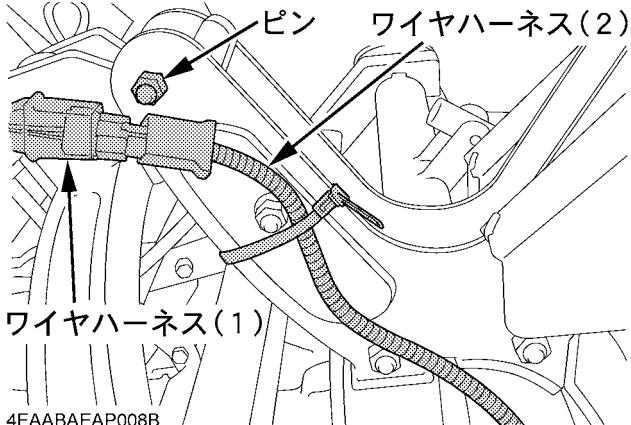
◆ V カバーの取外し方

1. クリップを引上げ，V カバーを取付けているバネを，ロータリカバー３のかけ金具から外してください。
2. クリップを 90° 回転させ，バネを V カバー側のかけ金具にかけ，クリップを下げ確実にロックしてください。
3. V カバーを上方にはね上げ，ロッドがクランプの溝にはさまり込みロックされる位置まで V カバーを押込んでください。V カバーを手前に強く引くとロックは解除されます。
4. 取付けは逆の順序で行なってください。

1AHACACAP150A

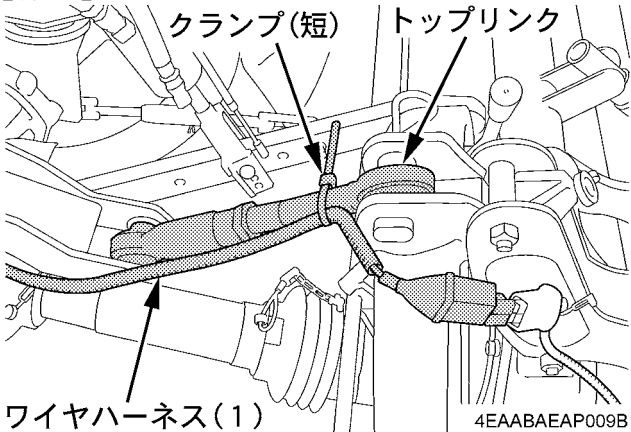
◆ **ワイヤハーネスの取付け方**

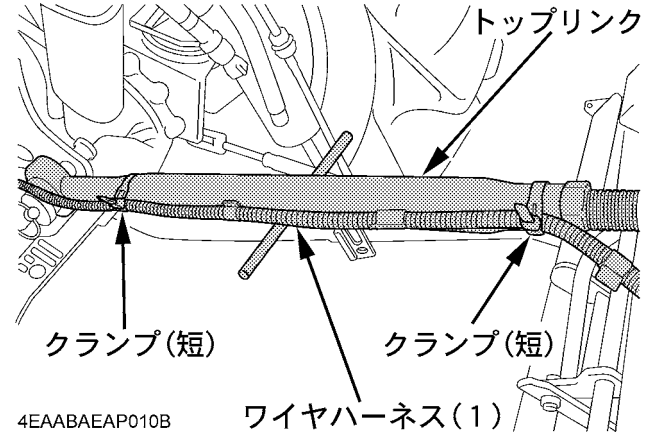
・使用するクランプ

クランプ（長）：250 mm	クランプ（短）：140 mm

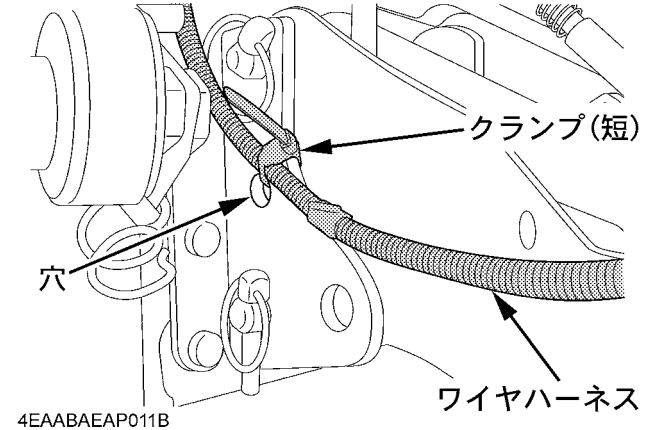
1. ワイヤハーネス（2）の前端とワイヤハーネス（1）の後端のカプラをセットします。

4EAABAEAP008B

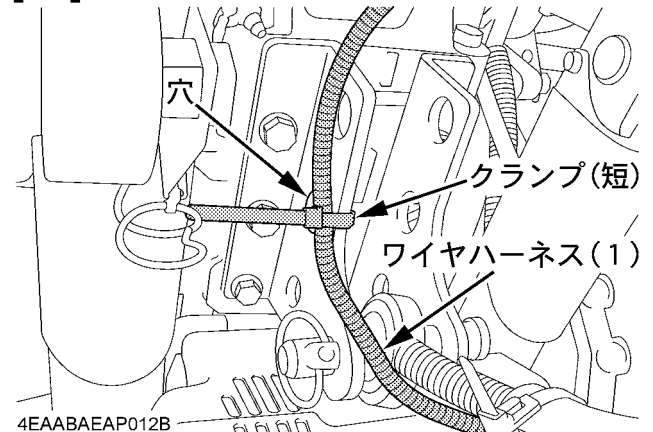
2. ワイヤハーネス（1）をクランプ（短）でトップリンクとクランプします。

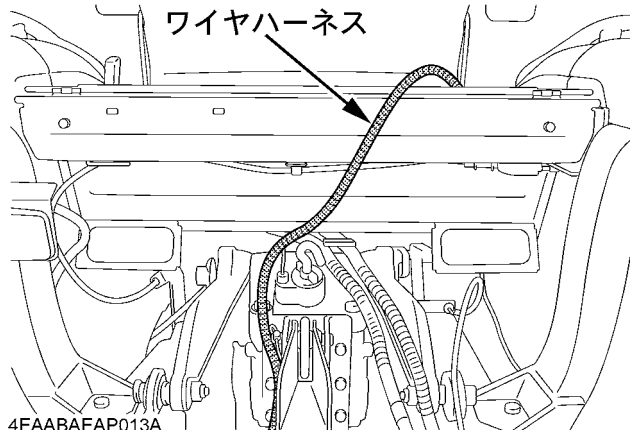
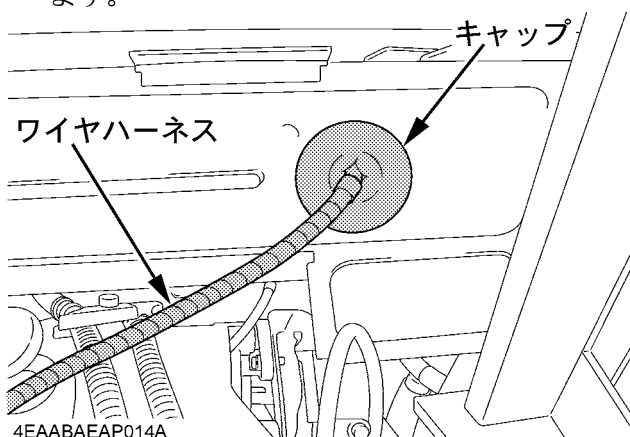
［特 3P］ クランプ（短）１本使用

4EAABAEAP009B

［W3P］ クランプ（短）２本使用

4EAABAEAP010B

3. ワイヤハーネス（1）をトップリンクブラケットの穴にクランプ（短）でクランプします。
※三点リンク作動時，ワイヤハーネスが突っ張らないことを確認してください。

［特 3P］

4EAABAEAP011B

［W3P］

4EAABAEAP012B

4. 安全フレーム使用トラクタは，リヤフェンダの上にハーネスを取り回し，電源取り出しの**白色**のカプラ（20A）とセットします。

5. 安全キャブ仕様トラクタは，シート右後方のワイヤハーネス取り出し穴にワイヤハーネスを挿入し，電源取り出しの**白色**のカプラ（20A）とセットします。（ハーネス取り出し穴のキャップに穴を開けてワイヤハーネスを通します。

6. 余ったワイヤハーネスは，その他の部品と干渉しない位置に束ねて，クランプ（長）でクランプします。

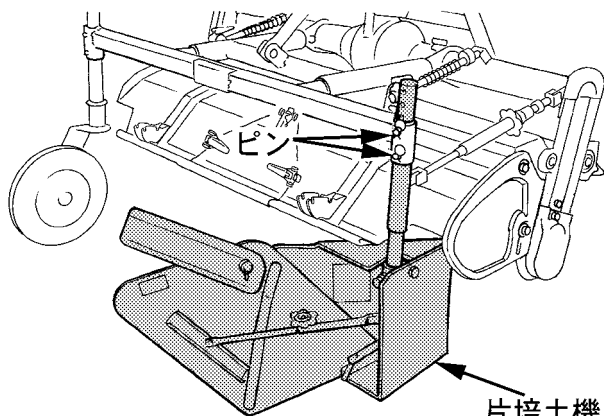
片培土機の取付け（別売アタッチメント）

＊ 片培土機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，キースイッチを“切”にして，エンジンを停止してから行なってください。
＊ キャビン仕様トラクタには反転金具は使用しないでください。
＊ 片培土機を使用しない場合は取外してください。
片培土機を上方に反転させての耕うん・移動は，傷害事故を引起こすおそれがあります。

補 足

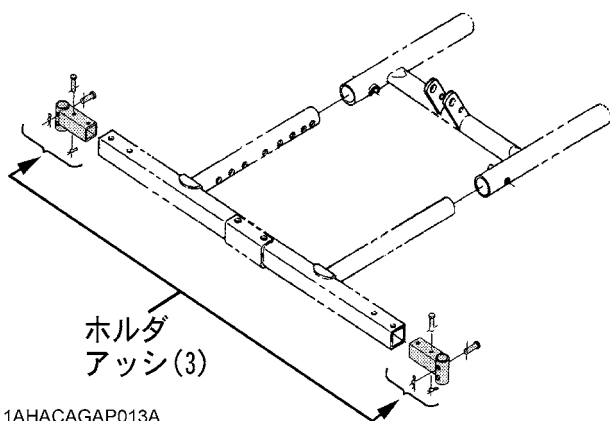
＊ 片培土機の形状･取付け方は一般的なものを表示していますので，詳細は片培土機に添付された取扱説明書をご参照ください。

■取付け方

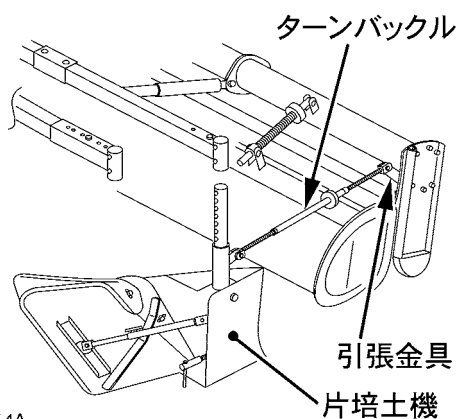
1. 後２輪の右側を取外してください。（後２輪仕様）
2. 後２輪ホルダを，前後調整の１段目（最も縮めた状態）にしてください。（**［後２輪ホルダの前後調整］**の項を参照）ただし，V カバーで畝立機と併用する場合は，前後調整を畝立機にあわせてください。
3. フラップカバーを取外してください。（**［ロータリカバーの調整］**の**［フラップカバーの取外し方］**の項を参照）
4. 補助カバーの右側を取外してください。
後２輪仕様は左側も取外してください。
5. 片培土機を希望する耕深（畝立）に合わせ，後２輪ホルダにピン２本でセットしてください。

1AHABAFAP031A

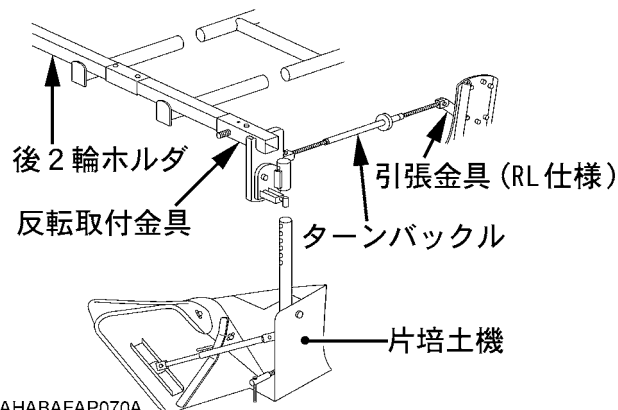
補　足

＊ スタンド仕様，４輪キャスタ仕様は，別売のホルダアッシ (3) を使用してください。(A 仕様以外)

品名	品番
ホルダ，アッシ (3)	7C215-9730-1

1AHACAGAP013A

6. 引張金具を下図のように取付け，ターンバックルで連結します。

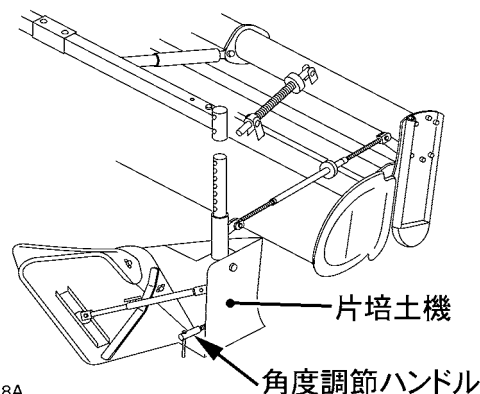
[RL仕様]

1AHACAGAP014A

[反転取付金具使用時]

1AHABAFAP070A

補　足

＊ ロータリカバー２で整地しながら片培土作業をすると，引張り金具の長さが不足する場合がありますので，ロータリカバー２を片培土機の上に乗せてください。

■片培土機の調整方法

1. 標準的な作業姿勢は片培土機の底面がロータリの深耕と同位置，または多少上を進行するように片培土機の角度調節ハンドルで調整します。

1AHACAGAP018A

2. 調整後，片培土機とロータリをターンバックルでガタの無い程度に張ってナットでゆるみ止めをします。

逆転 PTO の使用方法

トラクタの逆転PTOを使用して次の作業が行なえます。

1. 爪軸の巻付き草を除去する。
   耕うん中に草などが巻付いて，耕深が取れなくなった場合，ロータリを持上げて，逆転での空転，正転での空転を数回繰り返すと，草の巻付きがゆるみ取りやすくなります。
2. 軟弱地での土寄せ作業。
   代かき作業などを行なう軟弱なほ場で，泥などが盛上がった場合，逆転 PTO を使用して前進しながら土寄せを行なうと効果があります。このとき，エンジン回転数 1300 ～ 1500 rpm位で作業すると泥飛びも少なくなります。またフロントカバーを下げるとさらに泥飛びが少なくなります。(**“ロータリの調整”**の**“フロントカバーの使い方”**の項を参照)

重　要

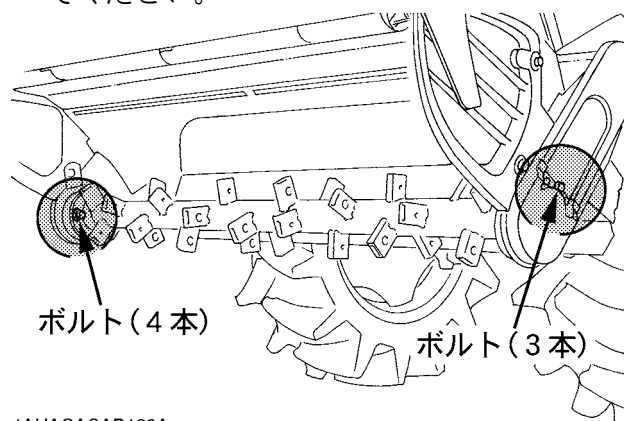
逆転PTOを使用して,次の作業は行なわないでください。ロータリ破損の原因になります。

＊ 逆転耕うん作業
＊ 未耕地及び石の多いほ場での土寄せ作業
＊ ロータリ爪・爪軸を逆に取付けて行なう耕うん作業
＊ 正逆転ロータリの正転，逆転作業

爪軸交換のしかた

注　意

傷害事故の防止のため，爪軸交換をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを［止］方向いっぱいに回してロックする。ロック（停止）すると共に適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なう。

1. チェーンケース側爪軸取付けボルト（４本），及びサイドフレーム側ベアリングケース取付けボルト（３本）をゆるめてください。
2. 落下調整グリップを少し**“開 ”**方向に回し，耕うん爪が水平地面上に着くまでゆっくりと降ろした後で，ボルトを外して爪軸を交換してください。

重　要

＊ 取付けは，外したボルトが作業中にゆるまないように，確実に締付けてください。
［締付けトルク］
● RL170R のチェーンケース側爪軸取付けボルト
127.5 ～ 137.0 N・m(13.0 ～ 14.0 kgf・m)
上記以外の爪軸取付けボルト
86.0 ～ 108.0 N・m(8.80 ～ 11.0 kgf・m)
● ベアリングケース取付けボルト
78.5 ～ 88.0 N・m (8.00 ～ 9.00 kgf・m)

補　足

＊ 正逆転ロータリの爪軸は，爪軸取付けフランジの**“Ｌ”**の刻印が，チェーンケース側にくるように取付けてください。

作業前の点検について（日常点検）

警 告

＊ 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また，紛失したり損傷した場合，交換してください。
巻込まれや切傷事故の原因になります。

点検箇所

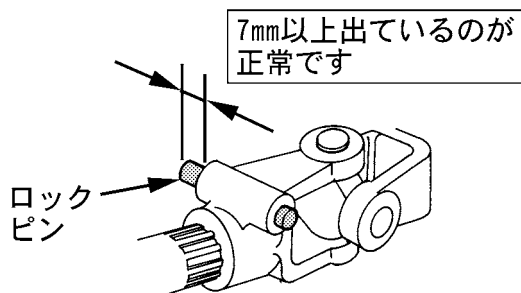
故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよくよく知っておくことが大切です。
日常点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，別途作業要領が説明してあります。

■点検は次の順序で実施してください。

1. 前日，前使用時の異常箇所。
2. ロータリの点検ポイント。
   ＊ 爪及び爪軸取付けボルトのゆるみ
   ＊ つきま線のゆるみ（XF・A仕様を除く）
   ＊ ロータリ各部のボルト・ナットのゆるみ
   ＊ ユニバーサルジョイントのロックピンの確認…………………………………※１
   ＊ 油もれ

点検のしかた

1. ユニバーサルジョイントのロックピンの確認

ロックピンが正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が７ mm 以上出ているかどうかを調べてください。

1AHACACAP053A

ロータリの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警 告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは

- ＊ **機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。**
- ＊ **地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。**
- ＊ **廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。**

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

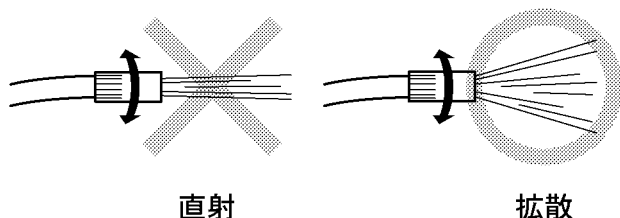
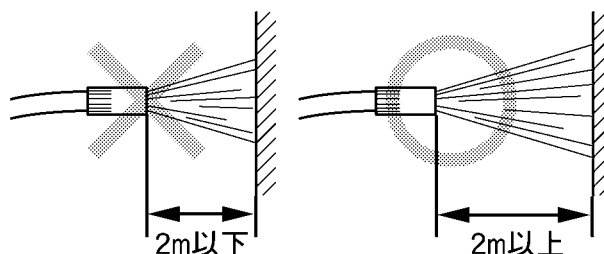
洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，

1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。**

重 要

＊ 洗車のしかたが不適切な場合，以下のような機械の破損・損傷・故障の原因になります。
［例］(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁　　近距離洗車厳禁

直射　拡散　2m以下　2m以上

1AGACBRAP070A

定期点検箇所一覧表

次の定期点検表に従って，必ず定期点検を実施してください。

傷害事故の防止のため，点検整備をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを［止］方向いっぱいに回してロックする。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

No.	点検項目		アワーメータの表示時間						参照ページ
			50	100	150	200	250	300	
1	ギヤーケース	油量点検		○	○	○	○		60
		オイル交換	◎					○	
2	チェーンケース	油量点検		○	○	○	○		60
		オイル交換	◎					○	
3	グリースの補給 ・ユニバーサルジョイント ・アジャスタ（後２輪調整ネジ部） ・ホルダ（ジョイント），ロータリ入力軸 ・後２輪のグリースニップル部（後２輪仕様） ・イージーリフタ（ネジ部）（XF 仕様除く） 注油 ・オートヒッチフレーム各回動部 ・イージーリフタしゅう動部，回動部（XF・A 仕様除く） ・オートハンガしゅう動部，回動部（XF・A 仕様） ・つきま線の U 金具部（XF・A 仕様除く） ・フロントカバー回動部（XF・A 仕様除く）		○	○	○	○	○	○	61，62，62
4	グリースの補給 ・爪軸ベアリングケース				○			○	61

【注】◎印は，ならし運転時の 50 時間使用後に，必ず行なってください。

各部の油量点検と交換

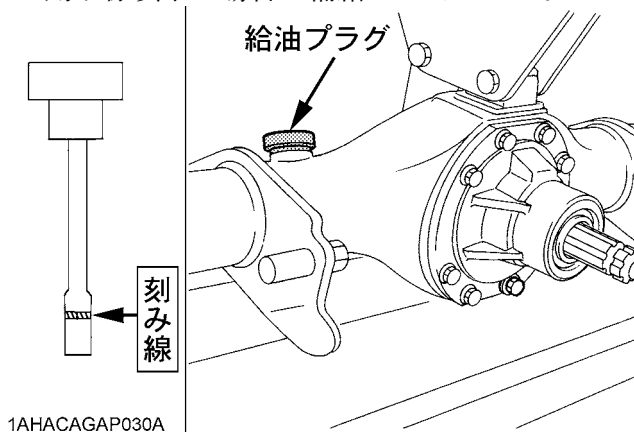
使用するギヤーオイルは，必ず **［クボタ純オイル］** を使用してください。（**［推奨オイル・グリース一覧表］** の項を参照）

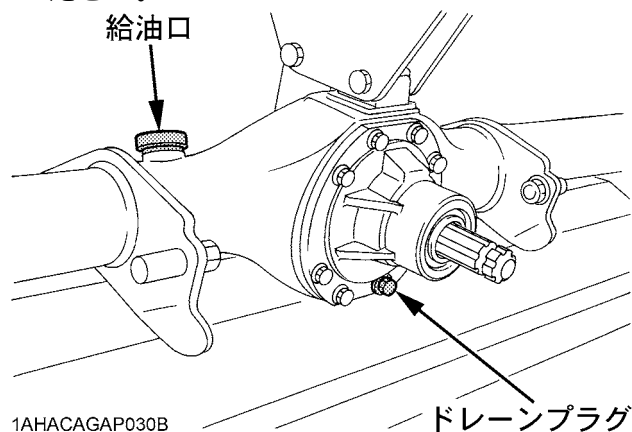
補　足

＊ 点検するときは，ロータリをトラクタに装着したまま，水平な地面に置いて行なってください。
傾いていると正確な量を示さないことがあります。

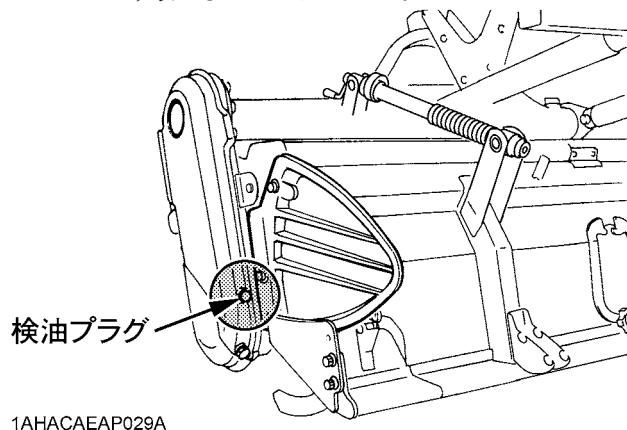
■ギヤーケース

◆ 油量点検のしかた

1. ロータリを降ろして給油プラグを抜き，オイルゲージの先端をきれいにふいて差込んでから再び抜き，**［刻み線］** までオイルがあるかを調べてください。
2. 刻み線以下の場合は補給してください。

◆ 交換のしかた（2.5 L）

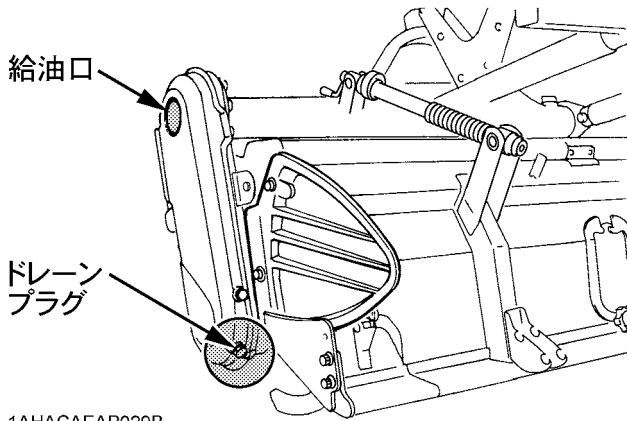
1. ドレーンプラグを外してオイルを出してください。オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は，新品に交換してください。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。

■チェーンケース

◆ 油量点検のしかた

1. ロータリを降ろして検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
2. 検油口以下の場合は補給しますが，検油口以上には入れないでください。

◆ 交換のしかた（1.2 L）

1. ドレーンプラグを外してオイルを出してください。オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は，新品に交換してください。

2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。

1AHACAEAP029B

グリースの補給と注油

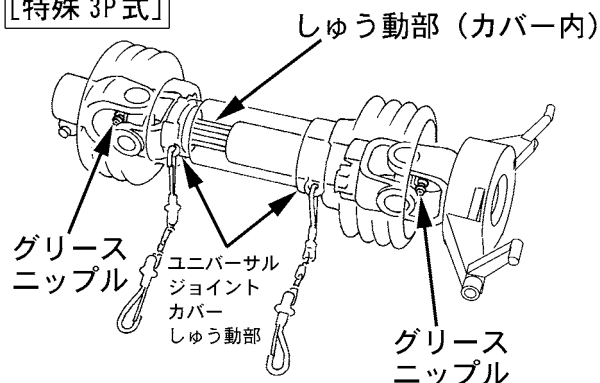
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。但し，代かき作業などで泥水に入ったときは，作業終了後必ずグリースアップをしておきましょう。
グリースは，**［クボタ推奨グリース］**を使用してください。（**［推奨オイル・グリース一覧表］**の項を参照）

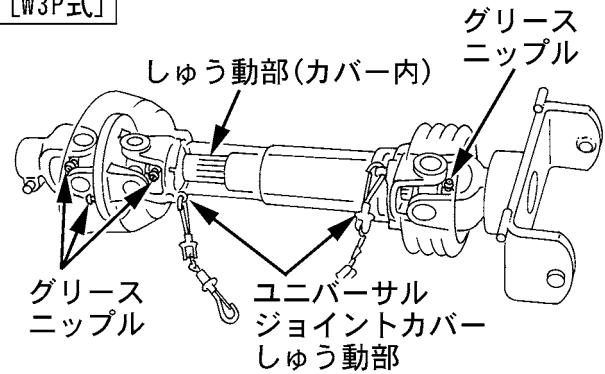
■ユニバーサルジョイント

しゅう動部は，ジョイントのオス・メス部を切離して補給してください。

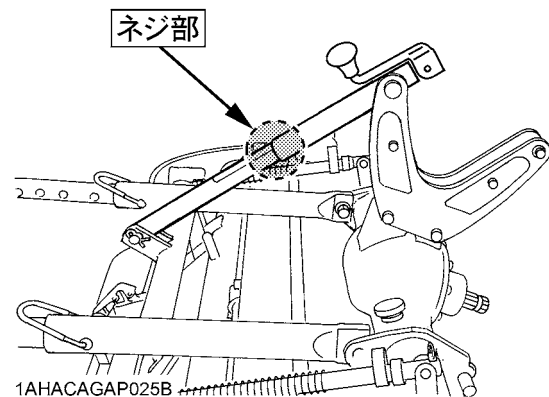
補　足

＊ PTO 軸・ロータリ側の軸にも，薄く塗布してください。

［特殊 3P 式］

1AHACAGAP024A

［W3P式］

1AHACACAP126A

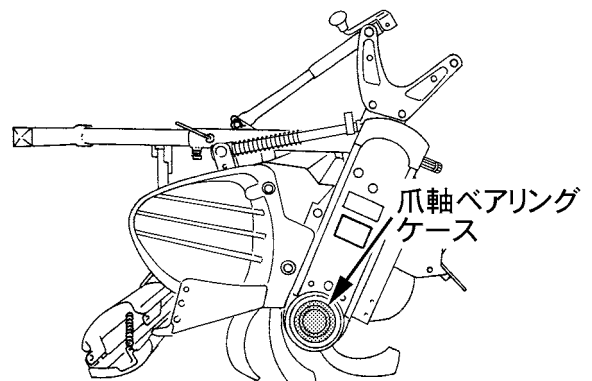
■アジャスタ（後２輪調整ネジ部）

グリースを適量補給してください。
（アジャスタと調整ネジを切離して，ネジ部にグリースを塗布します。）

1AHACAGAP025B

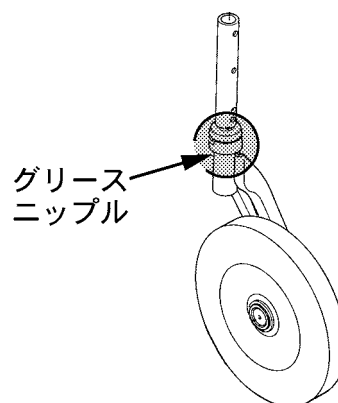
重　要

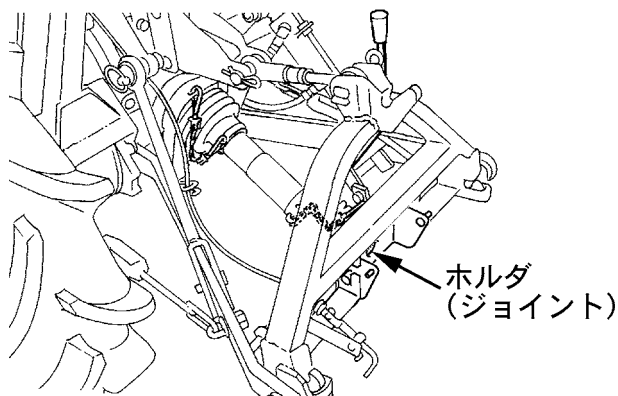
＊ ロータリ単体で行なうとロータリが倒れるおそれがあるため，必ずトラクタに装着して行なってください。

■爪軸ベアリングケース

サイドフレームの保護カバーとキャップを外し，ベアリンググリースを補給します。

1AHACAGAP026A

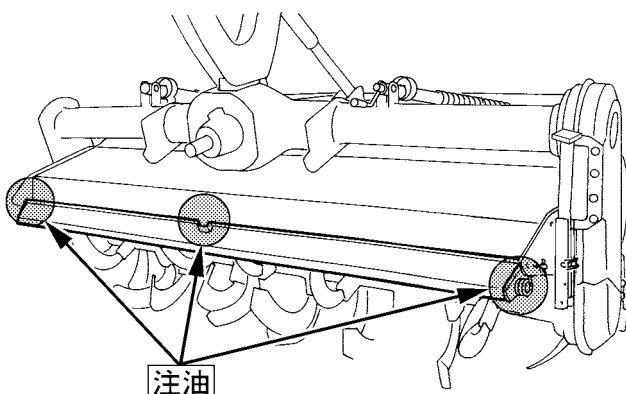
■ V カバー（A 仕様）

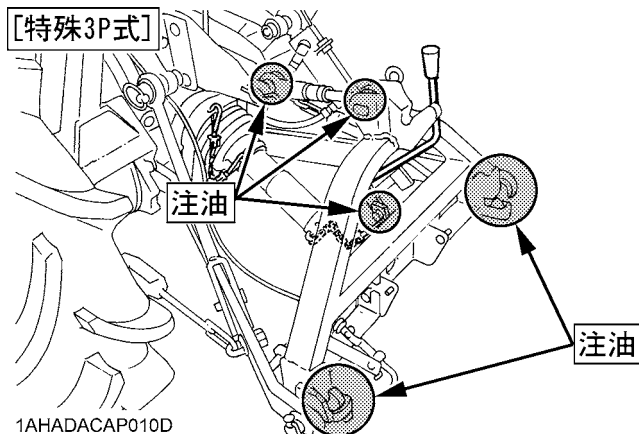
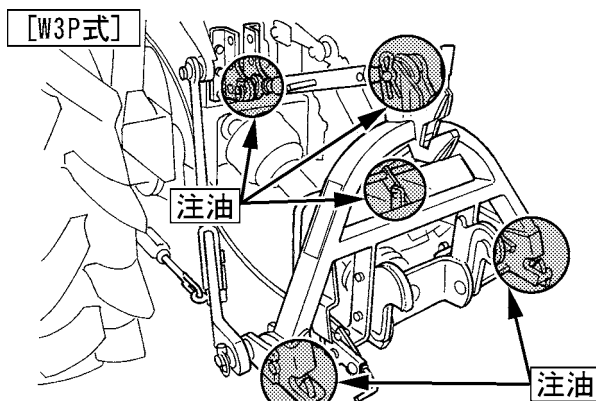
1AHACACAP150B

■ホルダ（ジョイント），ロータリ入力軸

1. 湿田耕うんや代かき作業後は，必ずロータリを切離し，ホルダ（ジョイント）内とロータリ入力軸の，泥をきれいに水で洗い流し，下図の箇所にグリースを適量塗布してください。
2. 定期的にロータリを切離し，ホルダ（ジョイント）とロータリ入力軸の，下図の箇所にグリースを適量塗布してください。

1AHADACAP013A

■フロントカバー回動部（X F 仕様以外）

1AHACAEAP044A

■後 2 輪のグリースニップル部（後 2 輪仕様）

1AHACACAP130A

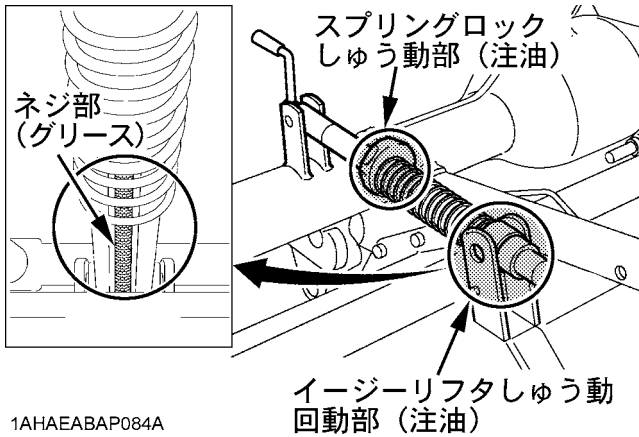
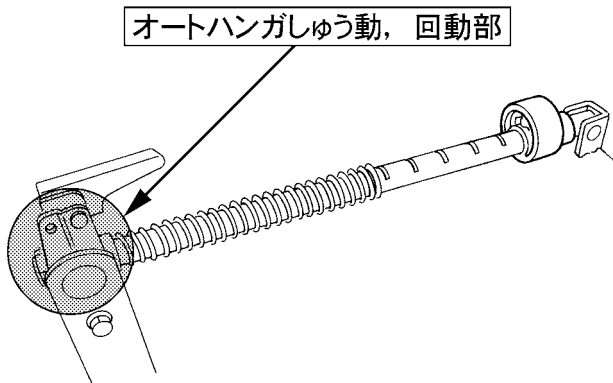
■オートヒッチフレーム各回動部

1AHADACAP010D

1AHACACAP132A

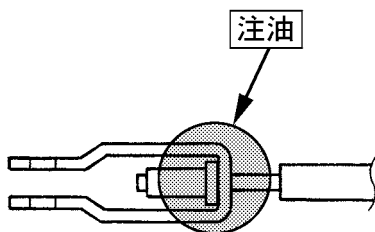
■スプリングロックしゅう動部・イージーリフタしゅう動部，回動部（XF・A 仕様以外）

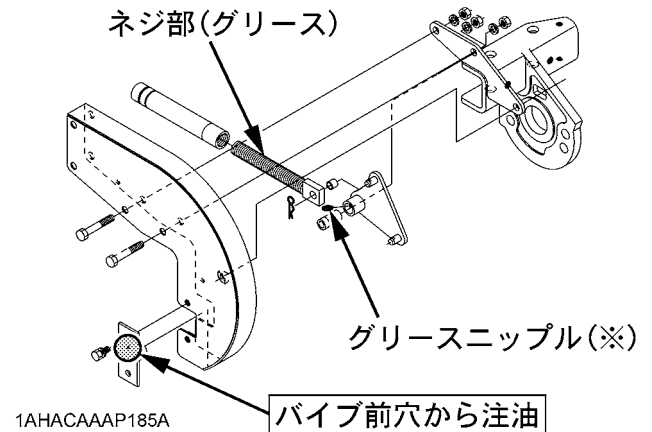
イージーリフタ（ネジ部）に注油する際はロッド下方からネジ部にグリースを塗付します。

1AHAEABAP084A

■オートハンガしゅう動部，回動部（XF・A 仕様）

1AHACACAP110C

■つきま線の U 金具部（XF・A 仕様以外）

1AHACACAP133A

■電動培土反転装置しゅう動部，回転部（A 仕様）

1AHACAAAP185A

※畝立機を外して畝立機軸挿入パイプを上に反転するとグリスニップルが前に向きグリスアップがしやすくなります。

マッドレスロータリ　ゴムカバー用補修剤の使用方法

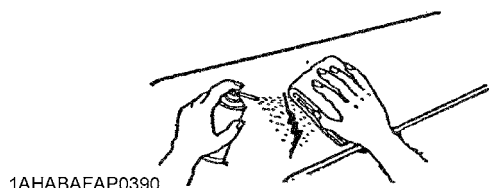
重　要

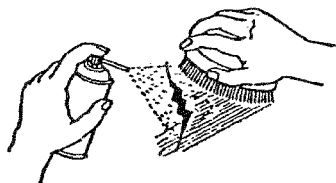
＊ マッドレスカバーに大きな破れやキズが発生した場合は，すみやかに補修してから使用してください。

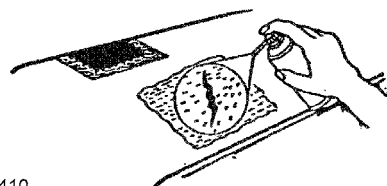
補修部品

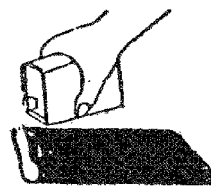
品名	品番
パッチ（M）	99514-5102-0
接着剤	99514-5103-0
脱脂剤	99514-5104-0
ブラシ	99514-5105-0

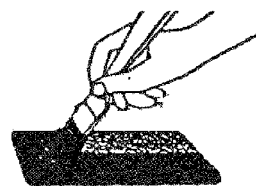
◆ 補修のしかた

1. ゴムカバーの周辺部（貼ろうとするパッチより大きめの部分）に，クリーナを吹きつけ，古タオルなどで汚れの油類を拭きとってください。

1AHABAFAP0390

2. 汚れを取ったゴムカバー面にクリーナを吹きつけ，クリーナが乾かない内にワイヤーブラシでバフ掛けしてください。
   ※２回ほど作業を繰り返すと効果が大きくなります。

1AHABAFAP0400

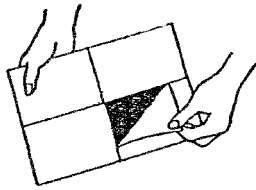
3. 仕上げに再度クリーナを吹きつけ，バフ粉等を取除いてください。クリーナが完全に蒸発してから接着剤を塗布し，パッチの貼付作業に入ってください。

1AHABAFAP0410

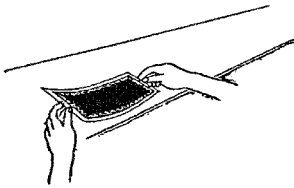
4. 接着剤をバフ掛けした部分に流してください。

1AHABAFAP0420

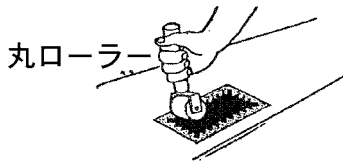
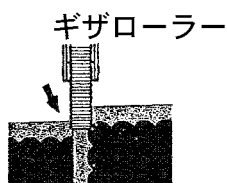
5. 接着剤をハケでタマリのない様に薄くムラなく伸ばし完全に乾燥させてください。
   ※乾燥時間３～８分（常温）

1AHABAFAP0430

6. 紫外線を避けるため，遮光板をのせて３～８分乾かしてください。

1AHABAFAP0440

7. 接着剤が乾燥する間にパッチの裏面のフィルムをめくってください。接着面に手の油，ホコリ等がつかないように注意してください。

1AHABAFAP0450

8. パッチの端の透明フィルムを持ってゴムカバーに貼付けてください。

1AHABAFAP0460

9. 丸ローラー，ハンマー等でじゅうぶんに圧着させてください。重ね貼りをする場合，⬇の部分はギザローラーでじゅうぶんに押えてください。パッチ裏面の透明フィルムをはがして作業完了です。

1AHABAFAP0470

分解時の注意

整備などの目的でギヤーケース，チェーンケース等を分解される場合は，必ず新しいオイルシール，ゴムキャップ，ゴム付座金，液状ガスケット，コーティングボルト等と交換してください。オイルもれの原因となります。
液状ガスケットはスリーボンド 1206C 又は 1206D 又はその相当品を使用し，必ず塗布面を脱脂してください。

付　表

主要諸元

■標準ロータリ

型式名		RL140R	RL140AR	RL150R	RL150FR	RL160R	RL160FR	RL170R	RL150HR	RL160HR
駆動方式		サイドドライブ式								
機体寸法	全長（mm） （後２輪仕様） ［４輪キャスタ仕様］	1045（1240） ［1070］	（1240）	1045（1240）［1070］					（1240）	
	全幅（mm） ［４輪キャスタ仕様］	1560［1655］	1560	1660［1755］		1760［1855］		1870［1965］	1660	1760
	全高（mm） ［４輪キャスタ仕様］	1025［1145］	1025	1025［1145］					1025	
質量（kg）　※１ （後２輪仕様） ［４輪キャスタ仕様］		240 （256） ［262］	（272） ※４	250 （266） ［272］	258 （274） ［280］	262 （278） ［284］	272 （288） ［294］	272 （288） ［294］	（266）	（278）
適応トラクタ		KL24R(H)	KL31R-W KL34R-W	KL24R(H) ～ 27R(H) L27R(H)		KL24R(H), KL27R(H), L27R(H) KL26R-PC ～ 34R(H)-PC L28R-PC, L31R-PC		KL27R(H) ～ 34R(H) KL26R-PC ～ 34R(H)-PC KL31Z(H), 34Z(H)	KL26R-K(W) KL31R-K(W)	
標準耕幅（mm）		1410		1510		1610		1720	1510	1610
標準耕深（cm）		～ 18								
標準作業速度（km/h）		0.5 ～ 4.5								
入力軸回転数（rpm）		544 ～ 1400								
装着方式		日農工特殊 3P-B 型オートヒッチフレーム（W3P オートヒッチフレーム）※２								
耕うん爪	取付方法	ホルダタイプ								
	本数（本）	32	48	34	42	36	42	36	34	36
	回転直径（mm）	500								
	爪の種類	52A 号 （52C 号増幅） ミラクル 反転爪	※４	52A 号（52C 号増幅）ミラクル反転爪						
耕深調整機構		モンローマチックオート式（後２輪式）								
耕うん作業能率（分 /10a) 6000/(w・V・E)　※３		13 ～ 113		11 ～ 106		11 ～ 99		10 ～ 93	11 ～ 106	11 ～ 99

PTO ／耕うん軸回転数		耕うん軸回転数（rpm）					
		540 rpm	F1	F2	F3	F4	R1
トラクタ型式名	KL24R(H)	167	167	236	292	389	292
	KL27R(H), 34R(H), 34R-W, 28R-PC, 34R(H)-PC	167[196]	173[203]	244[287]	303[355]	403[474]	303[355]
	KL31R(H), 33R-T(W), 26R-PC, 31R-PC	167	167	235	291	388	291
	KL26R-K(W), 31R-K(W), 31R-W	167[196]	174[204]	245[288]	304[357]	405[476]	304[357]
	KL31Z(H)	167	167	237	297	398	236
	KL34Z(H), 31Z(H)-PC	167	173	246	308	413	245

※１　質量に補助ユニット（ユニバーサルジョイント，トップリンク，オートヒッチフレーム）は含まれていません。

※２　W3P オートヒッチフレームは，日農工特殊 3P-B 型適合作業機と日農工標準 3P-0，Ⅰ兼用型適合作業機の装着ができます。

※３　w：標準耕幅（cm），Ｖ：標準作業速度（km/h)，Ｅ：ほ場作業効率（0.75）

※４　Ａ仕様は出荷状態で耕うん爪は含まれていません。

※５　［ ］は RL140AR の回転数。

■正逆転ロータリ

型式名		RL150XFR	RL160XFR
駆動方式		サイドドライブ式	
機体寸法	全長（mm）（後２輪仕様）	1045（1240）	
	全幅（mm）	1660	1760
	全高（mm）	1025	
質量（kg）※１（後２輪仕様）		303(317)	314(328)
適応トラクタ		KL24R(H) ～ 27R(H)，L27R(H)	KL27R(H) ～ 34R(H) L27R(H)，L31R(H)
標準耕幅（mm）		1510	1610
標準耕深（cm）		～ 18	
標準作業速度（km/h）		0.5 ～ 4.5	
入力軸回転数（rpm）		544 ～ 1400	
装着方式		日農工特殊 3P-B 型オートヒッチフレーム（W3P オートヒッチフレーム）※２	
耕うん爪	取付方法	ホルダタイプ	
	本数（本）	36	38
	回転直径（mm）	490	
	爪の種類	596・Ｓ号（595 号増幅）正逆爪	
耕深調整機構		モンローマチックオート式（後２輪式）	
耕うん作業能率（分 /10a） 6000/(w・Ｖ・Ｅ)　※３		11 ～ 106	11 ～ 99

PTO ／耕うん軸回転数		耕うん軸回転数（rpm）					
		540 rpm	F1	F2	F3	F4	R1
トラクタ型式名	KL24R(H)	187	187	264	327	436	327
	KL27R(H),34R(H),34R-W,28R-PC,34R(H)-PC	187	194	274	339	452	339
	KL31R(H),33R-T(W),26R-PC,31R-PC	187	187	264	327	435	327
	KL26R-K(W),31R-K(W),31R-W	187	195	275	341	455	341

※１　質量に補助ユニット（ユニバーサルジョイント，トップリンク，オートヒッチフレーム）は含まれていません。

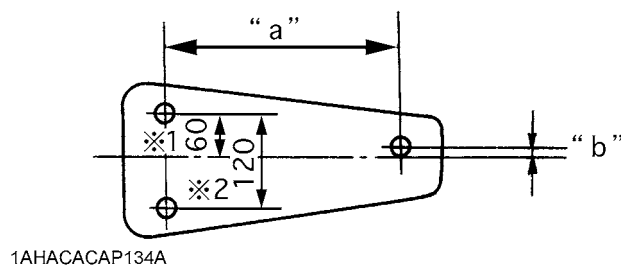
※２　W3P オートヒッチフレームは，日農工特殊 3P-B 型適合作業機と日農工標準 3P-0，Ⅰ兼用型適合作業機の装着ができます。

※３　ｗ：標準耕幅（cm），Ｖ：標準作業速度（km/h)，Ｅ：ほ場作業効率（0.75）

標準付属品

取扱説明書	1
保証書	1

使用補助ユニット一覧表

トップリンクサポート　　　　　　　　　　　　　単位 mm

※１ U325(Q)-5RF の場合 45 mm
※２ U325(Q)-5RF の場合 90 mm

トラクタ	補助ユニット	トップリンクサポート品番	"a" 寸法 (A)	"b" 寸法 (A)
KL24R(H),27R(H),33R-T(W),L27R(H) KL26R-K,31R-K,31R-W,34R-W	U240Q-12RF U270Q-12RF	7C500-5141-0	234	-25.5
KL31R(H),34R(H),31Z(H),34Z(H),L31R(H)	U310Q-12RF	7C500-5541-0	320	-25
KL26R-PC,28R-PC,31R-PC,31Z(H)-PC,L28R-PC L31R-PC	U260PCQ-12RF	7E500-5341-3	293	-28
KL34R(H)-PC	U340PCQ-12RF	7E500-5341-3	293	-28
KL34R(H)D-PC（ドラフト仕様), KL31Z(H)D-PC（ドラフト仕様)	U341PCQ-12RF	7C100-5541-0	233	-43
KL2450(H), 2750(H), 2850-PC	U2450Q-11RF U2750Q-11RF	7C500-5141-0	234	-25.5
K3150(H), 3450(H), 3450(H)-PC	U3150Q-11RF	7C500-5541-0	320	-25
KL3450(H)-PC（ドラフト仕様)	U3451PCQ-11RF	7C500-5141-0	234	-25.5
KL225, KL245(H), KL265(H), KL285-PC KL335T(W), KL315W, KL345W, KL265K(S)(W), KL315K(S)(W)	U225Q-10RF U265Q-10RF	7C500-5141-0	234	-25.5
KL285(H), KL315(H), KL345(H), KL345(H)-PC	U285Q-10RF	7C500-5541-0	320	-25
KL345H-PC（ドラフト仕様)	U346PCQ-10RF	7C500-5141-0	234	-25.5
KL210(H), KL230(H), KL250(H), KL270PC, KL330T, KL300W, KL340W L270D, L300D	U210Q-9RF U250Q-9RF	7C500-5141-0	234	-25.5
KL270(H), KL280H, KL300(D), KL310H, KL330(D), KL330PC, KL340H, L330D	U270Q-9RF	7C500-5541-0	320	-25
KL21(J), KL23(J), KL25, KL25PC, KL27, KL28H, KL30W, KL25K(S)(W), KL30K(S)(W), KL33T, KL33L, KL34W	U210Q-8RF U270Q-8RF	7C500-5141-1	234	-25.5

トラクタ	補助ユニット	トップリンクサポート品番	“a”寸法 (A)	“b”寸法 (A)
KL27J，KL28HQ，KL30，KL31H，KL33，KL33PC，KL34H	U300Q-8RF	7C500-5541-1	320	-25
GL201，GL221，GL241	U205Q-7RF U195-7RF	7C600-5141-1	220	-20
GL261，GL277，GL281，GL301E，GL321E，GL241J，GL337W	U265Q-7RF U255-7RF	7C600-5341-1	245	-20
GL281Q，GL301，GL321，GL337，GL281J	U305Q-7RF U295-7RF	7C600-5541-1	320	-25
GL241K，GL261K	U261KQ-7RF U261K-7RF	7C600-5741-1	250	-5
GL200，GL220，GL240，GL19，GL21，GL23	U205Q-6RF U195Q-6RF U195-6RF	7C600-5141-1	220	-20
GL240J，GL260，GL268，GL280，GL300E，GL320E，GL23DJ，GL25，GL26，GL27	U265Q-6RF U255Q-6RF U255-6RF	7C600-5341-1	245	-20
GL280J，GL280Q，GL300，GL320，GL338，GL27DJ，GL29，GL32，GL33	U305Q-6RF U295Q-6RF U295-6RF	7C600-5541-1	320	-25
GL240K，GL260K，GL25K	U26KQ-6RF U255KQ-6RF U255K-6RF	70888-5741-1	250	20
L1-195，L1-215，L1-215DH，L1-235，L1-255	U195Q-5RF U195-5RF	70862-5885-2	259．5	0
L1-235DJ	U235J-5RF U235JQ-5RF			
L1-275	U275Q-5RF U275-5RF	70864-5885-2	300	0
L1-275DJ，L1-295，L1-315，L1-325	U295Q-5RF U295-5RF	70866-5885-2	290	-25
L1-325MA	U325Q-5RF U325-5RF	70868-5885-2	262	-48
L1-235D ハウス	U235H-5R	70882-5821-1	206	0
GL281K，GL280K，L1-235DK，L1-275DK	U235K-5RF	70883-5841-3	245	130
L1-185，L1-205	U18-4RF	70862-5885-2	259.5	0
L1-225，L1-245	U22-4RF			
L1-225D ハウス	U22H-3R	70882-5821-1	206	0
L1-225DK	U22K-4RF	70859-5841-1	238	115.5
L1-265	U26-4RF	70864-5885-2	300	0
L1-285	U28-4RF	70866-5885-2	290	-25

付　表

アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	用途・仕様	適応型式					
				RL140R	RL150R		RL160R		RL170R
				標準	標準	F	標準	F	標準
耕うん	7C114- 5545-1	耕うん爪セット	52A 号 R・L 各 15 本 52C 号 R・L 各 1 本	○					
	7C115- 5545-1	耕うん爪セット	52A 号 R・L 各 16 本 52C 号 R・L 各 1 本		○				
	7C115- 5547-1	耕うん爪セット	52A 号 R・L 各 20 本 52C 号 R・L 各 1 本			○		○	
	7C116- 5545-1	耕うん爪セット	52A 号 R・L 各 17 本 52C 号 R・L 各 1 本				○		○
	70461- 5555-1	爪取付部品 1	ボルト・ナット・ バネ座金各 1 個	○ 30	○ 32	○ 40	○ 34	○ 40	○ 34
	7C705- 5555-1	爪取付部品 1	ボルト（草切爪用） ナット・バネ座金 各 1 個	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
	99514- 5900-1	残耕処理爪アッシ (NKL)	コンクリート等あぜ際 の残耕処理 4 輪キャスタ使用時 は，爪は格納位置にす ること	○	○	○	○	○	○
	7C405- 9912-0	フローティング部 品アッシ	後 2 輪仕様 手元開閉式延長カバー とは併用不可	○	○	○	○	○	○

■正逆転ロータリ専用品

分類	品番	品名	用途・仕様	併用 アタッチメント	適応型式	
					RL150XFR	RL160XFR
					V	V
耕うん	99042- 4970-6	正逆爪セット	596・S　R・L 各 17 本 595 号　R・L 各 1 本		○	
	99062- 4970-1	正逆爪セット	596・S　R・L 各 18 本 595 号　R・L 各 1 本			○
	7C665- 5556-1	正逆爪 調整部品 1	カラー 1，カラー 2 各 1 個 サラバネ 2 個	-----	○ 36	○ 38
	70314- 5555-1	爪取付け 部品 1	ボルト・ナットバネ座金 各 1 個	-----	○ 36	○ 38

○印下の数字は 1 台分のセット個数です。

■兼用品

分類	品番	品名	用途・仕様	併用 アタッチメント	適応型式							
					RL140R		RL150R		RL160R		RL170R	
					標準	V	標準	V	標準	V	標準	V
畝立て	99622- 7180-1	片培土機（KT）	・溝幅 12cm	ホルダ，アッシ（3） （後２輪仕様は不要） 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○
	99632- 7180-1	片培土機（KT） ブラケット付	・溝幅 12cm	前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○
	99662- 7180-1	反転片培土機 アッシ（KT）	・溝幅 12cm	前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○
	99672- 7180-1	片培土反転 金具（KT）	-----		○	○	○	○	○	○	○	○
	99512- 7380-1	40 号培土機	・２連畝立機 溝幅 12cm	２連培土金具 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○
	99772- 1580-1	２連培土金具	-----	40 号培土機	○	○	○	○	○	○	○	○
	99042- 1380-1	４号 畝立機（03）	・溝幅 12cm ・底板　無 ・羽根長さ 85.4cm	Ｖカット用 畝立て反転金具 畝立て金具 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○
	99042- 1480-1	５号 畝立機（03）	・溝幅 13.5cm ・底板　無 ・羽根長さ 86.5cm		○	○	○	○	○	○	○	○
	99042- 1180-1	７号 畝立機（03）	・溝幅 21cm ・底板　無 ・羽根長さ 92cm		○	○	○	○	○	○	○	○
	99022- 1380-1	Ｖカット４号 畝立機（03）	・溝幅 12cm ・底板　無 ・羽根長さ 85.4cm	Ｖカット用 畝立て反転金具 前部ウエイトアッシ 電動培土反転装置		○		○		○		○
	99022- 1480-1	Ｖカット５号 畝立機（03）	・溝幅 13.5cm ・底板　無 ・羽根長さ 86.5cm			○		○		○		○
	99022- 1180-1	Ｖカット７号 畝立機（03）	・溝幅 21cm ・底板　無 ・羽根長さ 92cm			○		○		○		○
	99042- 1780-1	畝立て 金具（03）	-----	畝立機	○	○	○	○	○	○	○	○
	99852- 1780-1	Ｖカット用畝 立てワンタッ チ反転金具	★キャブ付トラク タへの装着不可	畝立機		○		○		○		○
	99852- 1700-1	電動培土反転 装置	１連用畝立て用 （モーター仕様）	上記畝立機		○		○		○		○
	99852- 1720-1	電動培土反転 装置	うね立て機、イー ジーリフタ、後二 輪ホルダのモー ター駆動	上記畝立機		○		○		○		○
	99852- 1730-1	モーターアシ スト装置	イージーリフタ、 後二輪ホルダの モーター駆動		○	○	○	○	○	○	○	○

付　表

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応型式							
					RL140R		RL150R		RL160R		RL170R	
					標準	V	標準	V	標準	V	標準	V
整地	99904-5700-0	手元開閉式延長カバー，アッシ（15）	連転席から延長カバーを操作する	フローティングとは併用不可	○	○	○	○				
整地	99904-5710-0	手元開閉式延長カバー，アッシ（17）	連転席から延長カバーを操作する	フローティングとは併用不可					○	○	○	○
排水	99532-3680-1	ロータリサブソイラ(KL)	水田・畑地の心土破砕，通気性，排水性を向上		○	○	○	○	○	○	○	○
後2輪	99892-9500-0	後２輪アッシ(KL-R)	サイドロータリ用ホルダ，アッシ(3)も含む(後２輪仕様以外)		○	○	○	○	○	○	○	○
後2輪	7C215-9730-0	ホルダ，アッシ(3)	片培土機装着時必要サイドロータリ用(後２輪仕様以外)		○	○	○	○	○	○	○	○
移動	99894-5100-0	キャスタスタンドアッシ(KL-R)	ロータリ単体での移動・保管(XFR 仕様除く)		○	○	○	○	○	○	○	○

推奨オイル・グリース一覧表

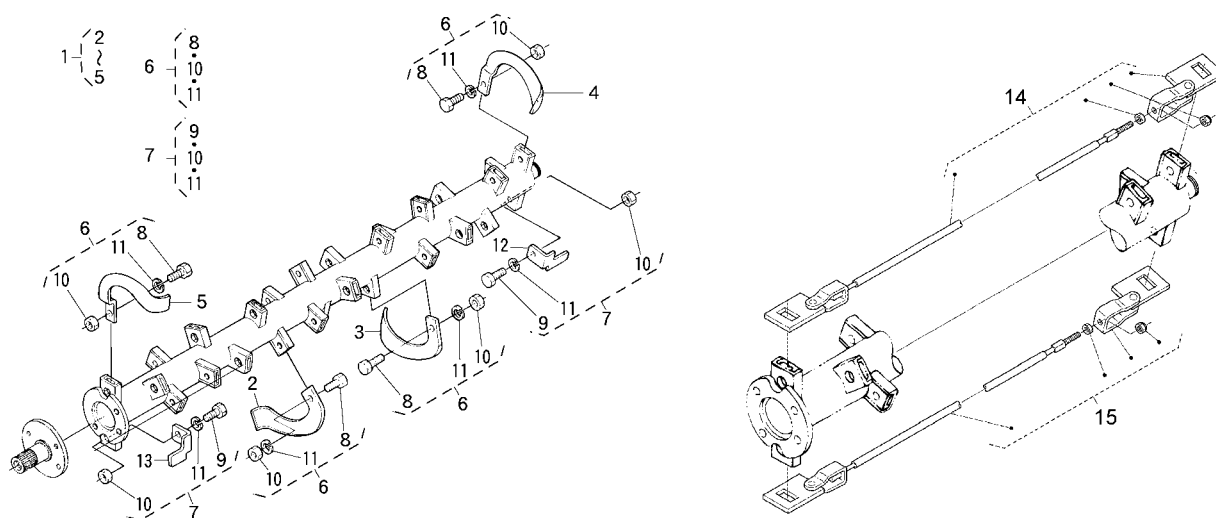
必ず下記の指定オイルを使ってください。

■ギヤーオイル

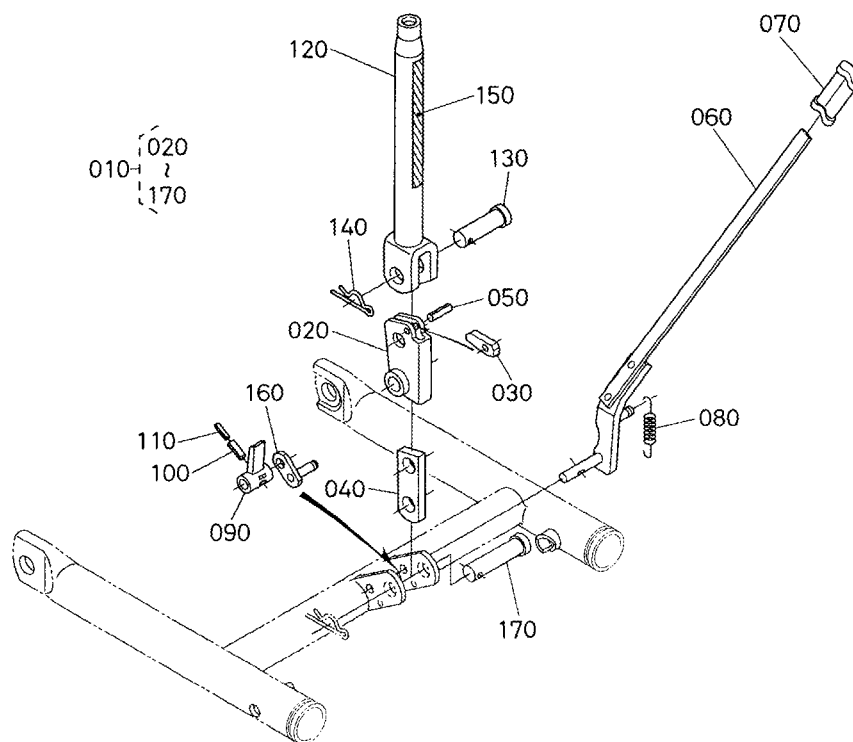
ギヤーオイル	クボタ純オイル（ミッション用）M90

■グリース

極圧（万能）グリース	クボタ純グリース No.2 ★入手できない場合は下記メーカ製品または JCMAS GK 規格品をご使用ください。 ・JX 日鉱日石エネルギー： エピノックグリース AP2, リゾニックス EP2 ・コスモ石油ルブリカンツ： ダイナマックス No.2 ・出光興産： ダフニーエポネックス SR2

主な消耗部品一覧表

1AHACAGAP031A

図番	品名	品番	個数					
			RL140R	RL150R	RL150FR	RL160R	RL160FR	RL170R
1	耕うん爪セット	7C114-5545-1	1	−	−	−	−	−
1	耕うん爪セット	7C115-5545-1	−	1	−	−	−	−
1	耕うん爪セット	7C115-5547-1	−	−	1	−	1	−
1	耕うん爪セット	7C116-5545-1	−	−	−	1	−	1
2	耕うん爪（52A 右）	7C115-5541-1	15	16	20	17	20	17
3	耕うん爪（52A 左）	7C115-5542-1	15	16	20	17	20	17
4	耕うん爪（52C 右）	7C115-5543-1	1	1	1	1	1	1
5	耕うん爪（52C 左）	7C115-5544-1	1	1	1	1	1	1
6	爪取付部品 1	70461-5555-1	30	32	40	34	40	34
7	爪取付部品 1	7C705-5555-1	2	2	2	2	2	2
8	ボルト	32142-5595-2	30	32	40	34	40	34
9	ボルト（爪）	7C705-5538-2	2	2	2	2	2	2
10	爪取付ナット	64135-9519-3	32	34	42	36	42	36
11	バネ座金	04512-60100	32	34	42	36	42	36
12	ブレード（ターフカット右）	7C605-5536-1	1	1	1	1	1	1
13	ブレード（ターフカット左）	7C605-5537-1	1	1	1	1	1	1
14	ワイヤ，アッシ（14, A）	7C504-5550-2	1	−	−	−	−	−
14	ワイヤ，アッシ（15, A）	7C505-5550-2	−	1	−	−	−	−
14	ワイヤ，アッシ（15, AF）	7C505-5552-2	−	−	1	−	−	−
14	ワイヤ，アッシ（16, A）	7C506-5550-2	−	−	−	1	−	−
14	ワイヤ，アッシ（16, AF）	7C506-5552-2	−	−	−	−	1	−
14	ワイヤ，アッシ（17, A）	7C507-5550-2	−	−	−	−	−	1
15	ワイヤ，アッシ（14, C）	7C504-5558-2	1	−	−	−	−	−
15	ワイヤ，アッシ（15, C）	7C505-5558-2	−	1	−	−	−	−
15	ワイヤ，アッシ（15, CF）	7C506-5553-2	−	−	1	−	−	−
15	ワイヤ，アッシ（16, C）	7C506-5558-2	−	−	−	1	−	−
15	ワイヤ，アッシ（16, CF）	7C506-5553-2	−	−	−	−	1	−
15	ワイヤ，アッシ（17, C）	7C507-5558-2	−	−	−	−	−	1

■フローティング部品アッシ

1AHACACAP179A

図番	品名	品番	個数
010	フローティングブピン，アッシ	7C405-9912-0	1
020	ホルダ（カム）	7C505-9915-0	1
030	カム１	70451-5727-0	1
040	カム２	70451-5728-0	1
050	スプリングピン	05411-00518	1
060	レバー（１．フローティング）	7C505-9916-0	1
070	レバーグリップ	34350-3689-0	1
080	スプリング	70451-5732-0	1
090	レバー（２．フローティング）	7C505-9917-0	1
100	スプリングピン	70451-5736-0	1
110	スプリングピン	70451-5737-0	1
120	アジャスタ	7C505-9914-0	1
130	アタマツキピン	05122-52050	1
140	スナップピン	05515-51600	1
150	ラベル（コウシンチョウセイ）	7C405-5708-0	1
160	プレート（フローティング）	7C505-9918-0	1
170	アタマツキピン	05122-52070	1

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は　まず，購入先へ　ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

購入先名 担当 電話番号（　　　）　　－		型式名
		区分
		車台番号（製造番号）
		エンジン型式 エンジン番号
ご購入日	キーナンバー	その他装着型式 機械番号

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

事務所	電話	郵便番号	住所
秋田事務所	電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所	電(022)384-5162	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182-１
東京事務所	電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５－２－36
新潟事務所	電(025)285-1261	〒950-0992	新潟市中央区上所上１－14-15
金沢事務所	電(076)275-1121	〒924-0038	石川県白山市下柏野町956-１
名古屋事務所	電(0586)24-5111	〒491-0031	愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所	電(06)6470-5850	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所	電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市東区宍甘275
米子事務所	電(0859)39-3181	〒689-3547	鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所	電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所	電(096)357-6181	〒861-4147	熊本市南区富合町廻江846-１
株式会社北海道クボタ本社	電(011)661-2491	〒063-0061	北海道札幌市西区西町北16-１－１
株式会社四国クボタ本社	電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタ

窓口	電話	郵便番号	住所
国内農機カスタマーセンター	電(072)241-1375	〒590-0823	大阪府堺市堺区石津北町64

RL140(A)R/150(F)(XF)(H)R/160(F)(XF)(H)R/170R
AT．D．18-20．20．AK

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　7C115-5752-7